

令和 5 年度 第 2 回みきっ子未来応援協議会 次第

日時：令和 6 年 3 月 2 6 日（火）

午後 7 時から

場所：本庁 5 階 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

- （１）第二期子ども・子育て支援事業計画の実績見込について【資料 1】
- （２）各部会からの報告について【資料 2】

4 報告

- （１）第三期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果速報報告について【資料 3】
- （２）令和 6 年度新規拡充事業について【資料 4】
 - ① 教育・保育施設の整備
 - ② 保育教諭をめざす学生等を対象とした就職説明会の開催補助
 - ③ 「こどもサポートセンター」を設置

5 閉会

三木市子ども・子育て支援事業計画 実績報告（令和 5 年度）

1 就学前教育・保育の見込みと受け入れ施設の確保の状況

(1) 1号認定

3～5歳で保育の必要性がない認定区分です。令和5年度は、市内の幼稚園4か所、認定こども園14か所で実施されています。

【計画数値及び実績】

(人)

	第1園区	第2園区	第3園区	計
① 施設の受入計画人数	126	106	20	252
② 施設の受入実績	99	88	15	202
③ ②-①	△27	△18	△5	△50

(2) 2号認定

3～5歳で保育の必要性がある認定区分です。令和5年度は、市内の保育所1か所、認定こども園14か所で実施されています。

【計画数値及び実績】

(人)

	第1園区	第2園区	第3園区	計
① 施設の受入計画人数	604	424	99	1,127
② 施設の受入実績	593	432	85	1,110
③ ②-①	△11	8	△14	△17

(3) 3号認定

0～2歳で保育の必要性がある認定区分です。令和5年度は、市内の保育所1か所、認定こども園14か所、小規模保育事業所6か所、事業所内保育事業所1か所で実施されています。

【計画数値及び実績】

(ア) 0歳児

(人)

	第1園区	第2園区	第3園区	計
① 施設の受入計画人数	34	22	4	60
② 施設の受入実績	82	54	7	143
③ ②-①	48	32	3	83

(イ) 1、2歳児

(人)

	第1園区	第2園区	第3園区	計
① 施設の受入計画人数	265	221	32	518
② 施設の受入実績	300	216	32	548
③ ②-①	35	△5	0	30

【実施状況】

1号認定児については、全体として就園児童数が減少しており、受入実績は計画人数を下回っています。

一方、2号認定児のニーズは高いものの、児童数は減少傾向にあるため、利用定員数内に収まっています。

3号認定児については、利用定員を増加して対応していますが、就園希望率が増加しており、0歳児については、第1園区・第2園区ともに計画人数より大幅に受け入れしています。また、1、2歳児についても第1園区の受入実績は計画人数を上回っています。

今後も利用定員の調整や保育者確保等に努めたいと思います。

2 地域子ども・子育て支援事業の見込みと確保方策

(1) 利用者支援事業

妊娠、出産、育児にわたる切れ目のない子育て支援を実施するため、妊娠中からの相談対応を行うために子育て世代包括支援センター（母子保健型）をはじめ、乳幼児期からの子育て全般の相談に応える子育て支援総合窓口（基本型）と、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供や相談を行う教育・保育課窓口（特定型）の3か所を配置しています。

【計画数値及び実績】 (か所)

	実施か所数
① 計画数値	3
② 実績	2
③ ②-①	△1

【実施状況】

子育て支援課で実施している基本型について、資格保持者の人員配置ができなかったため子育て支援総合窓口としての業務は遂行できなかったが利用者支援事業の実施に至らなかった。

特定型については教育・保育課に子育て支援コーディネーター1名を配置するとともに、母子保健型については総合保健福祉センターに子育て世代包括支援センターを設置して実施しました。

(2) 地域子育て支援拠点事業

子ども、保護者等が相互の交流・研修を行う場所を提供するとともに、保育の専門員を配置し、子育てについての学習、相談、情報の提供、助言その他のサポートを行っていきます。本市においては児童センターと吉川児童館の2か所で実施しています。

【計画数値及び実績】 (か所・人日)

	実施か所数	就学前利用人数	小学生利用人数	利用人数合計
① 計画数値	2	9,330	537	9,867
② 実績	2	13,500	1,200	14,700
③ ②-①	0	4,170	663	4,833

【実施状況】

コロナの影響と早期に就園する児童の増加により、近年の地域子育て支援拠点の利用者が大幅に減少したため中間見直しの際に計画数値を変更したが、月齢や年齢に合わせた事業を実施することで低年齢児親子の利用が増加したこと、休日や夏休み等の長期休暇中に利用する小学生が増えたことで実績が計画値を上回りました。

（３）妊婦健診

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査としてかかった費用の１４回分までを助成しています。

【計画数値及び実績】

（人・回）

	利用人数	健診回数
① 計画数値	638	5,104
② 実績	610	4,750
③ ②-①	△28	△354

※２か年に渡る場合があるため、（４）乳児全戸訪問事業の実人数より多くなっている。

【実施状況】

母子健康手帳の交付とともに、すべての対象者に実施する体制を継続し、母子共に安全安心な出産をめざしました。

前年度より妊娠届け出数が減少し、妊婦健診の利用人数と健診回数は減少しました。令和５年１０月からは、妊婦健康診査費助成券の額面を変更し、利便性の向上を図りました。

（４）乳児家庭全戸訪問事業

生後４か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切な対応を行っています。

【計画数値及び実績】

（人）

	利用人数
① 計画数値	362
② 実績	390
③ ②-①	28

【実施状況】

令和5年1月～6月間の妊娠届出数が多く、その影響で対象者が増え、利用人数は増加しています。

保健師・助産師など専門職による訪問体制を維持し、子育てに不慣れな保護者の不安を和らげました。特に支援が必要と認められる状態の早期発見につなげました。

（５）養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育を支援しています。

【計画数値及び実績】

（人）

	利用人数
① 計画数値	16
② 実績	24
③ ②-①	8

【実施状況】

保健師、保育士、家事援助ホームヘルパー（三木市社会福祉協議会等に委託）等が居宅を訪問し、育児や家事の援助や相談を行い、支援しました。利用理由としては、親類が遠方で協力が得られないことや、保護者に疾病等がありサポートが必要な状況がみられました。

（６）子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等で、一時的に養育、保護しています。

【計画数値及び実績】

（人日）

	利用人数
① 計画数値	52
② 実績	20
③ ②-①	△32

【実施状況】

乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設を指定し、対象となる児童を一定期間養育、保護しています。保護者の入院等の理由により、一時的に養育が困難となり利用されています。

（７）育児ファミリーサポートセンター事業（子育て援助活動支援事業）

乳幼児や小学生等の児童の一時預かり等の援助を受けることを希望する者と援助を行うことを希望する者とを会員として、相互援助活動により子育ての支援を行っています。

【計画数値及び実績】

（人日）

	就学前利用人数	小学生利用人数	利用人数合計
① 計画数値	715	847	1,562
② 実績	450	250	700
③ ②-①	△315	△597	△862

【実施状況】

依頼会員（子育ての援助を受けたい人）、協力会員（子育ての援助を行いたい人）、両方会員（依頼会員と協力会員の両方を兼ねる人）の会員間で相互に援助活動することで実施しました。

令和５年度は、利用されていた方の家庭状況の変化等により、前年度より利用者が減少しています。

（８）一時預かり事業

認定こども園等において、在園１号認定児童を通常の教育時間を超える幼児や家庭において保育を受けることが一時的に困難となる幼児について、一時的に預かりを行います。

【計画数値及び実績】

（ア）在園児を対象とした一時預かり（人日）

	利用人数
① 計画数値	2,439
② 実績	2,157
③ ②-①	△282

【実施状況】

令和5年度は認定こども園14か所、幼稚園4か所で利用がありました。令和6年度以降も、事業対応の保育者の設置ができれば、認定こども園14か所、幼稚園2か所で対応可能です。

(イ) その他の一時預かり

(人日)

	認定こども園での一時預かり	児童センターでの一時預かり
① 計画数値	220	477
② 実績	398	410
③ ②-①	178	△67

【実施状況】

令和5年度の利用は認定こども園は5か所で利用がありました。事業対応の保育者の配置ができれば、認定こども園14か所で対応可能です。

令和4年度より、地域差を解消するため児童センターと吉川児童館で実施しました。また、早期から就園する乳幼児の増加に伴い実績が計画数値を下回っています。

(9) 延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、保育所、認定こども園等において、既定の利用時間以外に保育を実施します。

【計画数値及び実績】

(人)

	利用人数
① 計画数値	751
② 実績	937
③ ②-①	186

【実施状況】

令和5年度は保育所1か所、認定こども園14か所、小規模保育施設5か所で利用がありました。令和6年度も同様に対応していきます。

(10) 病児・病後児保育事業

病氣中及び病氣回復期のために、家庭や集団で保育できない児童を対象に、一時預かりを行います。

【計画数値及び実績】 (人)

	利用人数
① 計画数値	521
② 実績	400
③ ②-①	△121

【実施状況】

小児科医師に委託し、病児対応型の施設で対応しました。

令和2年度に利用者が大幅に減少しましたが、徐々に増加しています。

(11) 放課後児童健全育成（アフタースクール）事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。市内の小学校区を対象に、13事業所で実施しています。

【計画数値及び実績】 (人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
① 計画数値	309	278	179	123	35	11	935
② 実績	263	242	194	68	25	15	807
③ ②-①	△46	△36	15	△55	△10	4	△128

【実施状況】

市内全ての小学校区で児童の受け入れを行い、適正な運営を行いました。

令和 5 年度第 1 回みきっ子未来応援協議会 就学前教育・保育部会の取組

日 時 令和 5 年 1 2 月 2 1 日（木）午後 7 時～8 時 3 0 分

出席者 部会委員 9 名 事務局 6 名

議 題 （報告事項）

1. 今年度就学前児童・就園希望数の実績値や傾向について
2. 今後の就学前施設における受入予測について
3. 就学前教育・保育の質の確保と充実について

主な意見

- 1 今年度就学前児童・就園希望数の実績値や傾向について
 - ・特になし。
- 2 今後の就学前施設における受入予測について
 - ・自由が丘・自由が丘東小学校区の 1 号認定児の受入れについて、保育室や保育教諭の確保は確約されているのか。
⇒（事務局）令和 3 年度の計画見直しの際に、自由ヶ丘認定こども園や三木市保育協会と協議した。自由ヶ丘認定こども園で全て受入れできる方向だが、子どもの数を見ながら、自由が丘東小校区の子どもを受入れているりんでん認定こども園とも協議・協力し、調整していく。
 - ・小学校との連携について現在の状況はどうなっているか。
⇒（事務局）連携園かどうかに関係なく、小学校からは行事等の案内がある。保護者と参加するほか、園バスで学校を訪れることもあり、どの子どもも連携ができる状況にある。小学校に隣接していない園の地理的なハンディキャップは、各園の協力のもと、環境を整えている。
- 3 就学前教育・保育の質の確保と充実について
 - ・監査結果の総評にある園庭開放について、令和 4 年度はコロナ禍であったが、監査をされた時期は、コロナ禍が明けてからなのか。
⇒（事務局）コロナ禍であったため、園庭開放は、十分な利用には至っていない。
 - ・評価の観点はどのように策定したのか。評価結果は公表され、保護者の園選択にも重要な情報であり、公平性が伴わなければならない。

- ⇒（事務局）評価委員の大学教授及び准教授と協議し、国で定めている保育所保育指針と幼稚園教育要領から、共通する観点を拾い上げ策定している。
- ・年に何回、評価をしているのか。心の育ちは見えてくるのか。
⇒（事務局）各園、年2回の施設訪問に加え、園で作成する「目標達成計画」に沿って、課題や目標、具体的な取組、成果について、子どもの育ちを聞きとり、評価委員から助言を受け、各園の取組の充実をめざし評価している。
 - ・総評の文面は一般的な表現であり、具体的な子どもの姿が浮かび上がってこない。評価結果は、保護者にとっての安心材料でもあり、今後の園運営にもかかわってくる。市として、明確な情報発信が必要である。
⇒各園への訪問時には、園に応じた指導助言を行い、子どもの育ちを評価しているところだが、総評には、園毎の具体的な評価結果は記していないため、一般的な表現になっている。今回は、前年度重点ポイントとなっていた「保護者への説明」について記したため、子どもの姿は見えにくかったかと思う。
 - ・各園の、改善まで含めたプロセスを評価結果として見える化してはどうか。
⇒（部会長）改善につなげることが評価の意味であるので、そこは考慮があっても良いかと思う。
⇒（委員）令和4年度は、改善が必要な園について、フォローアップという形で改善点を絞り3回目を実施した。マニュアル通りではなく、改善が見られるまで取り組んだという経緯がある。園内では改善点が見える化できているが、どこまで公表するかはデリケートな部分もあり難しい。
⇒（委員）現場としては、三木市共通カリキュラムに沿って評価させていただいており、大きく逸脱している園があるようには思っていない。大学教授からの助言で子どもの心の育ちを感じ、現場の保育教諭は力になっている。通常の保育に加え、近年の園数減もあり業務過多になる中、2年に1回の評価と監査で、改善点の振り返りや研究会の実施等の余裕がない。回数や内容を絞ることについて検討してもらえるとありがたい。
⇒（部会長）評価にかかる労力については、察することができる。
 - ・「男の子だからサッカー」「女の子なのに電車遊び」といった声かけがあったという保護者の話を聞いた。評価のポイントに人権感覚の記載があるが、ジェンダーの刷り込みは就学前からとも言われており、現場は人権感覚を研ぎ澄ましておく必要がある。

- ⇒（部会長）センシティブな問題である。気をつけないければ無意識に出る。
- ⇒（委員）人権については、市の監査項目にもあり、市主催の人権研修への参加や、講師を招へいた園内研修の実施は必ず行っている。また、日常的に保育現場で使う言葉かけが例として挙げられている『保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセリフチェックリスト』を活用している。園として根気よく定着を図りたい。
- ⇒（委員）本日、男女共同参画アドバイザーを講師に招へいし、人権研修会を開催している。伝達研修や『男女共同参画の視点からの表現ガイドライン』の活用等、各園取り組んでいるが、くり返し学習することは必要である。
- ・評価の観点の「小学校との連携」に重点ポイントとしてチェックが無いことが心配される。1年生の登校渋りもよく聞く。
- ⇒（委員）チェックが無くても必ず連携はしている。自園のことだが、コロナ前は年4、5回。今年度は3回実施の予定。職員間の連携も行っている。幼稚園・こども園・小学校が一緒に行事を楽しむこともある。隣接園でないという立地の問題は、他市でも同じように抱えているが、在籍園に関わらず、学校見学等で子どもの経験に差が出ないように心がけている。
- ⇒（委員）コロナ禍は、自園の子どもを守ることが最優先であった。保護者も園に入れない状況の中、重点ポイントとして自園の取組を保護者に発信することを優先した。評価の重点ポイントは、数年で必ずチェック項目に挙がってくる。現場の感覚としては、今年は連携の数が増えている。
- ⇒（委員）徒歩やマイクロバスで、小学生が園を訪問することもある。1年生の成長した姿を見てもらえ、園児も小学校へ期待を高めている。今後、機会が増えることを楽しみにしている。
- ・1年生の登校のしにくさに、コロナ禍で連携が十分にできなかったことの影響はあるのか。
- ⇒（事務局）全国的に不登校の生徒数が増えており、低年齢化も顕著である。もしかすると、コロナの影響による交流や準備の不足が影響しているのかもしれない。
- ⇒（部会長）幼稚園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校と、校種が変わる時には、少なからず課題が出る。コロナの影響は、全国的な分析も必要かもしれない。

- ・今後、園バスを外部委託した場合は、安全に関する評価対象はどうか。
 - ⇒（事務局）園バス運行をしている数園は、ほぼ自園で運営。運転士不足や運転士の高齢化が言われている中、委託が増えてくることも考えられるが、安全確保や責任の所在について評価にどのように入れていくかは、今後協議していきたい。
- ・今後、評価は3年に1回程度でもよいのではないか。
 - ⇒（事務局）平成27年度の策定当時、園運営について毎年しっかり見ていくことが市民の安心につながると考えて設定している。例えば、県の施設監査は4年に1回、国が示している小規模事業所の監査は毎年実施することが謳われている。そういったことも踏まえたうえで、ご意見をいただいたことは参考にしたい。評価においても監査においても、重点部分を絞ることで、条例を変えない中でも園の負担を減らす改善はできる。保護者の理解もいただく中で、検討したい。
 - ⇒（部会長）評価を行っていることが市民、社会からも評価されていき、ゆつたりと実施できると良い。評価システム自体を改善していく頃合いかもしれない。

令和5年度みきっ子未来応援協議会
子育て環境部会の取組

第1回

日時 令和5年11月2日（木）19:00～20:45

出席者 部会委員7名 事務局4名

議題（1）第三期三木市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート
調査について

【内容】

第三期三木市子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケートを実施するにあたり、アンケート（案）について委員の方から意見をいただきました。

また、いただいた意見を参考にアンケート（案）の見直しを行ないアンケートを実施しました。

議題（2）三木市の子育て支援について

【内容】

委員の方から、よく聞く市民の声や三木市の子育てについての意見を述べていただきました。

【主な意見・質問】

質問 求職中の就学前施設への入園についてルールはあるのか

回答 就学前施設への入園についてはルールがあり、人によって状況がちがうため教育・保育課に個々に問い合わせを

質問 休日保育の実施園について

回答 あけぼの認定こども園で実施

令和5年度みきっ子未来応援協議会
家庭・地域・学校教育部会の取組

日 時 令和6年1月30日（火）午後7時～午後8時45分

出席者 部会委員14名 事務局7名

議 題 家庭・地域・学校が一体となった人づくりに関することについて

内 容

（事例及び現状の報告）

- ・コミュニティ・スクール1年目のあゆみについて
- ・地域と学校の連携・協働体制推進事業について
- ・青少年の健全育成に係る取組状況について

（主な意見・感想）

- ・教職員も含め、保護者や地域にコミュニティ・スクールとしての意識の浸透がまだ不十分であり、学校での取組等の情報を保護者や地域などにどのように伝えていくかが課題である。
- ・コミュニティ・スクールも含め、持続可能な取組を継続していくことが重要である。そのためにも、地域、家庭、学校が連携することが必要である。その一つとして、トライやる・ウィークをうまく活用出来るのではないかと考えている。
- ・性教育や習字、水墨画教室などの取組はとても良かった。来年度以降も、継続して取り組んで欲しいと思っている。
- ・色々な活動に支援していただけるボランティアの方の「やりがい」だけに頼るのではなく、双方にメリットがある取組になっていくことが大切である。
- ・いじめに関して、どこにも相談できない子どもたちを助ける方法を考える必要がある。

（まとめ）

学校や教育が大きな転換期を迎えており、意識の転換をする必要がある。教育の主体は子どもであり、子ども達一人一人のニーズに合わせた指導をするため、子どもとコミュニケーションを取りながら教育や指導方法を考えればよい。

また、教師や関係者が知恵を出し合い、協力し合って、取組をすすめていくべきである。

令和５年度みきっ子未来応援協議会
要保護児童部会の取組

1 部会（代表者会議）

日 時 令和５年１１月２４日（金）午後１時３０分～午後３時

出席者 部会委員１０名 事務局 １０名

議 事 （報 告 事 項）令和４年度三木市の要保護児童の現状及び
令和５年度要保護児童部会取組状況について
（情報交換会）兵庫県加東こども家庭センターの相談状況について
（加東こども家庭センター弓岡所長からの情報提供）

議事内容

（報告事項）

- ・ 令和４年度の児童虐待相談件数は延べ６，５０１件。
- ・ 児童虐待防止ネットワーク（オレンジネットワーク）事業を実施。
市内の園・小学校・中学校等４７ヶ所を訪問し、気になる児童生徒の情報共有や相談を受け、支援に向けて連携に取り組んだ。
- ・ 児童虐待防止啓発活動
６月 市内園保護者、市内小中学校児童にちらしの配布。
１１月（児童虐待防止月間） 児童虐待防止ポスターの掲示（学校、スーパー、公民館、図書館等）、ウェットティッシュ配布、広報掲載など
- ・ 児童虐待の早期発見、防止に向けて学校関係者を対象に研修会を実施。

（情報交換会）

北播磨圏域の相談状況、関係機関との役割分担等について、加東こども家庭センターからの情報提供があり、その後意見交換を行った。

2 実務者会議（５回開催）

日 時 ①令和５年５月２２日 （月）

②令和５年７月２４日 （月）

③令和５年９月２５日 （月）

④令和５年１１月２７日（月）

⑤令和６年１月２２日 （月）

⑥令和６年３月１８日 （月）

出席者 関係機関実務者１０名 スーパーバイザー１名 事務局

内 容 要保護児童のケース進行管理

ケースに対する主担当機関の確認、支援方針の検討や見直し

関係機関の情報共有

三木市子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査
結果報告書

令和 6 年 3 月

三木市

目 次

I	アンケート調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	報告書の見方.....	1
II	アンケート調査結果.....	2
1	お子さまとご家族の状況について.....	2
2	子育ての環境について.....	8
3	保護者の就労状況について.....	10
4	平日の定期的な認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況について（就学前）	12
5	土曜日・休日や長期の休みの認定こども園・幼稚園・保育所等の利用希望について（就学前） ..	17
6	お子さまの病気の際の対応について.....	21
7	一時預かり等の不定期の利用について.....	27
8	児童センター・吉川児童館について.....	31
9	小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前）	36
10	宛名のお子さまの放課後の過ごし方（アフタースクールの利用）について（小学生）	41
11	ファミリーサポートセンターについて（小学生）	50
12	学校教育について（小学生）	52
13	仕事と子育ての両立支援制度について（就学前）	53
14	子育てについて悩んでいることについて.....	62
15	三木市の子育て環境全般にいて.....	65

I アンケート調査の概要

I 調査の目的

本調査は、三木市の子育て支援施策の指針である「三木市子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、市民の方々のご意見をおうかがいし、これからの事業に生かしていくことを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	就学前児童保護者	小学生児童保護者
調査対象者	三木市に居住する就学前児童の保護者（全数）	三木市に居住する小学生児童の保護者 1,000 人（無作為抽出）
調査期間	令和 5 年 12 月 13 日（水） ～令和 6 年 1 月 10 日（水）	令和 5 年 12 月 13 日（水） ～令和 6 年 1 月 10 日（水）
調査方法	郵送配布・郵送回収による 本人記入方式 またはWEB 回答方式	郵送配布・郵送回収による 本人記入方式 またはWEB 回答方式
配布数	2,425 件	1,000 件
有効回収数	872 件	690 件
有効回収率	36.0%	69.0%

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇「その他」「不明・無回答」を除き、回答の高いもの**第 1 位**と**第 2 位**に網掛けをしています。

Ⅱ アンケート調査結果

Ⅰ お子さまとご家族の状況について

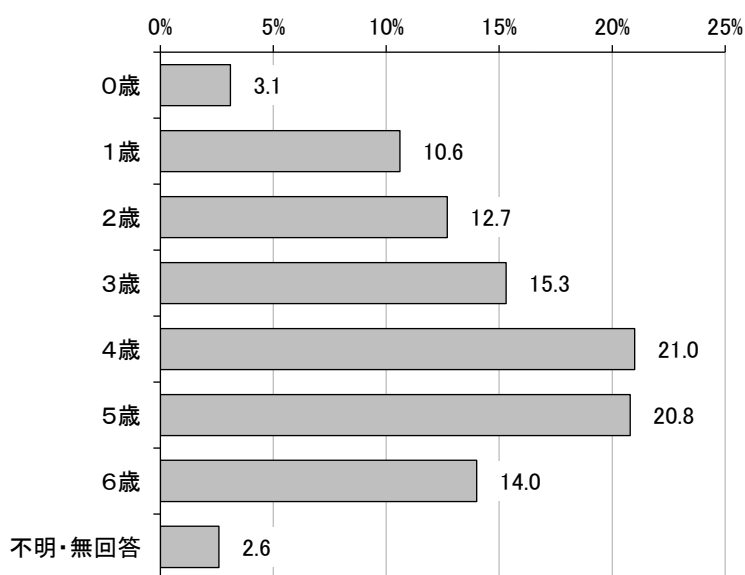
(1) 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。〔就学前…問1〕（数量回答）

子どもの年齢についてみると、「4歳児」が21.0%と最も高く、次いで「5歳児」が20.8%、「3歳児」が15.3%となっています。

学年についてみると、「年中」が22.1%と最も高く、次いで「年長」が20.8%、「年少」が18.6%となっています

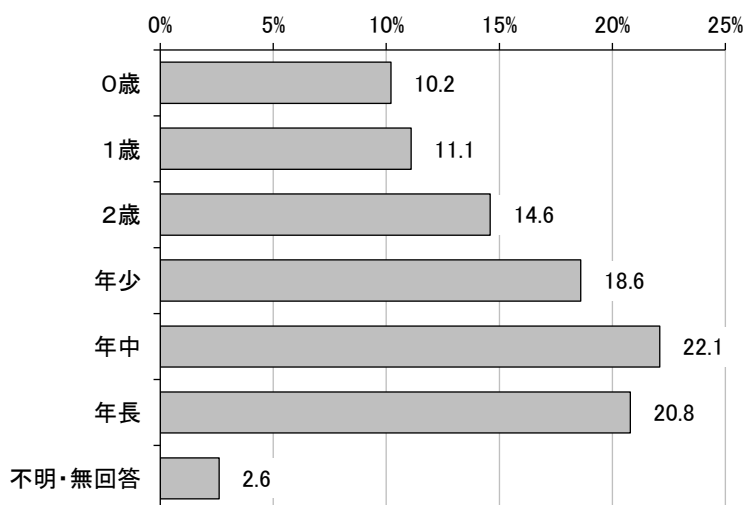
【年齢】

全体(n=872)



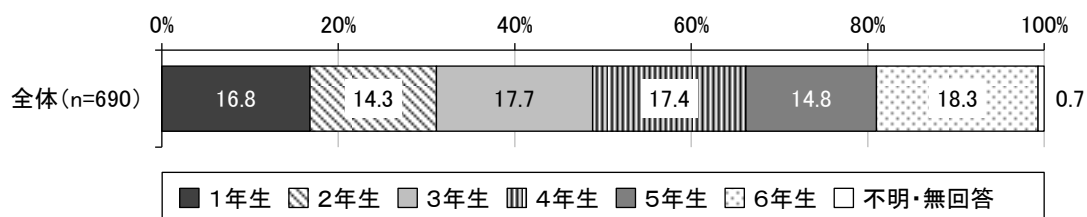
【子どもの学年】

全体(n=872)



(2) 宛名のお子さまは何年生ですか。〔小学生…問1〕(単数回答)

子どもの学年についてみると、「6年生」が18.3%と最も高く、次いで「3年生」が17.7%、「4年生」が17.4%となっています。

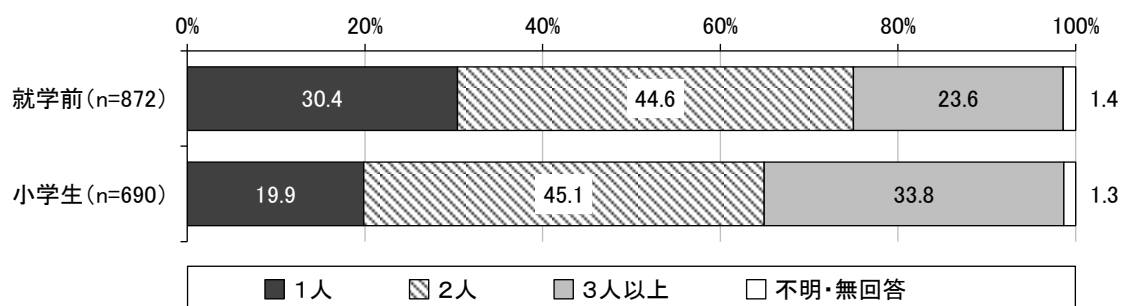


(3) 宛名のお子さまを含め、お子さまは何人いらっしゃいますか。

〔就学前・小学生…問2〕(数量回答)

子どもの人数についてみると、就学前では「2人」が44.6%と最も高く、次いで「1人」が30.4%、「3人以上」が23.6%となっています。

小学生では「2人」が45.1%と最も高く、次いで「3人以上」が33.8%、「1人」が19.9%となっています。



子どもが2人以上いる方のみ

(4) 一番下のお子さまの年齢（令和5年4月1日現在の年齢）をご記入ください。

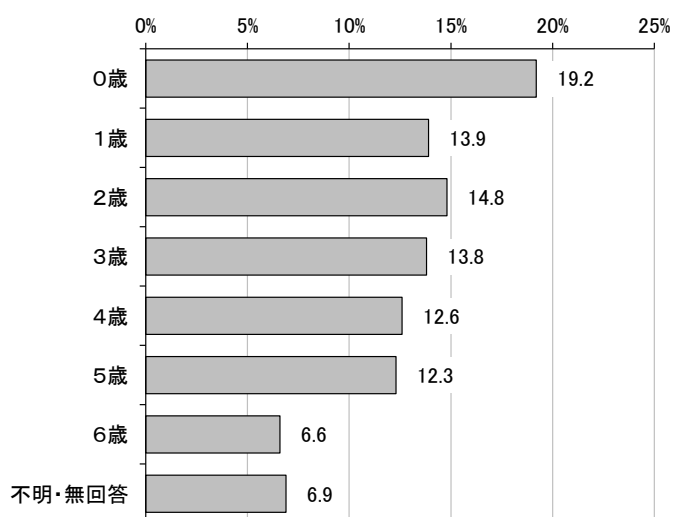
〔就学前・小学生…問2〕（数量回答）

一番下の子どもの年齢についてみると、就学前では「0歳」が19.2%と最も高く、次いで「2歳」が14.8%、「1歳」が13.9%となっています。

小学生では「7歳」が14.9%と最も高く、次いで「9歳」が14.7%、「8歳」が13.2%となっています。

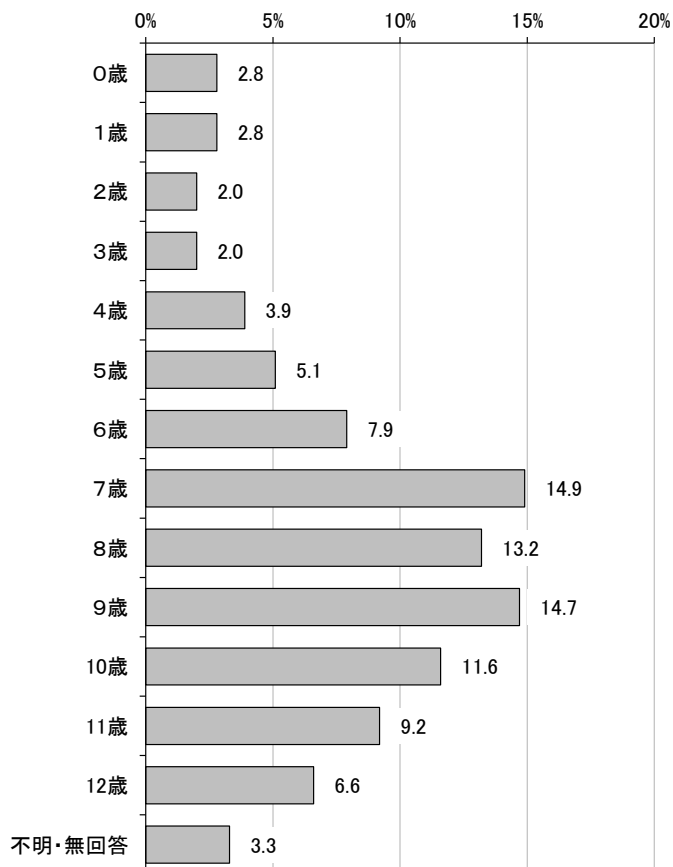
（就学前）

全体(n=595)



（小学生）

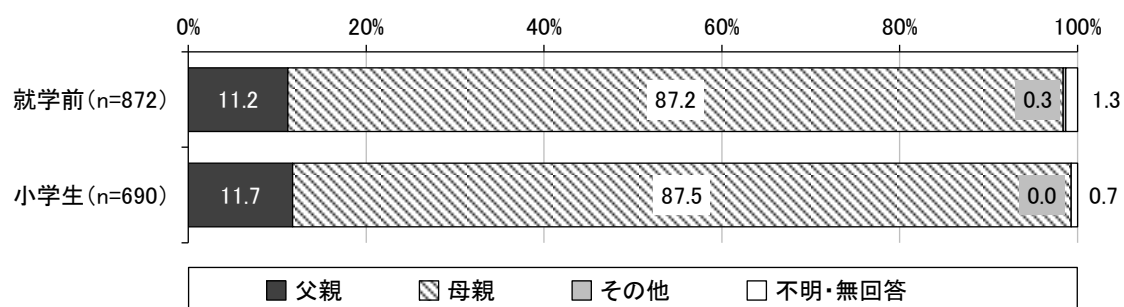
全体(n=544)



(5) 調査票に回答いただく方はどなたですか。〔就学前・小学生…問3〕(単数回答)

回答者についてみると、就学前では「母親」が87.2%と最も高く、次いで「父親」が11.2%となっています。

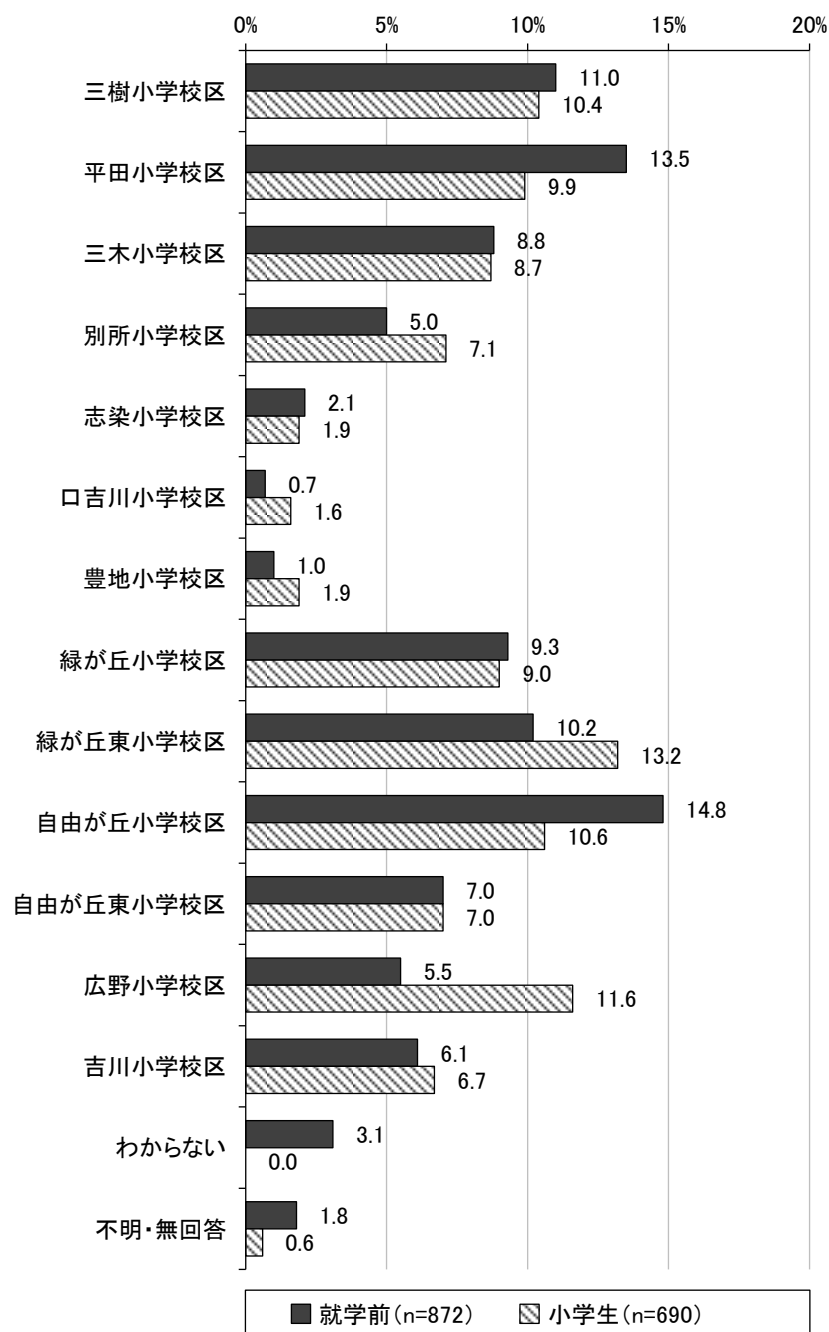
小学生では「母親」が87.5%と最も高く、次いで「父親」が11.7%となっています。



(6) お住まいの小学校区はどちらですか。〔就学前・小学生…問4〕(単数回答)

居住する小学校区についてみると、就学前では「自由が丘小学校区」が14.8%と最も高く、次いで「平田小学校区」が13.5%、「三樹小学校区」が11.0%となっています。

小学生では「緑が丘東小学校区」が13.2%と最も高く、次いで「広野小学校区」が11.6%、「自由が丘小学校区」が10.6%となっています。

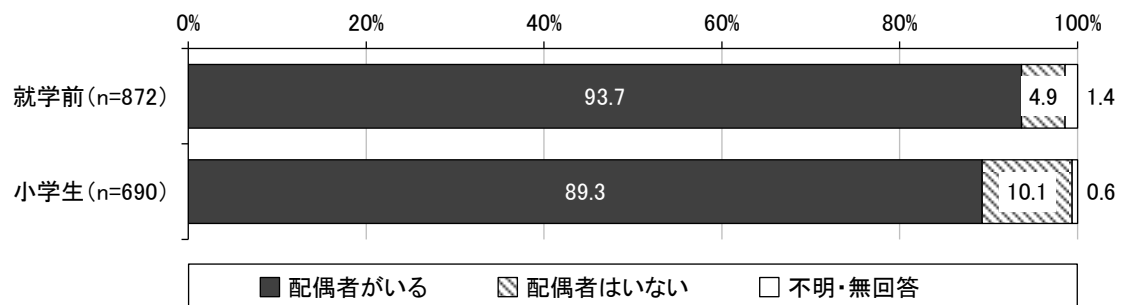


(7) ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

〔就学前・小学生…問5〕(単数回答)

回答者の配偶関係についてみると、就学前では「配偶者がいる」が93.7%、「配偶者はいない」が4.9%となっています。

小学生では「配偶者がいる」が89.3%、「配偶者はいない」が10.1%となっています。

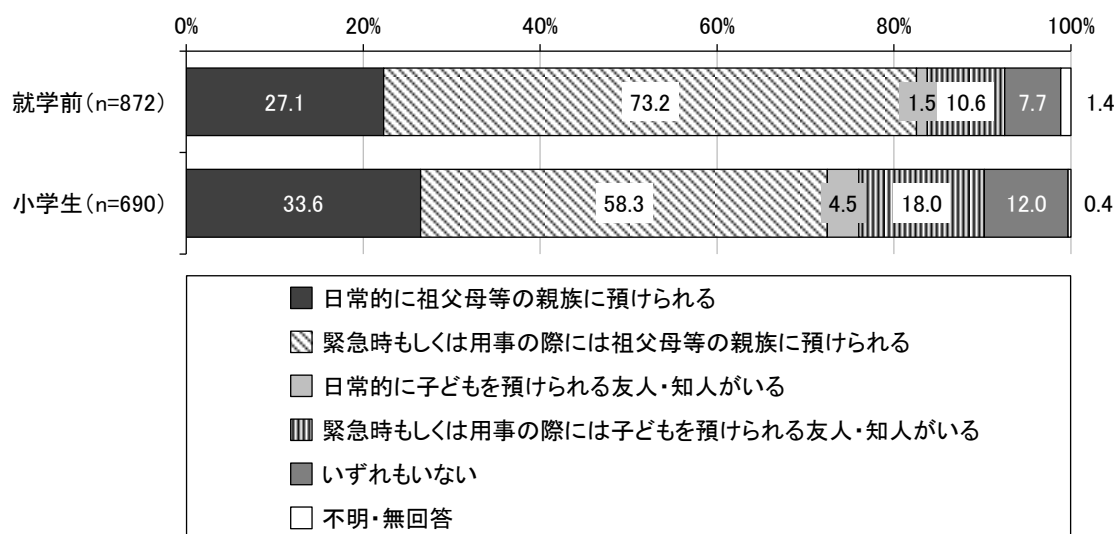


2 子育ての環境について

(1) 日頃、お子さまを預けられる親族・知人はいますか。〔就学前・小学生…問6〕（複数回答）

日頃、子どもを預けられる親族・知人がいるかについてみると、就学前では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる」が73.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預けられる」が27.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が10.6%となっています。

小学生では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる」が58.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預けられる」が33.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が18.0%となっています。

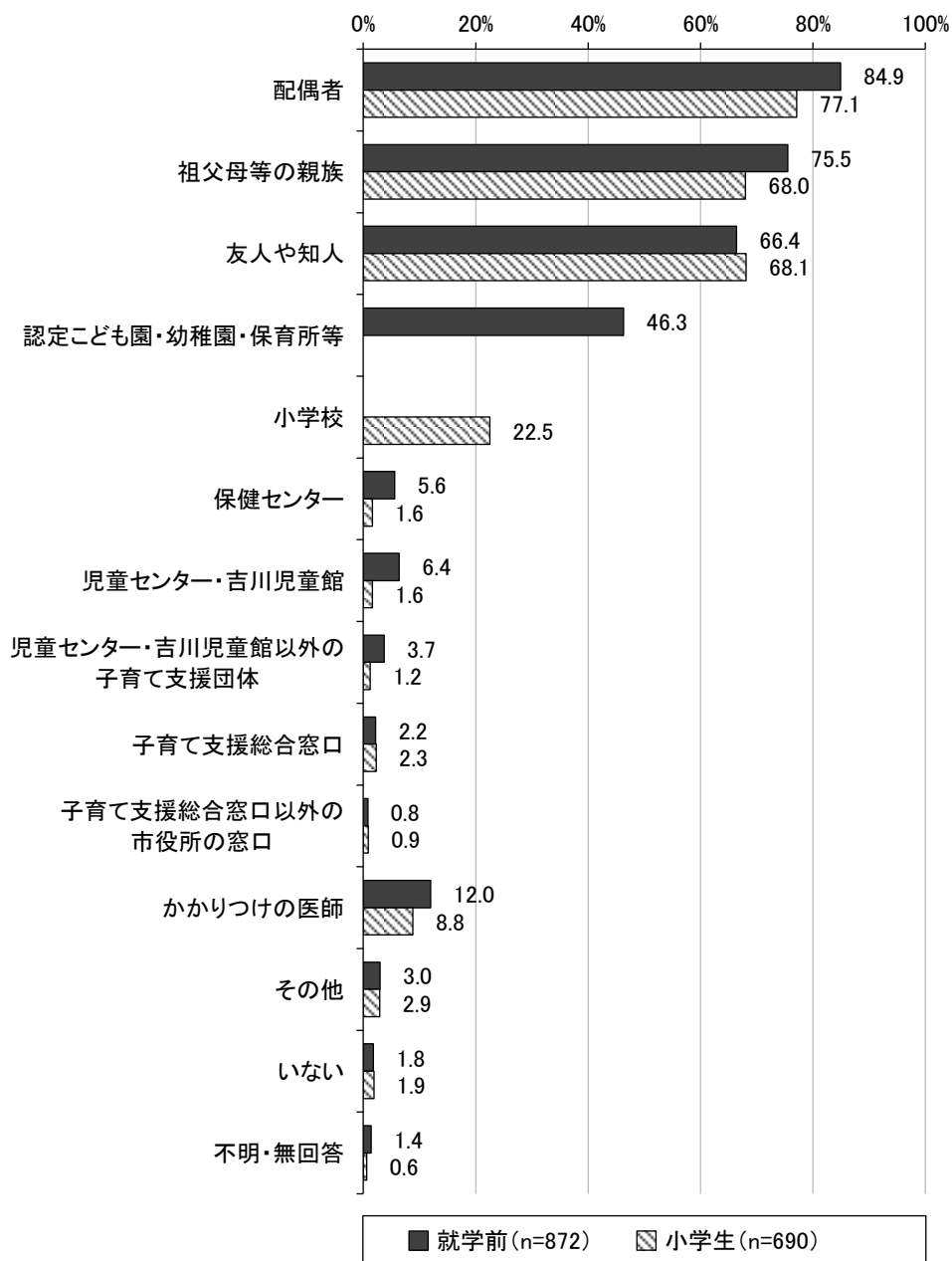


(2) お子さまの子育てに関して、気軽に相談できる先は、ありますか。

〔就学前・小学生…問7〕(複数回答)

子育てに関して気軽に相談できる先についてみると、就学前では「配偶者」が84.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が75.5%、「友人や知人」が66.4%となっています。

小学生では「配偶者」が77.1%と最も高く、次いで「友人や知人」が68.1%、「祖父母等の親族」が68.0%となっています。



※就学前のみ：「認定こども園・幼稚園・保育所等」

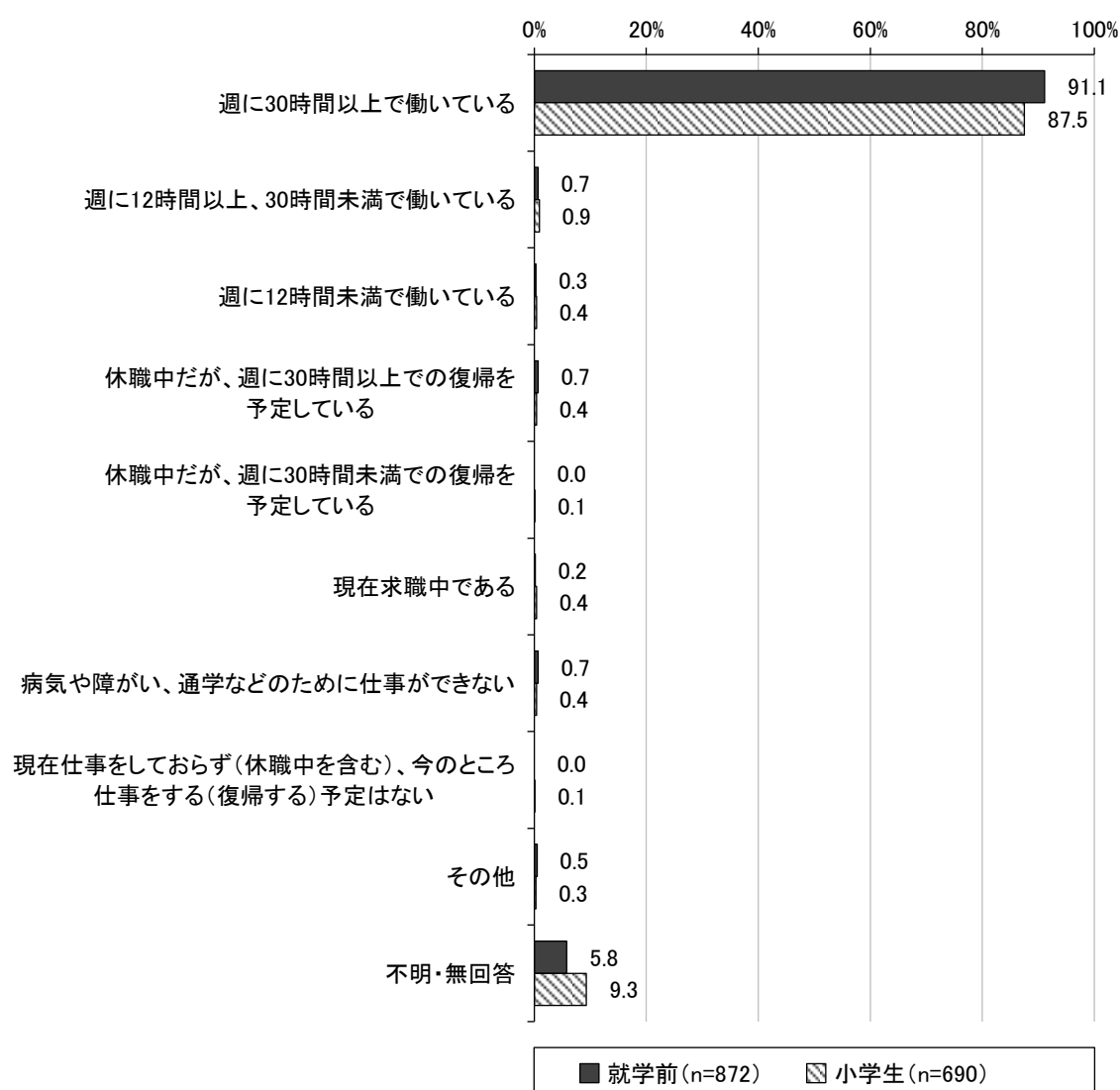
小学生のみ：「小学校」

3 保護者の就労状況について

(1) 宛名のお子さまの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。〔就学前・小学生…問8（1）〕（単数回答）

父親の就労状況についてみると、就学前では「週に30時間以上で働いている」が91.1%と最も高く、次いで「週に12時間以上、30時間未満で働いている」「休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している」「病気や障がい、通学などのために仕事ができない」が0.7%となっています。

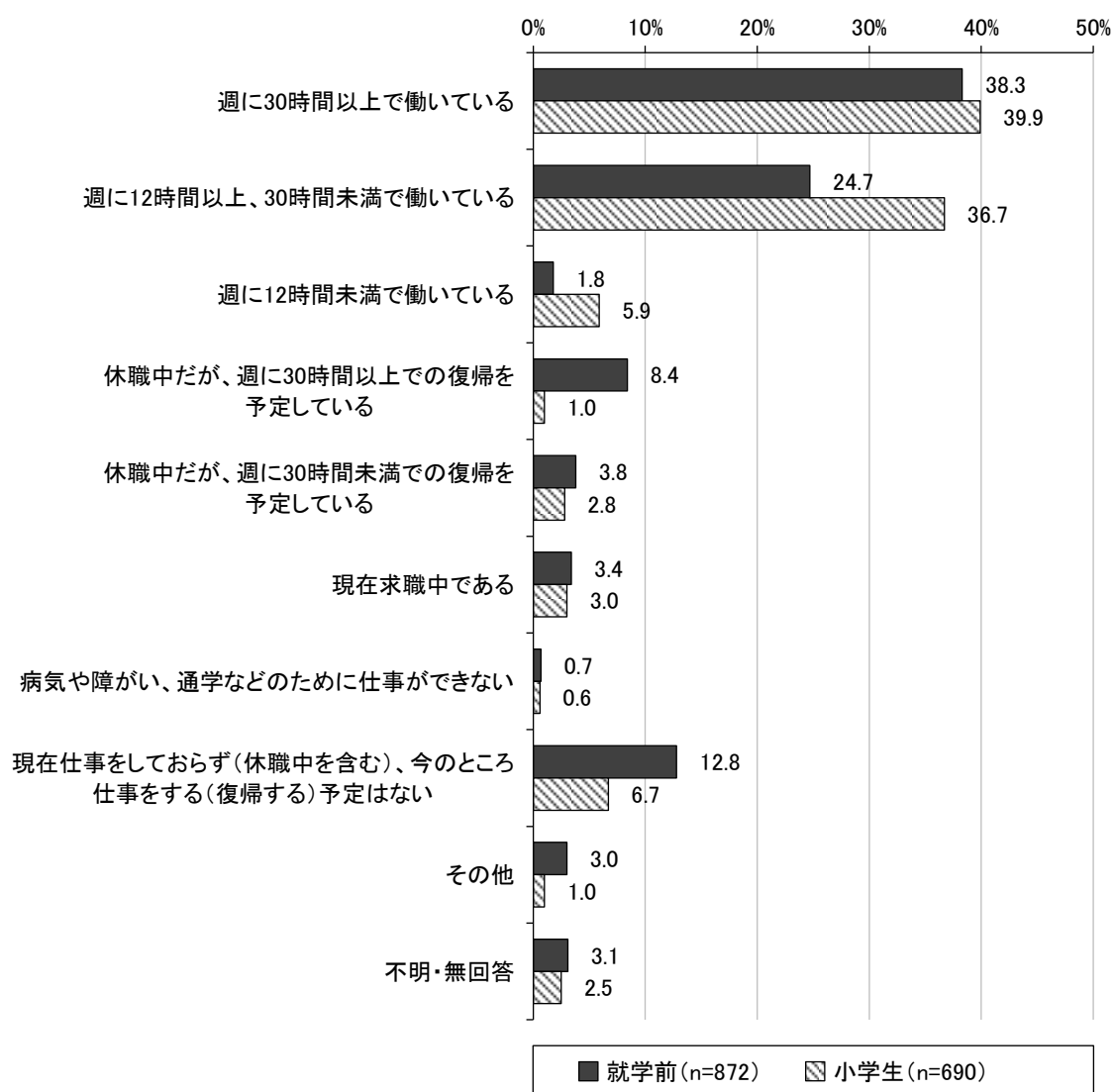
小学生では「週に30時間以上で働いている」が87.5%と最も高く、次いで「週に12時間以上、30時間未満で働いている」が0.9%、「週に12時間未満で働いている」「休職中だが、週に30時間以上での復帰を予定している」「現在休職中である」「病気や障がい、通学などのために仕事ができない」が0.4%となっています。



(2) 宛名のお子さまの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。〔就学前・小学生…問8（2）〕（単数回答）

母親の就労状況についてみると、就学前では「週に30時間以上で働いている」が38.3%と最も高く、次いで「週に12時間以上、30時間未満で働いている」が24.7%、「現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない」が12.8%となっています。

小学生では「週に30時間以上で働いている」が39.9%と最も高く、次いで「週に12時間以上、30時間未満で働いている」が36.7%、「現在仕事をしておらず（休職中を含む）、今のところ仕事をする（復帰する）予定はない」が6.7%となっています。

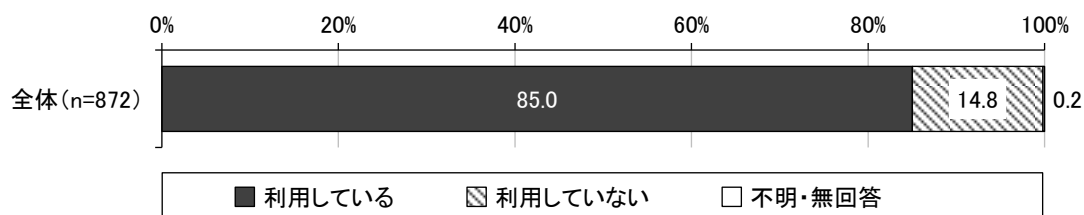


4 平日の定期的な認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況について（就学前）

（１）宛名のお子さまは現在、認定こども園・幼稚園・保育所等を利用されていますか。

〔就学前…問９〕（単数回答）

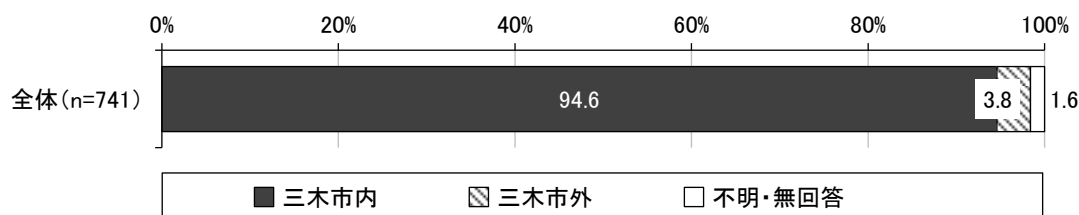
現在の認定こども園・幼稚園・保育所等の利用状況についてみると、「利用している」が 85.0%、「利用していない」が 14.8%となっています。



（１）で「利用している」を選択した方のみ

（２）利用しているのはどこですか。〔就学前…問９－１〕（単数回答）

利用している場所についてみると、「三木市内」が 94.6%、「三木市外」が 3.8%となっています。



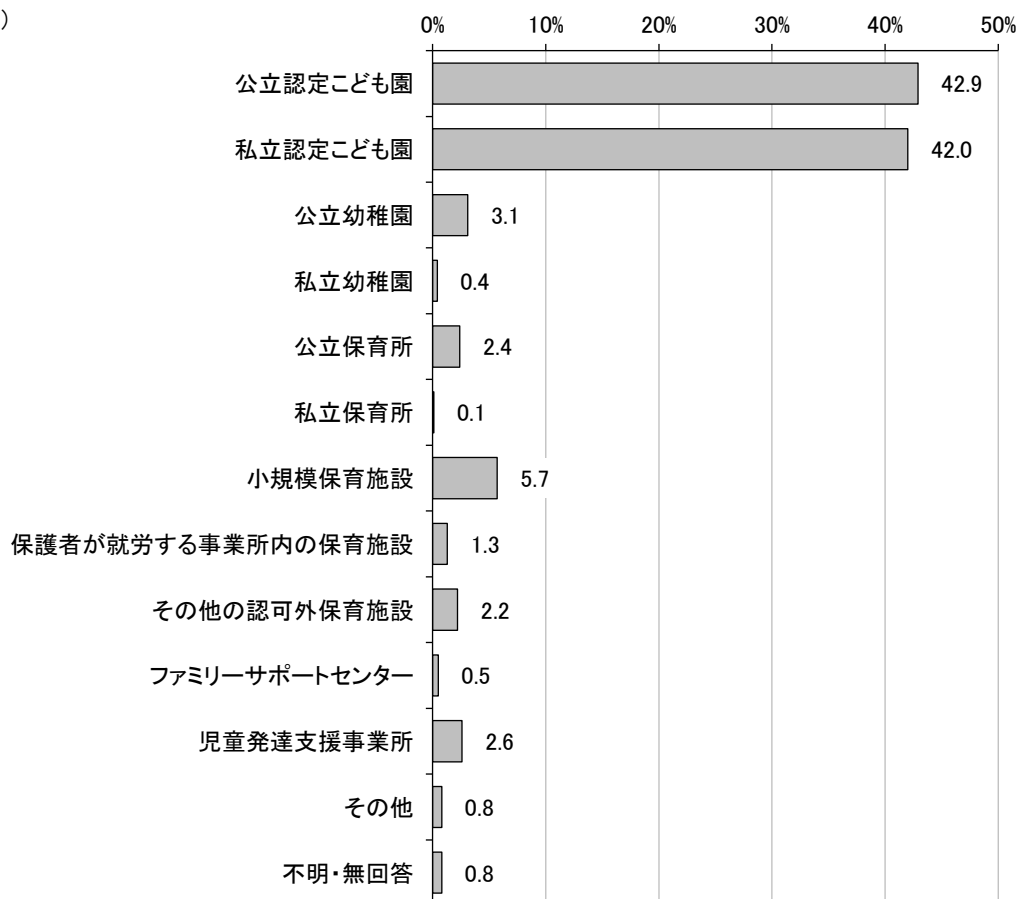
(1) で「利用している」を選択した方のみ

(3) 宛名のお子さまは、どのような教育・保育施設等を利用していますか。

〔就学前…問9－2〕(複数回答)

利用している教育・保育施設等についてみると、「公立認定こども園」が 42.9%と最も高く、次いで「私立認定こども園」が 42.0%、「小規模保育施設」が 5.7%となっています。

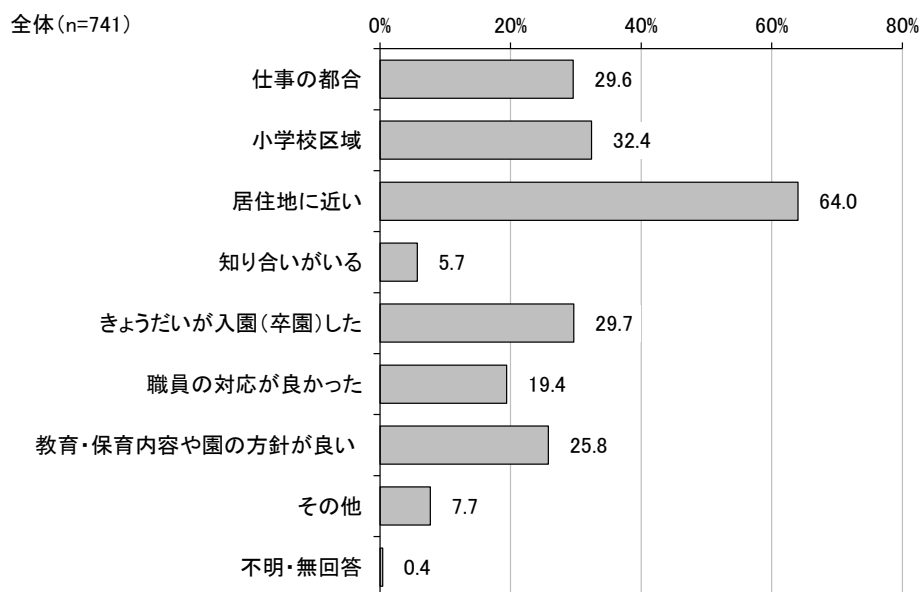
全体(n=741)



(1) で「利用している」を選択した方のみ

(4) 利用している施設を選んだ理由は何ですか。〔就学前…問9－3〕（複数回答）

利用している施設を選んだ理由についてみると、「居住地に近い」が 64.0%と最も高く、次いで「小学校区域」が 32.4%、「きょうだいが入園（卒園）した」が 29.7%となっています。

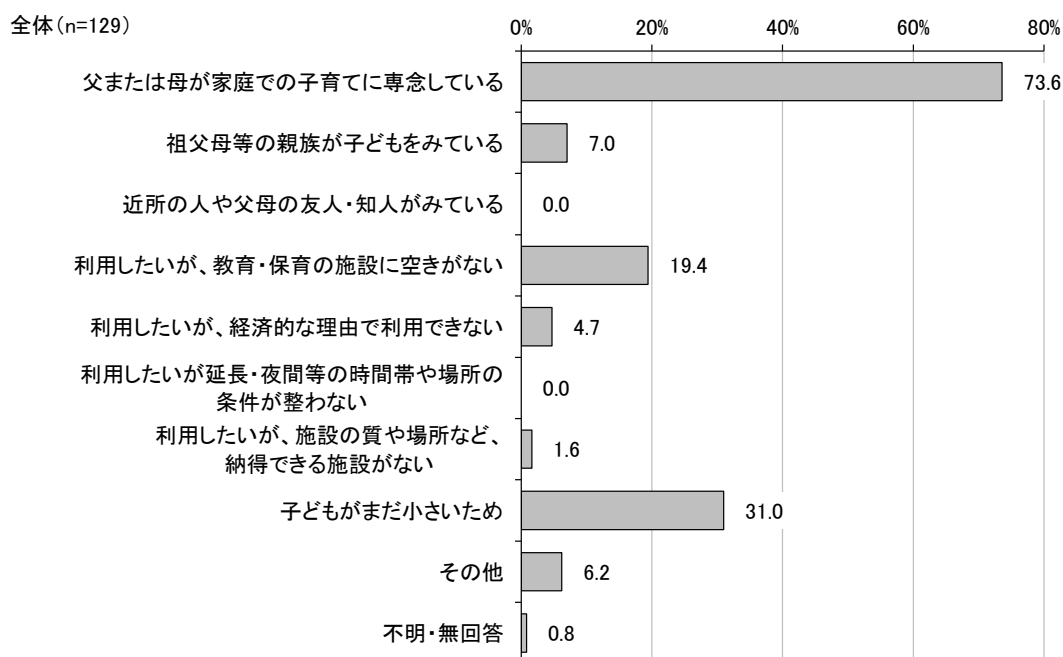


(1) で「利用していない」を選択した方のみ

(5) 平日の「定期的な」教育・保育を利用していない理由は何ですか。

〔就学前…問9－4〕（複数回答）

平日の「定期的な」教育・保育を利用していない理由についてみると、「父または母が家庭での子育てに専念している」が 73.6%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 31.0%、「利用したいが、教育・保育の施設に空きがない」が 19.4%となっています。

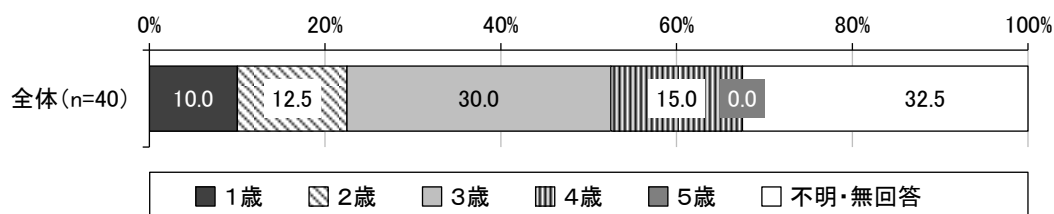


(5) で「子どもがまだ小さいため」を選択した方のみ

(6) 子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えていますか。

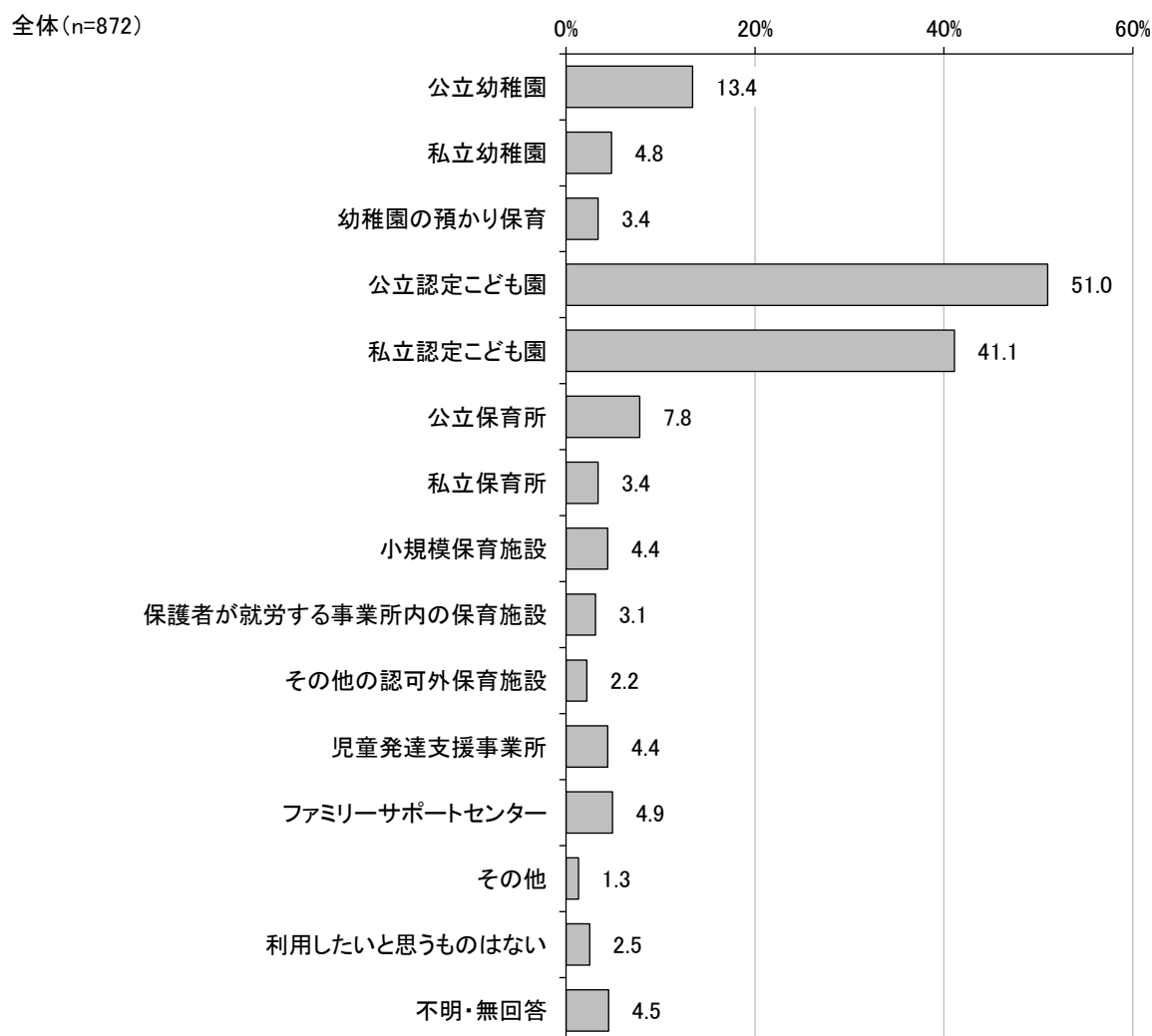
〔就学前…問9－4〕(数量回答)

子どもが何歳くらいになったら利用したいかについてみると、「3歳」が30.0%と最も高く、次いで「4歳」が15.0%、「2歳」が12.5%となっています。



(7) 現在利用しているか、していないにかかわらず、今後、宛名のお子さまの教育・保育の施設として、定期的な利用を希望する施設はありますか。〔就学前…問10〕(複数回答)

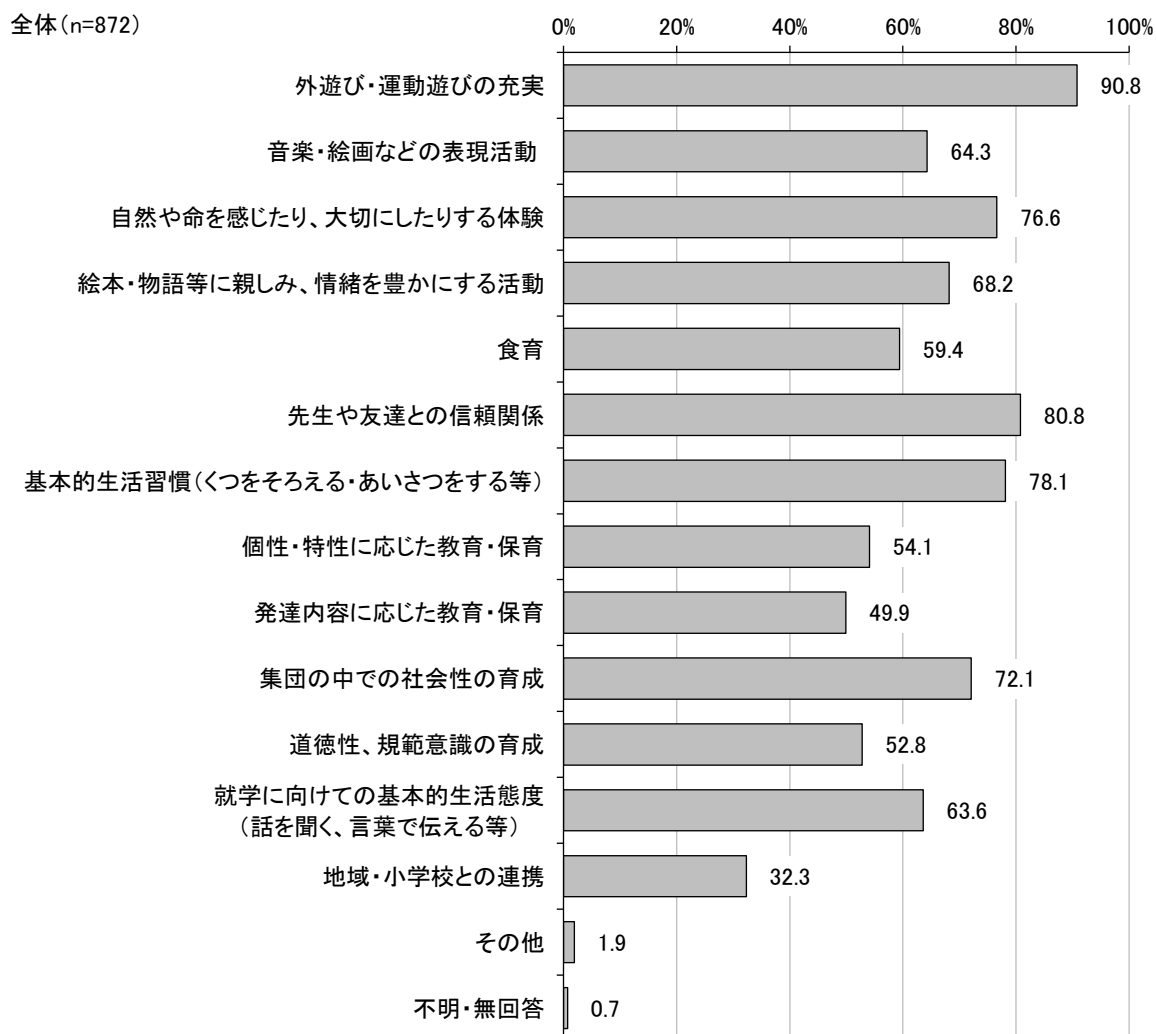
今後、定期的な利用を希望する教育・保育施設についてみると、「公立認定こども園」が51.0%と最も高く、次いで「私立認定こども園」が41.1%、「公立幼稚園」が13.4%となっています。



(8) 宛名のお子さまについて、どのような教育・保育内容を希望されますか。

〔就学前…問 11〕（複数回答）

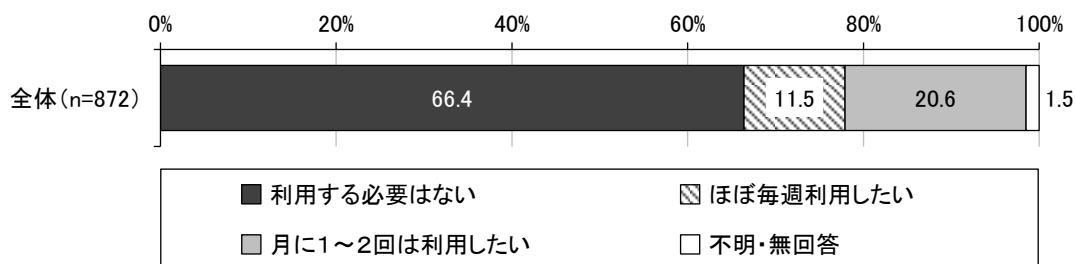
希望する教育・保育内容についてみると、「外遊び・運動遊びの充実」が 90.8%と最も高く、次いで「先生や友達との信頼関係」が 80.8%、「基本的生活習慣（くつをそろえる・あいさつをする等）」が 78.1%となっています。



5 土曜日・休日や長期の休みの認定こども園・幼稚園・保育所等の利用希望について（就学前）

（１）土曜日に、仕事や通学、家族の介護等の理由で、定期的な教育・保育施設の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。〔就学前…問 12（１）〕（単数回答）

土曜日の定期的な教育・保育施設の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 66.4%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 20.6%、「ほぼ毎週利用したい」が 11.5%となっています。



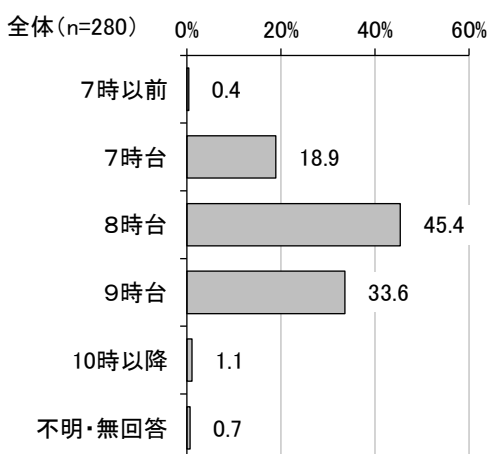
（１）で「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」を選択した方のみ

（２）土曜日の利用したい時間帯〔就学前…問 12（１）〕（数量回答）

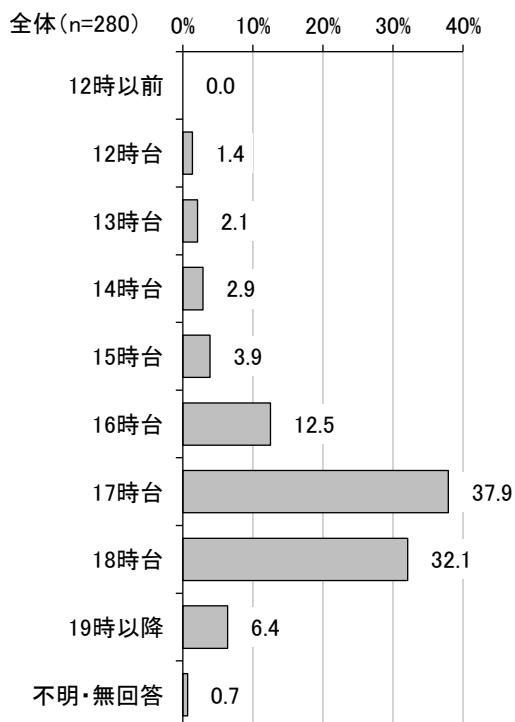
希望開始時刻についてみると、「8 時台」が 45.4%と最も高く、次いで「9 時台」が 33.6%、「7 時台」が 18.9%となっています。

希望終了時刻についてみると、「17 時台」が 37.9%と最も高く、次いで「18 時台」が 32.1%、「16 時台」が 12.5%となっています。

【希望開始時刻】

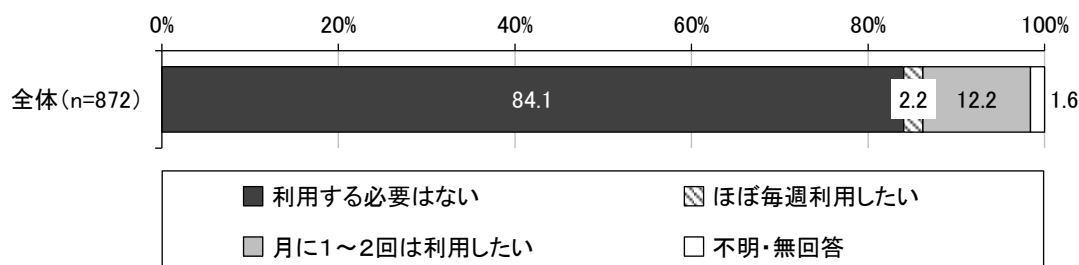


【希望終了時刻】



(3) 日曜日・祝日に、仕事や通学、家族の介護等の理由で、定期的な教育・保育施設の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。〔就学前…問 12（2）〕（単数回答）

日曜日・祝日の定期的な教育・保育施設の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 84.1%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」が 12.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.2%となっています。



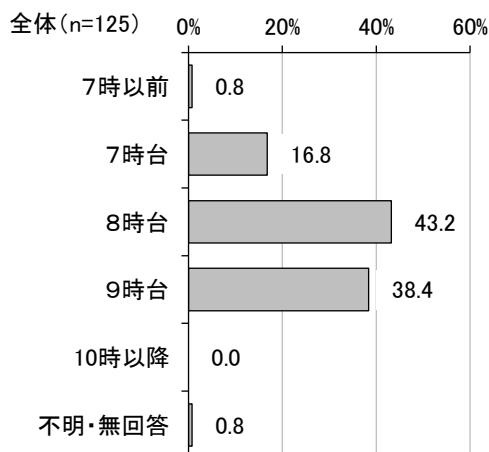
(3) で「ほぼ毎週利用したい」「月に 1～2 回は利用したい」を選択した方のみ

(4) 日曜日・祝日に利用したい時間帯〔就学前…問 12（2）〕（数量回答）

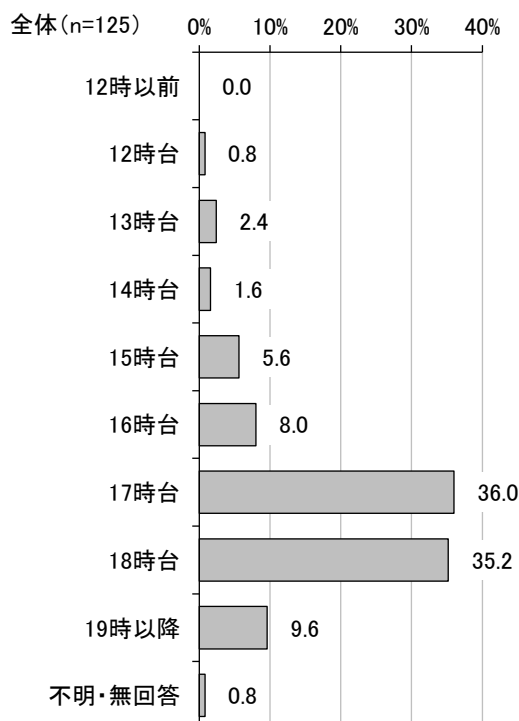
希望開始時刻についてみると、「8 時台」が 43.2%と最も高く、次いで「9 時台」が 38.4%、「7 時台」が 16.8%となっています。

希望終了時刻についてみると、「17 時台」が 36.0%と最も高く、次いで「18 時台」が 35.2%、「19 時台」が 9.6%となっています。

【希望開始時刻】



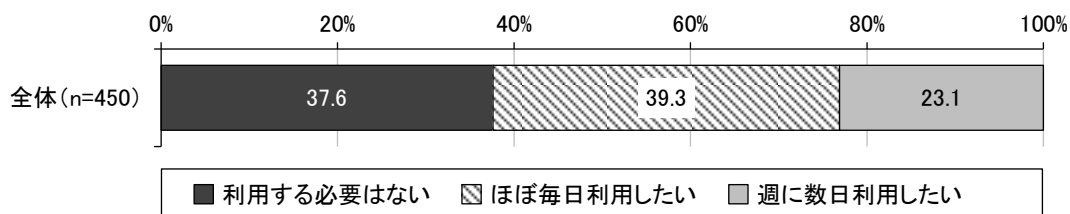
【希望終了時刻】



「幼稚園」または「認定こども園（１号認定）」を利用されている方のみ

（５）宛名のお子さまについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育施設の利用を希望しますか。〔就学前…問 13〕（単数回答）

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育施設の利用を希望するかについてみると、「ほぼ毎日利用したい」が 39.3%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 37.6%、「週に数日利用したい」が 23.1%となっています。



※「不明・無回答」を除いて集計

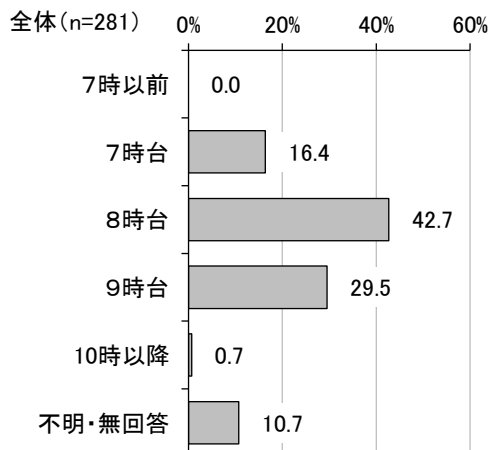
（５）で「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」を選択した方のみ

（６）長期の休暇期間中の利用したい時間帯〔就学前…問 13〕（数量回答）

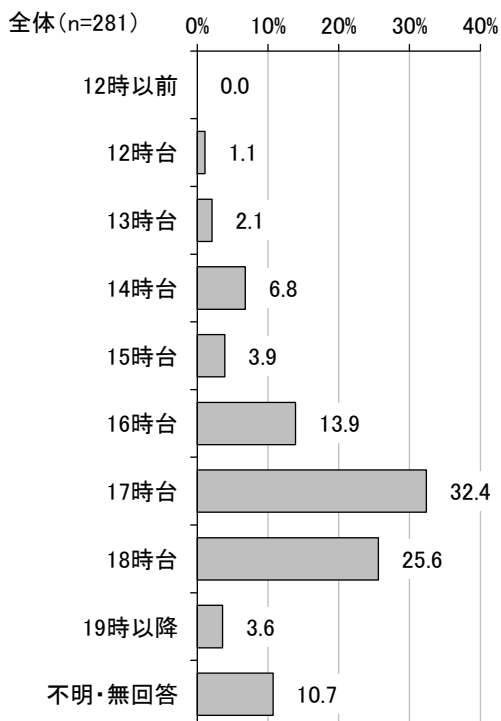
希望開始時刻についてみると、「８時台」が 42.7%と最も高く、次いで「９時台」が 29.5%、「７時台」が 16.4%となっています。

希望終了時刻についてみると、「17 時台」が 32.4%と最も高く、次いで「18 時台」が 25.6%、「16 時台」が 13.9%となっています。

【希望開始時刻】



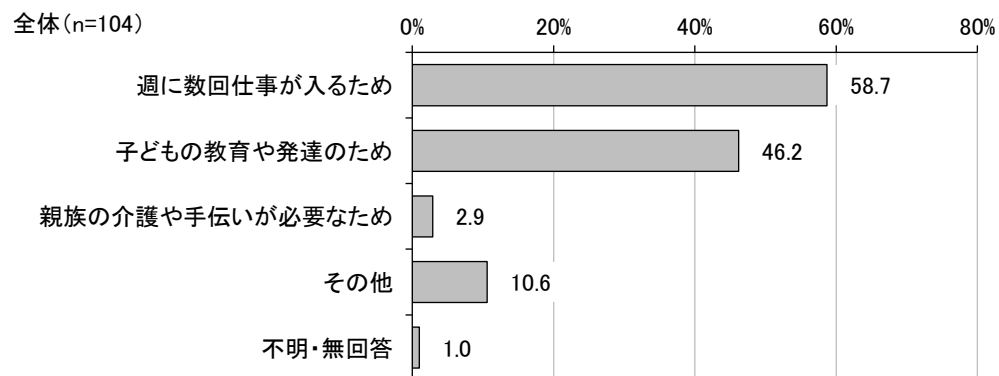
【希望終了時刻】



(5)で「週に数日利用したい」を選択した方のみ

(7) 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。〔就学前…問 13-1〕（複数回答）

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「週に数回仕事が入るため」が 58.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 46.2%、「親族の介護や手伝いが必要なため」が 2.9%となっています。



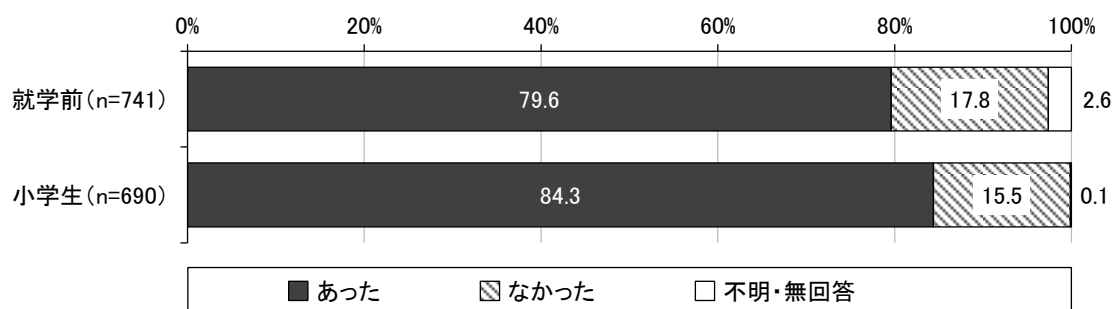
6 お子さまの病気の際の対応について

就学前保護者では、認定こども園・幼稚園・保育所等を利用している方のみ

小学生保護者ではすべての方

(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。〔就学前・小学生…問14〕(単数回答)

この1年間に病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと、小学校を休まなければならなかったことがあるかについてみると、就学前では「あった」が79.6%、「なかった」が17.8%となっています。小学生では「あった」が84.3%、「なかった」が15.5%となっています。



※小学生：学校を休まなければならなかったことがありますか。

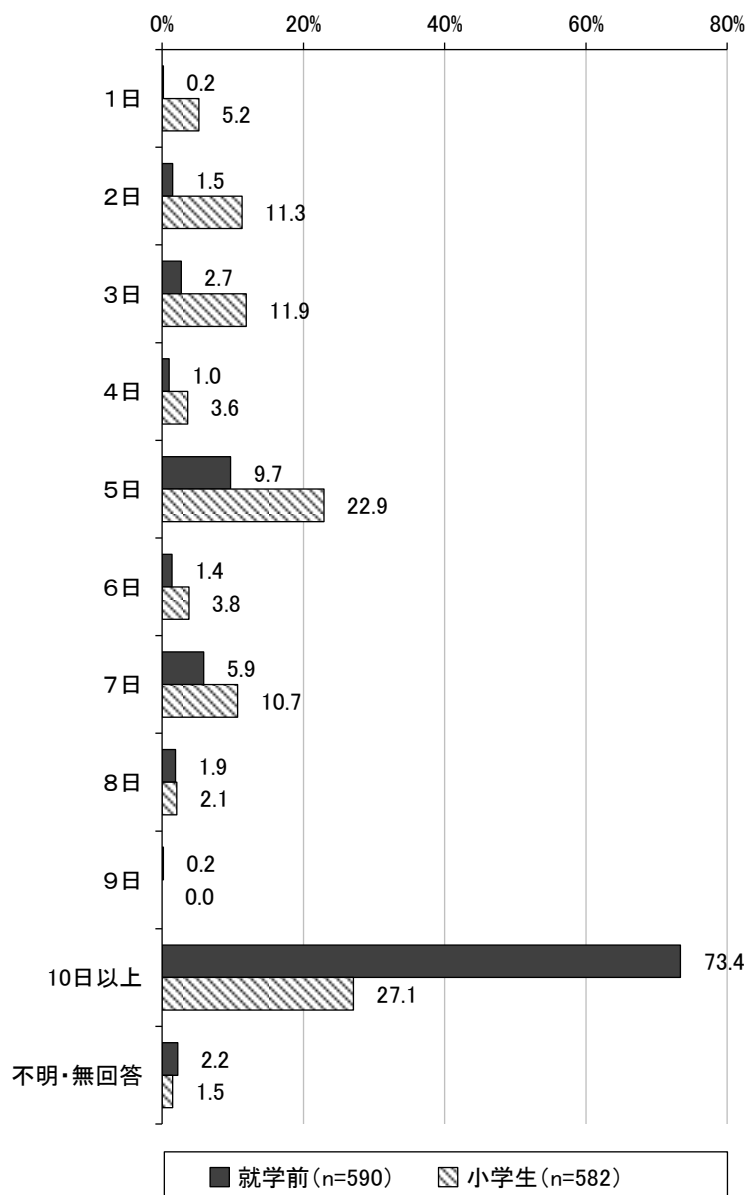
(1) で「あった」を選択した方のみ

(2) 通常の利用ができなかった日数は、1年間にだいたい何日くらいありましたか。

〔就学前・小学生…問 14-1〕(数量回答)

通常の利用ができなかった日数、学校を休んだ日数についてみると、就学前では「10日以上」が73.4%と最も高く、次いで「5日」9.7%、「7日」が5.9%となっています。

小学生では「10日以上」が27.1%と最も高く、次いで「5日」が22.9%、「3日」が11.9%となっています。



※小学生：学校を休んだ日数

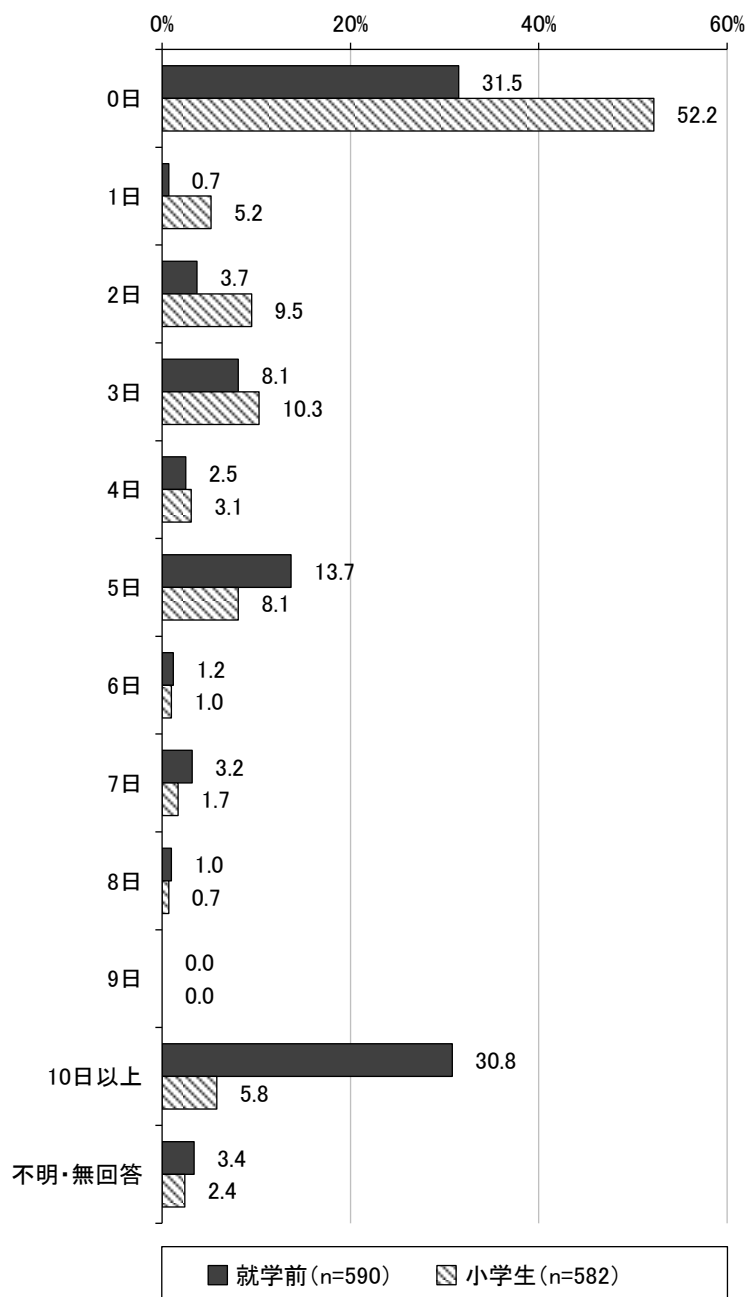
(1) で「あった」を選択した方のみ

(3) 通常の利用ができなかった日数のうち、お子さまをどこかで保育（看護を含む）してもらいたいと思った日数は、だいたい何日くらいありましたか。

〔就学前・小学生…問 14-2〕（数量回答）

子供をどこかで保育（看護を含む）してもらいたいと思った日数についてみると、就学前では「0日」が31.5%と最も高く、次いで「10日以上」が30.8%、「5日」が13.7%となっています。

小学生では「0日」が52.2%と最も高く、次いで「3日」が10.3%、「2日」が9.5%となっています。



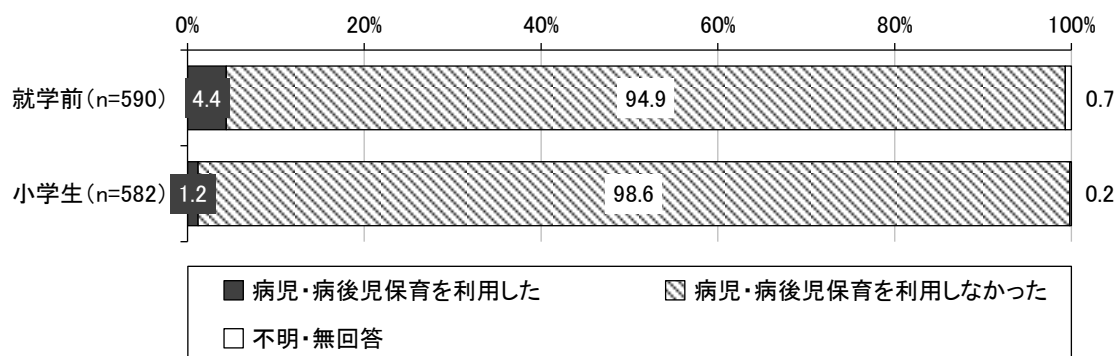
※小学生：学校を休んだ日数のうち

(1) で「あった」を選択した方のみ

(4) その際、病児・病後児保育を利用しましたか。〔就学前・小学生…問 14-3〕（単数回答）

病児・病後児保育を利用したかについてみると、就学前では「病児・病後児保育を利用した」が 4.4%、「病児・病後児保育を利用しなかった」が 94.9%となっています。

小学生では「病児・病後児保育を利用した」が 1.2%、「病児・病後児保育を利用しなかった」が 98.6%となっています。

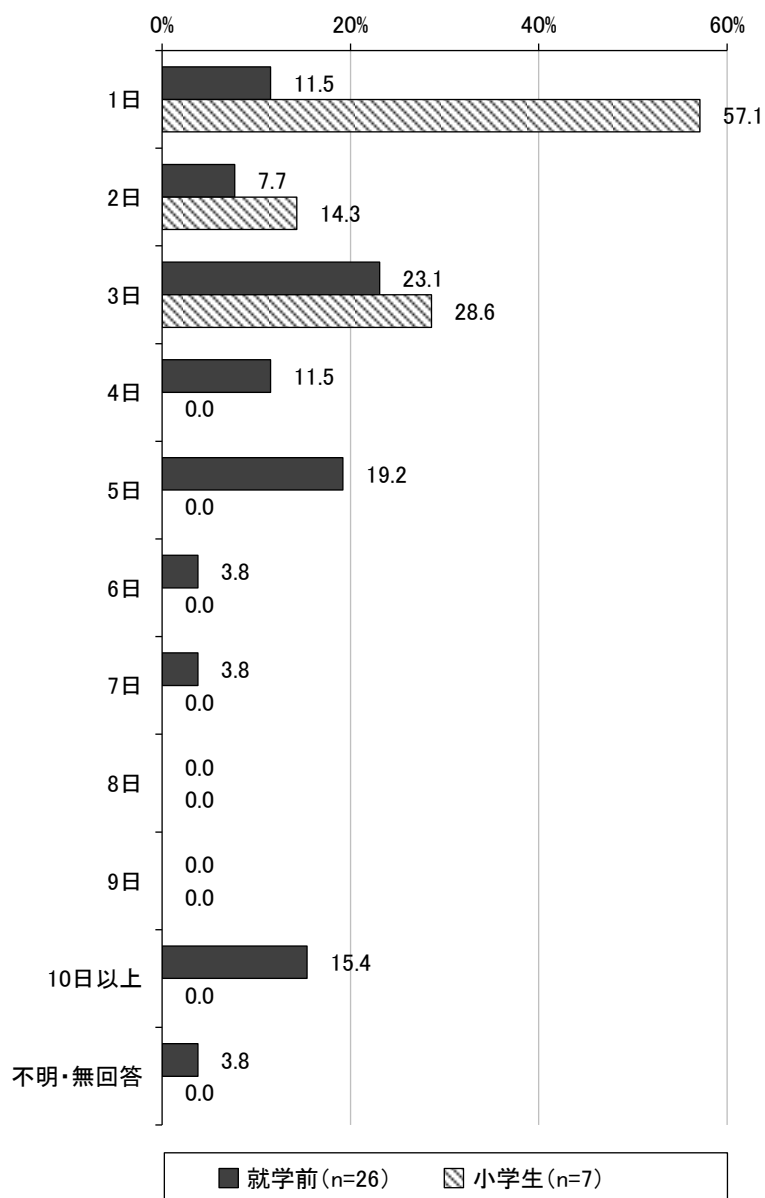


(4) で「病児・病後児保育を利用した」を選択した方のみ

(5) 病児・病後児保育の年間利用日数〔就学前・小学生…問 14-3〕(数量回答)

病児・病後児保育の年間利用日数についてみると、就学前では「3日」が23.1%と最も高く、次いで「5日」が19.2%、「10日以上」が15.4%となっています。

小学生では「1日」が57.1%（4件）と最も高く、次いで「3日」が28.6%（2件）、「2日」が14.3%（1件）となっています。



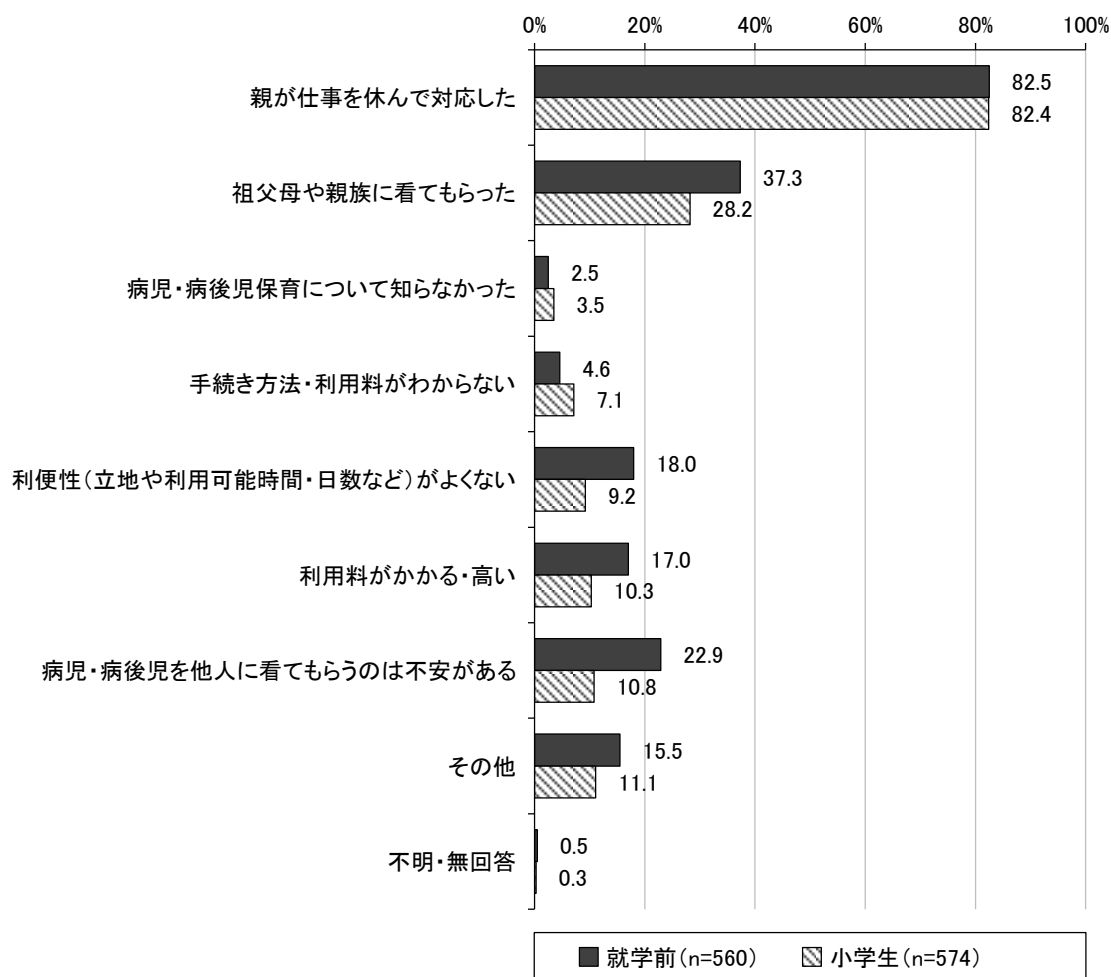
(4)で「病児・病後児保育を利用しなかった」を選択した方のみ

(6) 病児・病後児保育を利用しなかった理由は何ですか。

〔就学前・小学生…問 14-4〕(複数回答)

病児・病後児保育を利用しなかった理由についてみると、就学前では「親が仕事を休んで対応した」が82.5%と最も高く、次いで「祖父母や親族に看てもらった」が37.3%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある」が22.9%となっています。

小学生では「親が仕事を休んで対応した」が82.4%と最も高く、次いで「祖父母や親族に看てもらった」が28.2%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある」が10.8%となっています。

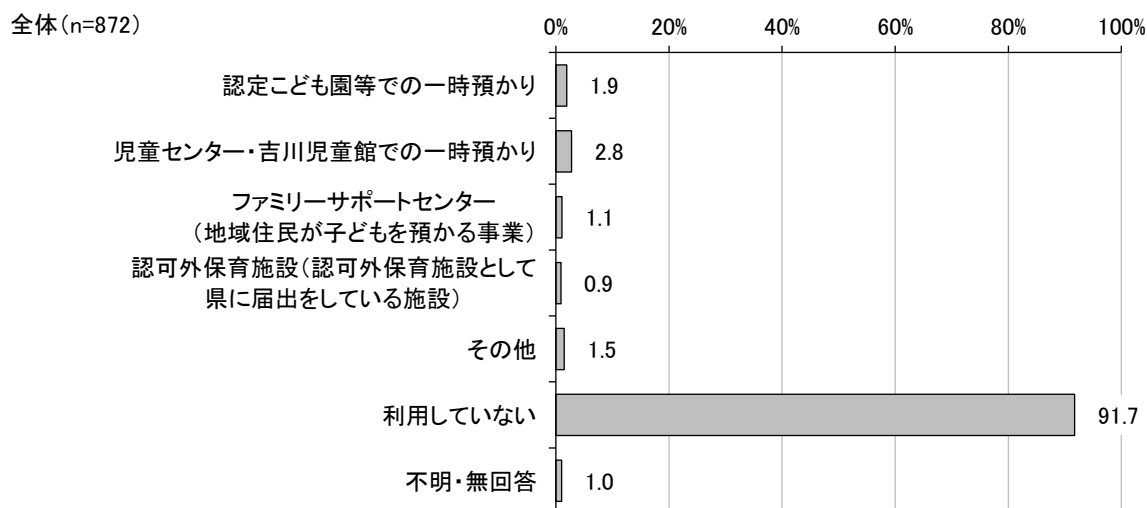


7 一時預かり等の不定期の利用について

(1) 宛名のお子さまについて、不定期に利用している事業はありますか。

〔就学前…問 15〕（複数回答）

不定期に利用している事業についてみると、「利用していない」が 91.7%と最も高く、次いで「児童センター・吉川児童館での一時預かり」が 2.8%、「認定こども園等での一時預かり」が 1.9%となっています。



(1) で「利用していない」以外を選択した方のみ

(2) 年間のおおよその利用日数〔就学前…問 15〕（数量回答）

認定こども園等での一時預かりについてみると、「10 日以上」が 41.2%と最も多く、次いで「2 日」が 23.5%、「1 日」「3 日」「4 日」「5 日」が 5.9%となっています。

児童センター・吉川児童館での一時預かりについてみると、「10 日以上」50.0%と最も高く、次いで「1 日」が 25.0%、「2 日」が 16.7%となっています。

ファミリーサポートセンターについてみると、「1 日」が 50.0%（5 件）と最も高く、次いで「3 日」が 20.0%（2 件）、「5 日」「10 日以上」が 10.0%（1 件）となっています。

認可外保育施設についてみると、「10 日以上」が 37.5%（3 件）と最も高く、次いで「5 日」が 25.0%（2 件）、「2 日」「3 日」が 12.5%（1 件）となっています。

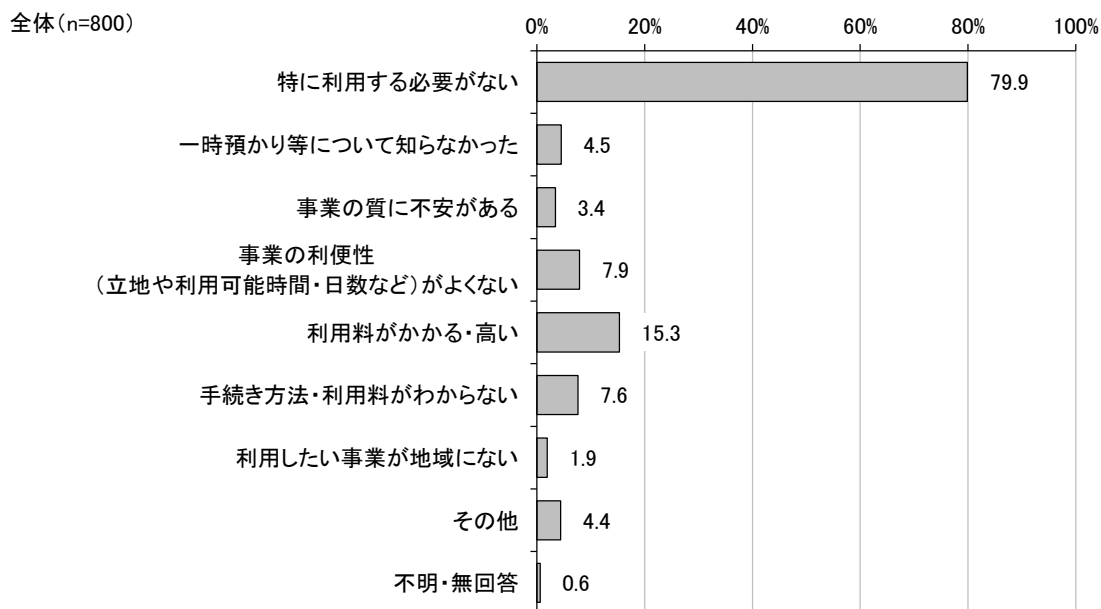
その他についてみると、「10 日以上」が 46.2%と最も高く、次いで「1 日」が 23.1%、「4 日」「5 日」が 7.7%となっています。

就学前保護者	認定こども園等での 一時預かり		児童センター・吉川児童館 での一時預かり		ファミリーサポート センター		認可外保育施設		その他	
	n=17		n=24		n=10		n=8		n=13	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1 日	1	5.9	6	25.0	5	50.0	0	0.0	3	23.1
2 日	4	23.5	4	16.7	0	0.0	1	12.5	0	0.0
3 日	1	5.9	1	4.2	2	20.0	1	12.5	0	0.0
4 日	1	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7
5 日	1	5.9	0	0.0	1	10.0	2	25.0	1	7.7
6 日	0	0.0	1	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7 日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8 日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9 日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	7	41.2	12	50.0	1	10.0	3	37.5	6	46.2
不明・無回答	2	11.8	0	0.0	1	10.0	1	12.5	2	15.4

(1) で「利用していない」を選択した方のみ

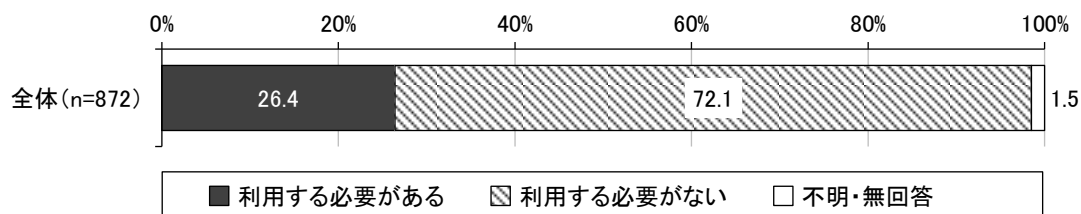
(3) 一時預かり等を利用しなかった理由は何ですか。〔就学前…問 15－1〕（複数回答）

一時預かり等を利用しなかった理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 79.9%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 15.3%、「事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」が 7.9%となっています。



(4) 宛名のお子さまについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かりを利用する必要があると思いますか。〔就学前…問 16〕（単数回答）

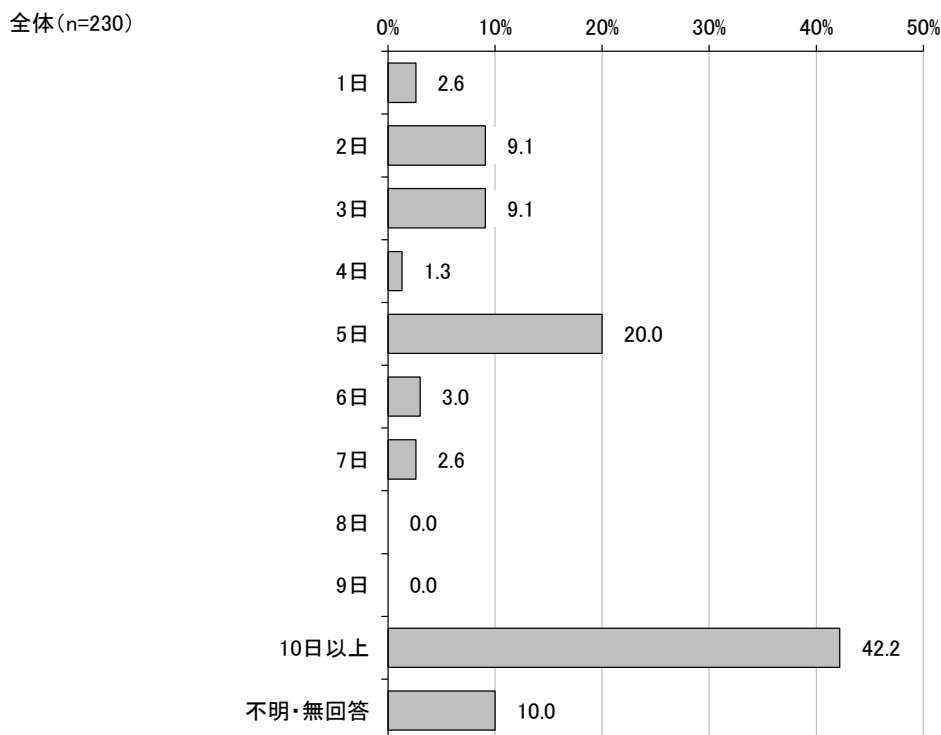
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かりを利用する必要があると思うかについてみると、「利用する必要がある」が 26.4%、「利用する必要がない」が 72.1%となっています。



(4) で「利用する必要がある」を選択した方のみ

(5) 一時預かりの利用を必要とする年間日数〔就学前…問 16〕（数量回答）

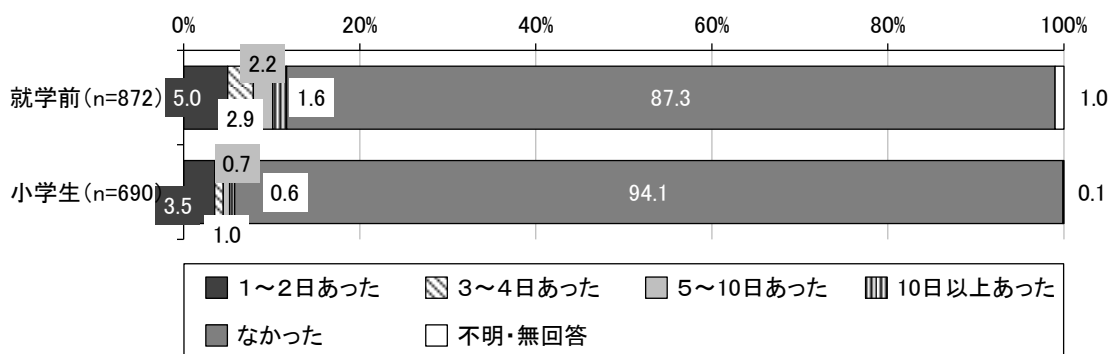
一時預かりの利用を必要とする年間日数についてみると、「10 日以上」が 42.2%と最も高く、次いで「5 日」が 20.0%、「2 日」「3 日」が 9.1%となっています。



(6) この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の育児疲れや不安、病気など）により、宛名のお子さまを泊りがけで家族・親族以外に預けなければならないことはありましたか。〔就学前 問 17・小学生…問 15〕（単数回答）

この 1 年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族・親族以外に預けなければならないことはあったかについてみると、就学前では「なかった」が 87.3%と最も高く、次いで「1～2 日あった」が 5.0%、「3～4 日あった」が 2.9%となっています。

小学生では「なかった」が 94.1%と最も高く、次いで「1～2 日あった」が 3.5%、「3～4 日あった」が 1.0%となっています。



※就学前のみ：家族の育児疲れや不安

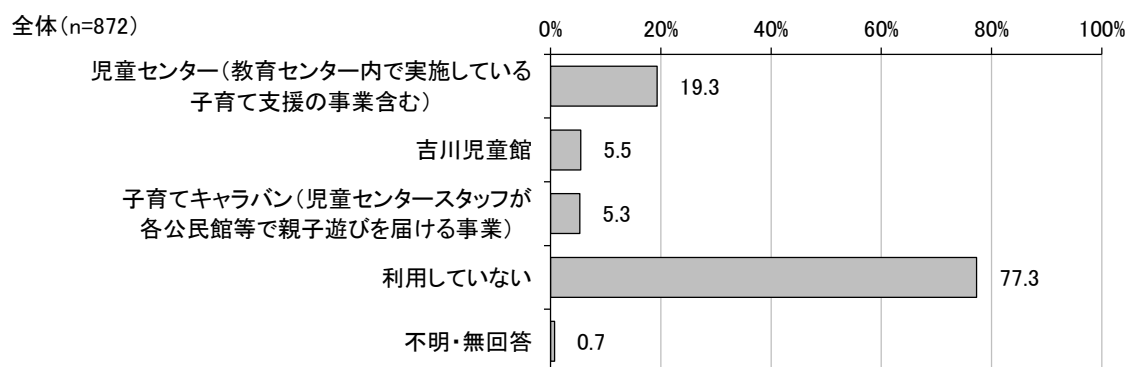
8 児童センター・吉川児童館について

(1) 宛名のお子さまは、現在、児童センター、吉川児童館、子育てキャラバンを利用していますか。〔就学前…問 18・小学生…問 16〕（複数回答）

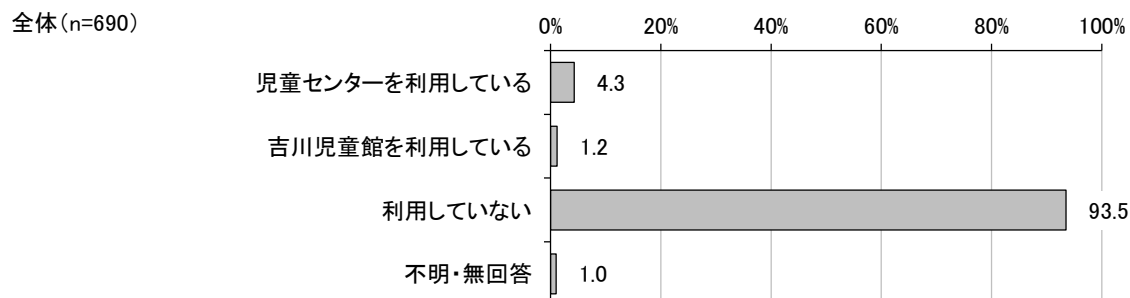
現在、児童センター、吉川児童館、子育てキャラバンを利用しているかについてみると、就学前では「利用していない」が 77.3%と最も高く、次いで「児童センター（教育センター内で実施している子育て支援の事業含む）」が 19.3%、「吉川児童館」が 5.5%となっています。

小学生では「利用していない」が 93.5%と最も高く、次いで「児童センターを利用している」が 4.3%、「吉川児童館を利用している」が 1.2%となっています。

（就学前）



（小学生）



※就学前のみ：子育てキャラバン

(1) で「利用していない」以外を選択した方のみ

(2) 1 か月のおよその利用日数〔就学前…問 18〕（数量回答）

児童センターについてみると、「1 日」が 56.5%と最も高く、次いで「2 日」が 11.9%、「10 日以上」が 11.3%となっています。

吉川児童館についてみると、「1 日」が 54.2%と最も高く、次いで「2 日」が 14.6%、「3 日」「4 日」「10 日以上」が 6.3%となっています。

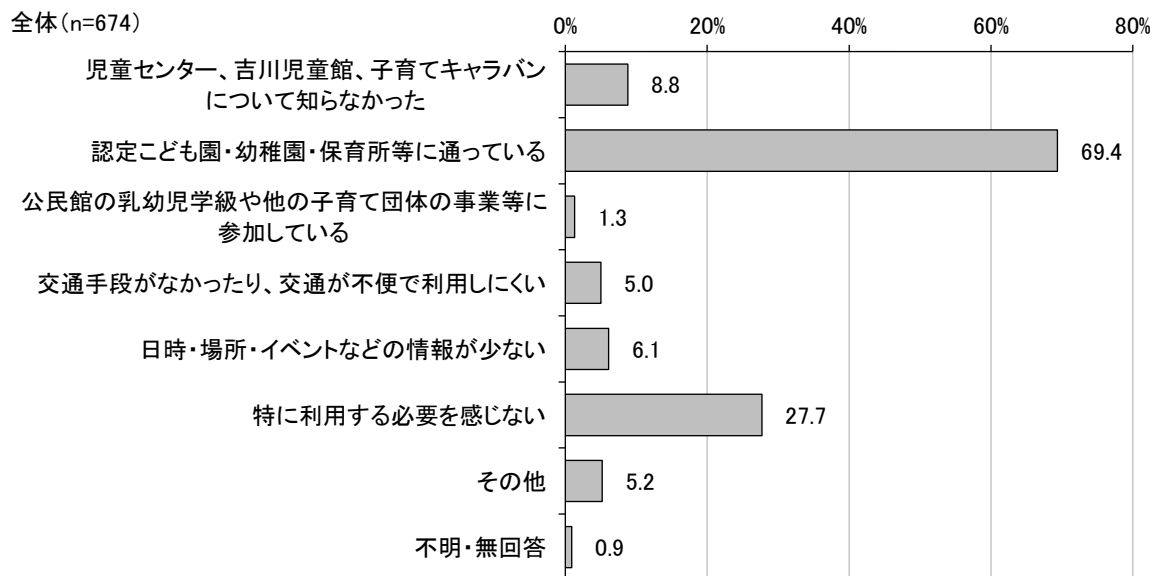
子育てキャラバンについてみると、「1 日」が 60.9%と最も高く、次いで「2 日」が 15.2%、「3 日」が 10.9%となっています。

就学前保護者	児童センター		吉川児童館		子育てキャラバン	
	n=168		n=48		n=46	
	件数	%	件数	%	件数	%
1 日	95	56.5	26	54.2	28	60.9
2 日	20	11.9	7	14.6	7	15.2
3 日	11	6.5	3	6.3	5	10.9
4 日	5	3.0	3	6.3	0	0.0
5 日	4	2.4	0	0.0	0	0.0
6 日	1	0.6	0	0.0	1	2.2
7 日	2	1.2	0	0.0	0	0.0
8 日	3	1.8	0	0.0	0	0.0
9 日	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	19	11.3	3	6.3	0	0.0
不明・無回答	8	4.8	6	12.5	5	10.9

(1)で「利用していない」を選択した方のみ

(3) 利用していない理由は何ですか。〔就学前…問 18－1〕(複数回答)

児童センター、吉川児童館、子育てキャラバンを利用していない理由についてみると、「認定こども園・幼稚園・保育所等に通っている」が69.4%と最も高く、次いで「特に利用する必要を感じない」が27.7%、「児童センター、吉川児童館、子育てキャラバンについて知らなかった」が8.8%となっています。

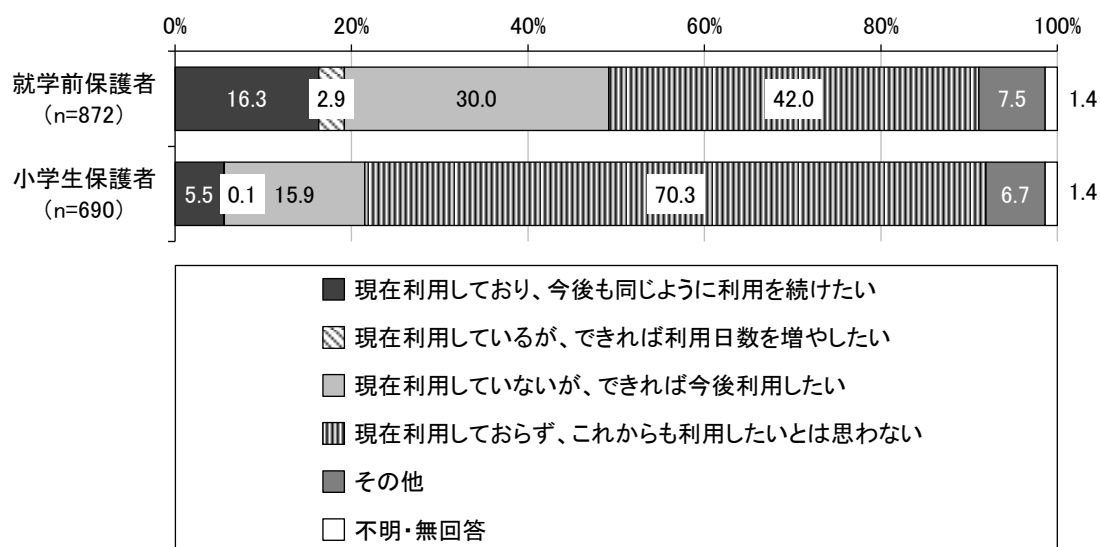


(4) 児童センター、吉川児童館、子育てキャラバン等について、今後、利用したいと思いますか。

〔就学前…問 19・小学生…問 17〕（単数回答）

児童センター、吉川児童館、子育てキャラバン等について、今後利用したいと思うかについてみると、就学前では「現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない」が 42.0%と最も高く、次いで「現在利用していないが、できれば今後利用したい」が 30.0%、「現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい」が 16.3%となっています。

小学生では「現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない」が 70.3%と最も高く、次いで「現在利用していないが、できれば今後利用したい」が 15.9%、「現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい」が 5.5%となっています。



※就学前のみ：子育てキャラバン等

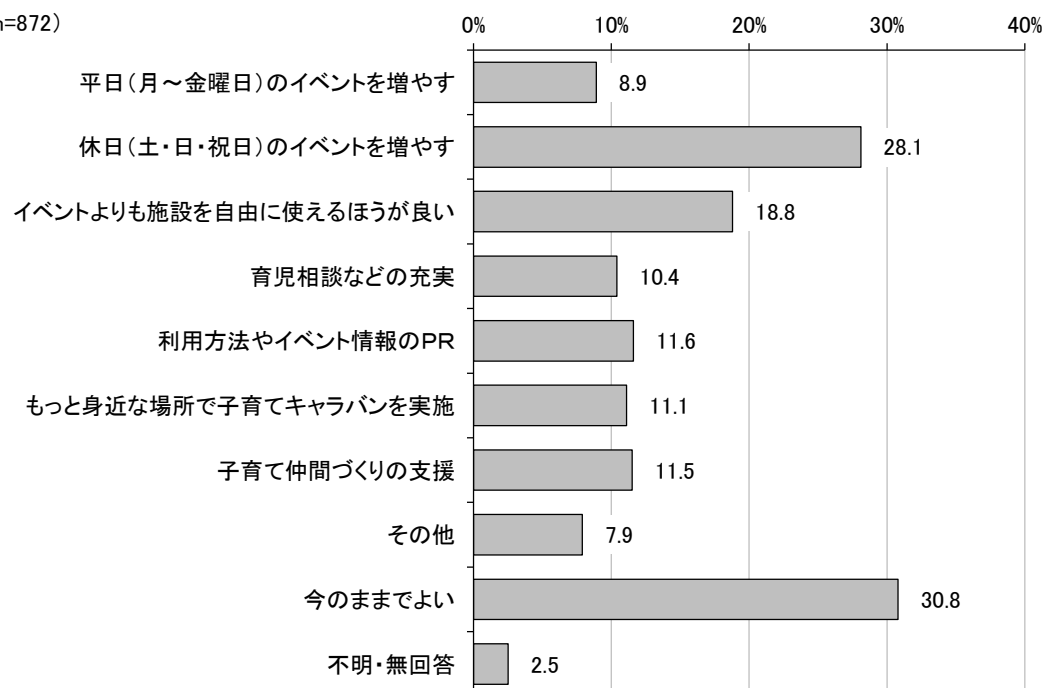
(5) 児童センター、吉川児童館、子育てキャラバン等を利用するにあたり、より充実してほしいことはどのようなことですか。〔就学前…問 20・小学生…問 18〕（複数回答）

児童センター、吉川児童館、子育てキャラバン等を利用するにあたり、より充実してほしいことについてみると、就学前では「今のままでよい」が 30.8%と最も高く、次いで「休日（土・日・祝日）のイベントを増やす」が 28.1%、「イベントよりも施設を自由に使えるほうが良い」が 18.8%となっています。

小学生では「小学生向けのイベントを増やす」が 37.1%と最も高く、次いで「今のままでよい」が 33.3%、「イベントよりも施設を自由に使えるほうが良い」が 15.4%となっています。

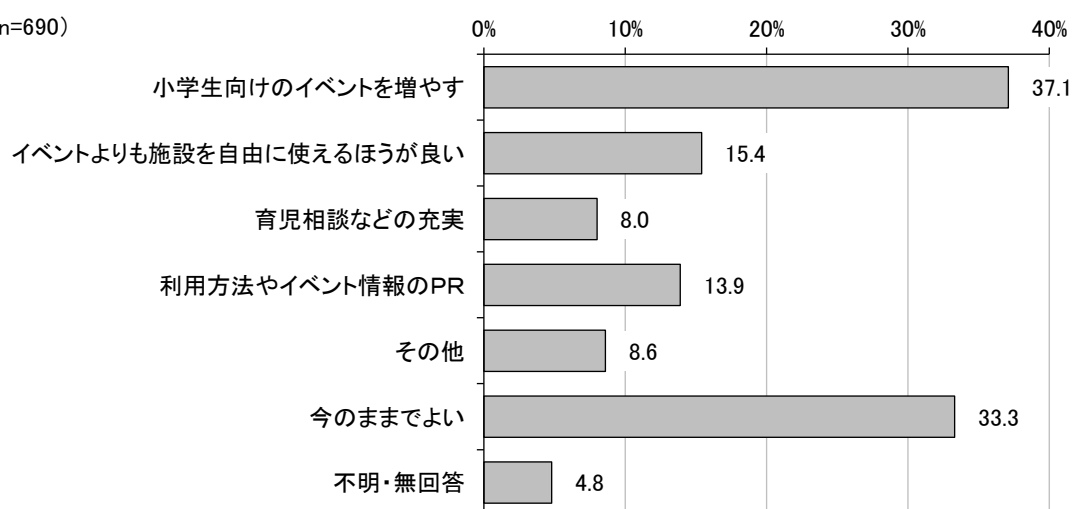
(就学前)

全体 (n=872)



(小学生)

全体 (n=690)



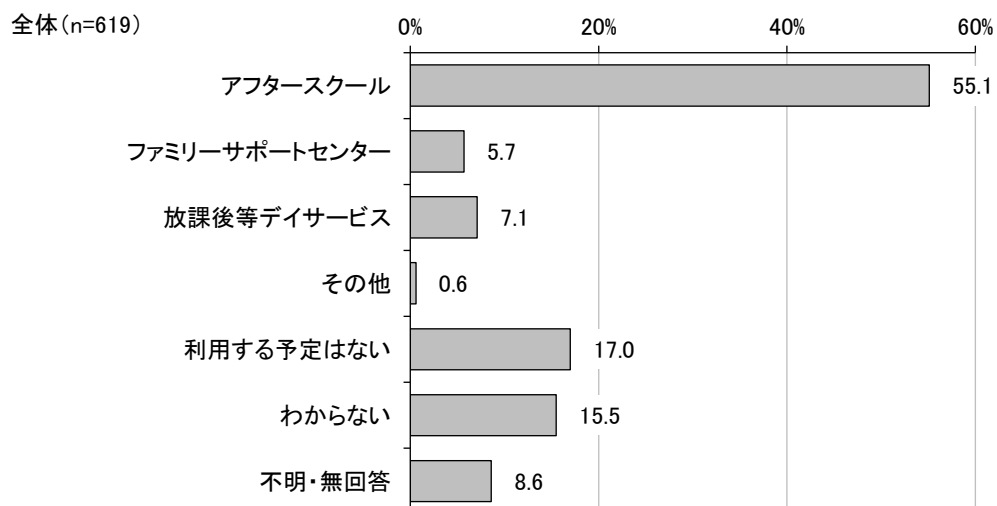
※就学前のみ：子育てキャラバン等

9 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前）

子どもが3歳以上の方のみ

（1）宛名のお子さまが小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に、利用したい預かりサービスはありますか。〔就学前…問 21〕（複数回答）

宛名のお子さまが小学校入学後の放課後（平日の授業終了後）に、利用したい預かりサービスについてみると、「アフタースクール」が55.1%と最も高く、次いで「利用する予定はない」が17.0%、「わからない」が15.5%となっています。



(1) で「アフタースクール」～「その他」を選択した方のみ

(2) 利用したい週当たりの日数〔就学前…問 21〕（数量回答）

アフタースクールについてみると、「5 日」が 65.7%と最も高く、次いで「4 日」が 10.0%、「6 日」が 8.2%となっています。

ファミリーサポートセンターについてみると、「5 日」が 25.7%と最も高く、次いで「1 日」が 22.9%、「2 日」が 17.1%となっています。

放課後等デイサービスについてみると、「5 日」が 22.7%と最も高く、次いで「2 日」が 20.5%、「3 日」「6 日」が 13.6%となっています。

その他についてみると、「6 日」が 75.0%（3 件）、「2 日」が 25.0%（1 件）となっています。

就学前保護者	アフタースクール		ファミリーサポートセンター		放課後等デイサービス		その他	
	n=341		n=35		n=44		n=4	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1 日	2	0.6	8	22.9	5	11.4	0	0.0
2 日	6	1.8	6	17.1	9	20.5	1	25.0
3 日	24	7.0	4	11.4	6	13.6	0	0.0
4 日	34	10.0	1	2.9	3	6.8	0	0.0
5 日	224	65.7	9	25.7	10	22.7	0	0.0
6 日	28	8.2	2	5.7	6	13.6	3	75.0
7 日	3	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	20	5.9	5	14.3	5	11.4	0	0.0

(1) で「アフタースクール」～「その他」を選択した方のみ

(3) 何年生まで利用したいですか。〔就学前…問 21〕（数量回答）

アフタースクールについてみると、「3年生」が 31.1%と最も高く、次いで「6年生」が 28.7%、「4年生」が 23.2%となっています。

ファミリーサポートセンターについてみると、「6年生」が 40.0%と最も高く、次いで「3年生」が 20.0%、「4年生」が 17.1%となっています。

放課後等デイサービスについてみると、「6年生」が 59.1%と最も高く、次いで「3年生」が 15.9%、「1年生」が 4.5%となっています。

その他についてみると、「6年生」が 50.0%（2件）、「4年生」が 25.0%（1件）となっています。

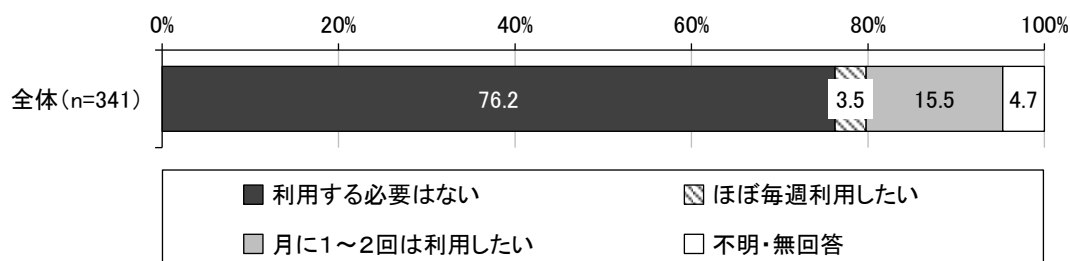
就学前保護者	アフタースクール		ファミリーサポートセンター		放課後等デイサービス		その他	
	n=341		n=35		n=44		n=4	
	件数	%	件数	%	件数	(全体)%	件数	%
1年生	4	1.2	0	0.0	2	4.5	0	0.0
2年生	21	6.2	2	5.7	1	2.3	0	0.0
3年生	106	31.1	7	20.0	7	15.9	0	0.0
4年生	79	23.2	6	17.1	1	2.3	1	25.0
5年生	14	4.1	2	5.7	1	2.3	0	0.0
6年生	98	28.7	14	40.0	26	59.1	2	50.0
不明・無回答	19	5.6	4	11.4	6	13.6	1	25.0

(1) で「アフタースクール」を選択した方のみ

(4) 宛名のお子さまについて、日曜日のアフタースクールの利用希望はありますか。

〔就学前…問 21－1 (1)〕 (単数回答)

日曜日の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 76.2%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 15.5%、「ほぼ毎週利用したい」が 3.5%となっています。



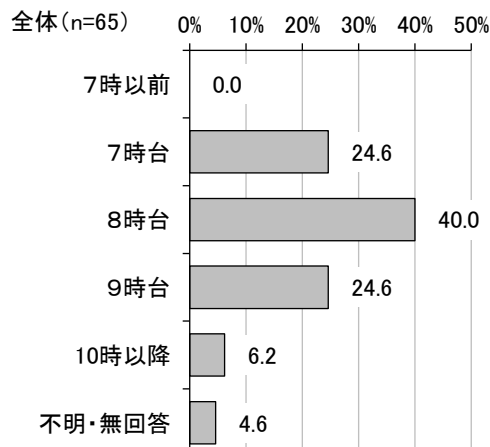
(4) で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選択した方のみ

(5) 日曜日の利用したい時間帯〔就学前…問 21－1 (1)〕 (数量回答)

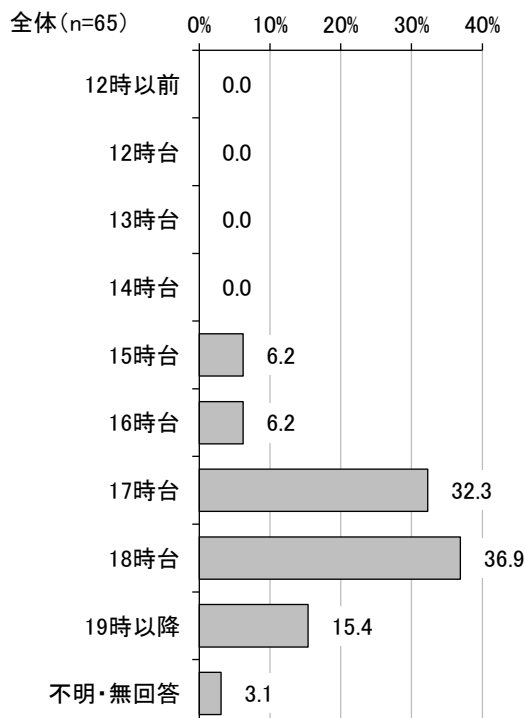
希望開始時刻についてみると、「8時台」が 40.0%と最も高く、次いで「7時台」「9時台」が 24.6%となっています。

希望終了時刻についてみると、就学前では、「18時台」が 36.9%と最も高く、次いで「17時台」が 32.3%、「19時以降」が 15.4%となっています。

【希望開始時刻】



【希望終了時刻】

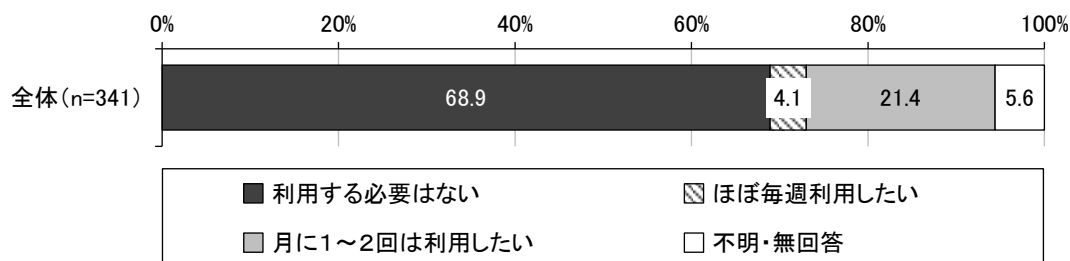


(1) で「アフタースクール」を選択した方のみ

(6) 宛名のお子さまについて、祝日のアフタースクールの利用希望はありますか。

〔就学前…問 21-1 (2)〕(単数回答)

祝日の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 68.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 21.4%、「ほぼ毎週利用したい」が 4.1%となっています。



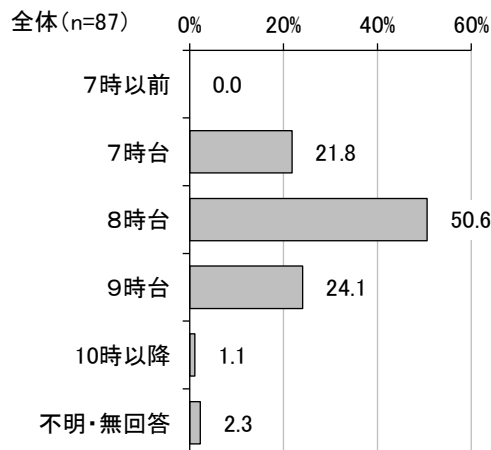
(6) で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選択した方のみ

(7) 祝日の利用したい時間帯〔就学前…問 21-1 (2)〕(数量回答)

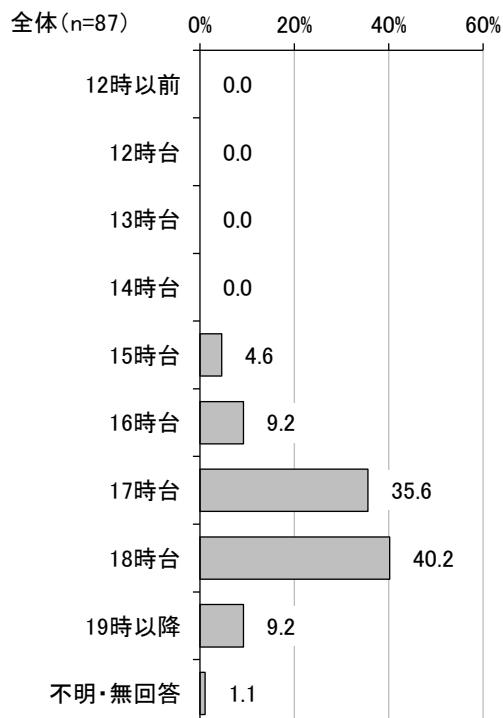
希望開始時刻についてみると、「8時台」が 50.6%と最も高く、次いで「9時台」が 24.1%、「7時台」が 21.8%となっています。

希望終了時刻についてみると、「18時台」が 40.2%と最も高く、次いで「17時台」が 35.6%、「16時台」「19時以降」が 9.2%となっています。

【希望開始時刻】



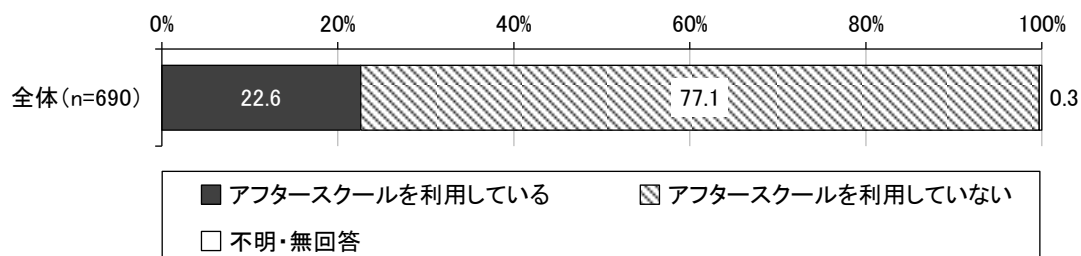
【希望終了時刻】



10 宛名のお子さまの放課後の過ごし方（アフタースクールの利用）について（小学生）

（１）宛名のお子さまは現在、アフタースクールを利用していますか。〔小学生…問９〕（単数回答）

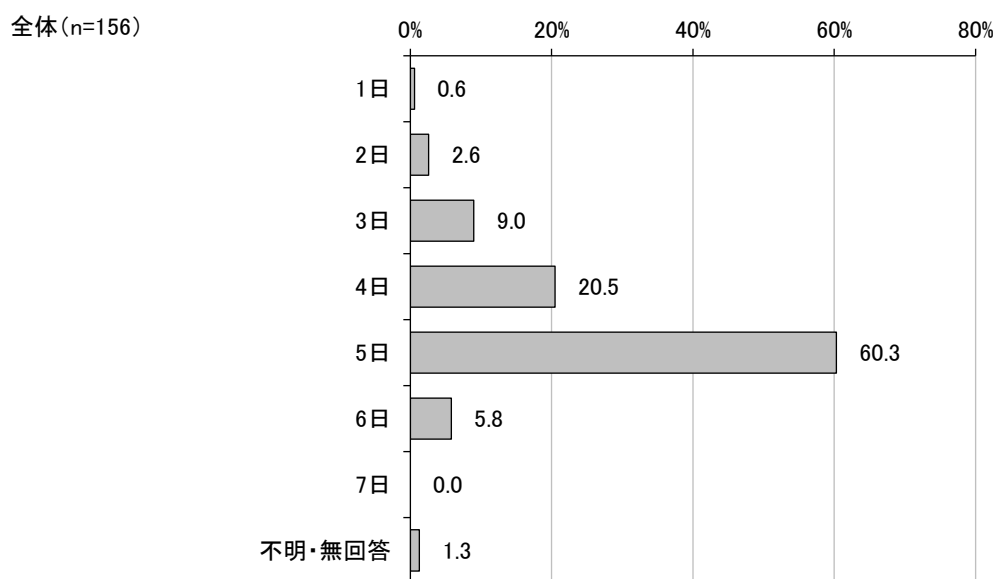
アフタースクールを利用しているかについてみると、「アフタースクールを利用している」が22.6%、「アフタースクールを利用していない」が77.1%となっています。



（１）で「アフタースクールを利用している」を選択した方のみ

（２）１週間の利用日数はどれくらいですか。〔小学生…問９－１〕（数量回答）

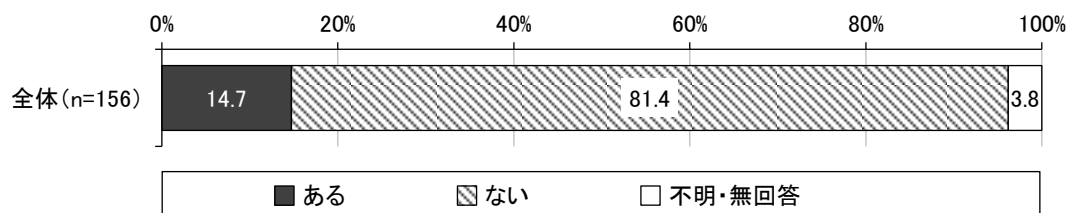
１週間の利用日数についてみると、「５日」が60.3%と最も高く、次いで「４日」が20.5%、「３日」9.0%となっています。



(1) で「アフタースクールを利用している」を選択した方のみ

(3) 土曜日の利用はありますか。〔小学生…問 9-1〕(単数回答)

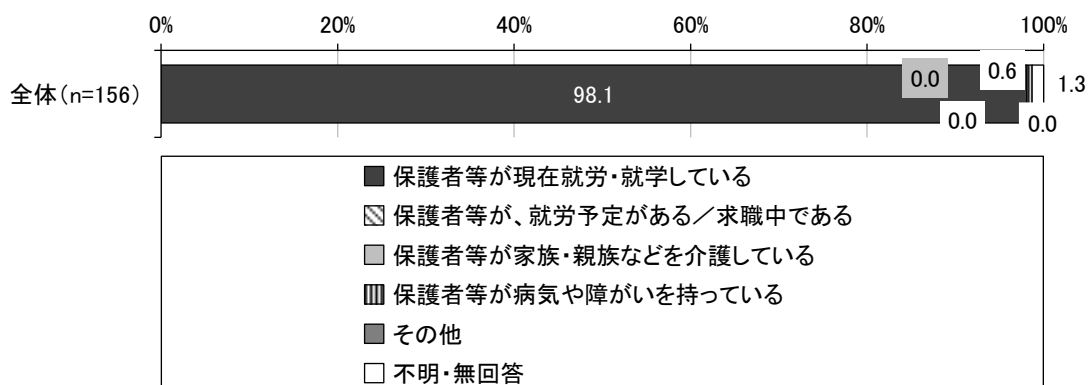
土曜日の利用はあるかについてみると、「ある」が 14.7%、「ない」が 81.4%となっています。



(1) で「アフタースクールを利用している」を選択した方のみ

(4) 利用している理由は何ですか。〔小学生…問 9-1〕(単数回答)

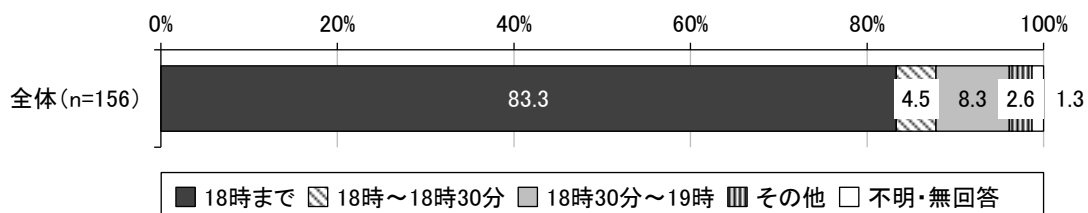
利用している理由についてみると、「保護者等が現在就労・就学している」が 98.1%と最も高く、次いで「保護者等が病気や障がいを持っている」が 0.6%となっています。



(1) で「アフタースクールを利用している」を選択した方のみ

(5) 現行の利用可能時間は 18 時（延長は 19 時）までとなっていますが、宛名のお子さまのお迎えの時間帯についてお答えください。〔小学生…問 9-2〕(単数回答)

迎えの時間帯についてみると、「18 時まで」が 83.3%と最も高く、次いで「18 時 30 分～19 時」が 8.3%、「18 時～18 時 30 分」が 4.5%となっています。

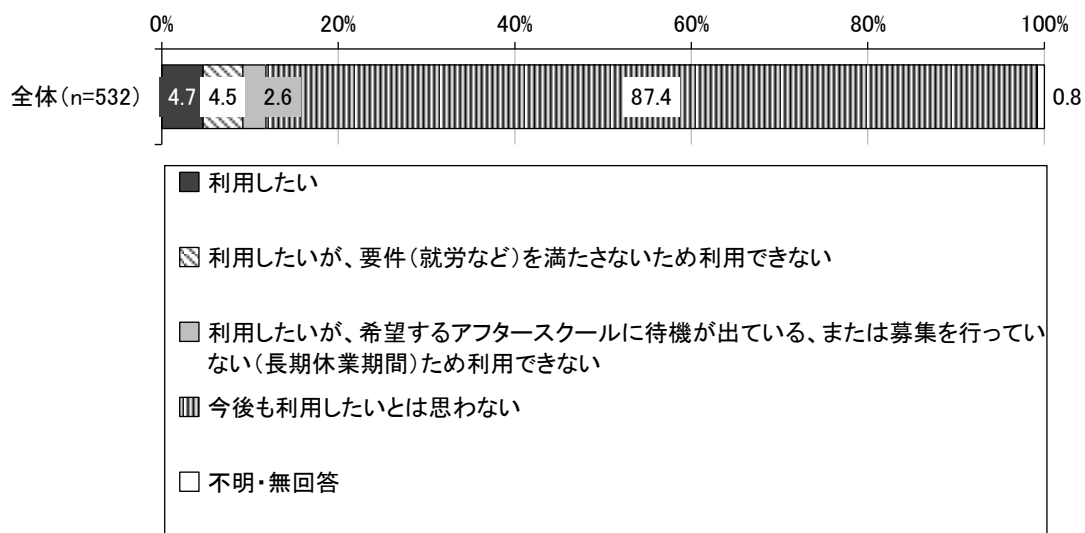


(1) で「アフタースクールを利用していない」を選択した方のみ

(6) 宛名のお子さまについて、今後、アフタースクールを利用したいとお考えですか。

〔小学生…問9-3〕（単数回答）

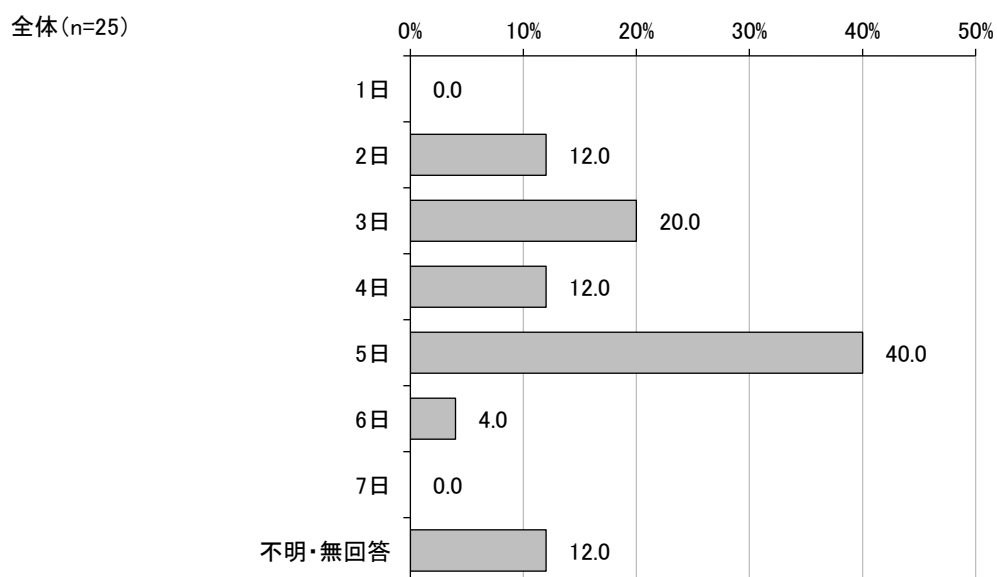
今後、アフタースクールを利用したいかについてみると、「今後も利用したいとは思わない」が87.4%と最も高く、次いで「利用したい」が4.7%、「利用したいが、要件（就労など）を満たさないため利用できない」が4.5%となっています。



(6) で「利用したい」を選択した方のみ

(7) 週に何日くらい利用したいですか。〔小学生…問9-3〕（数量回答）

週に何日くらい利用したいかについてみると、「5日」が40.0%と最も高く、「3日」が20.0%、「2日」「4日」が12.0%となっています。

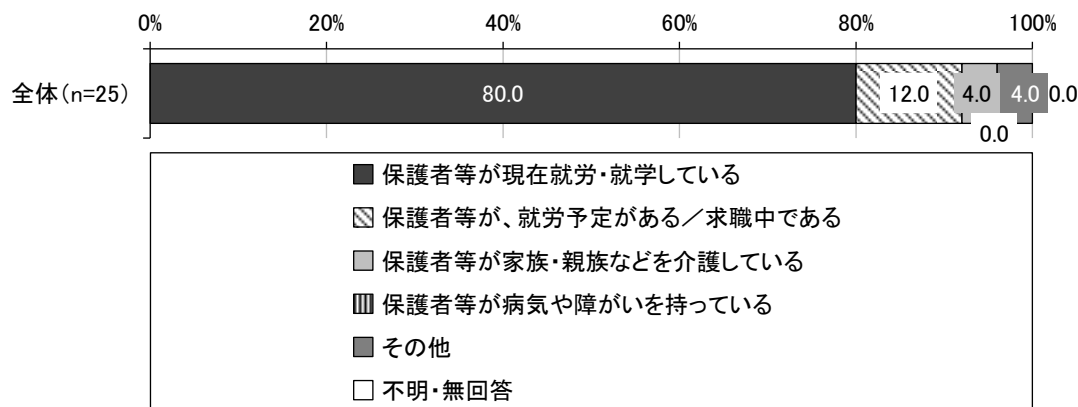


(6) で「利用したい」を選択した方のみ

(8) 今後、放課後に、アフタースクールを利用したい理由は何ですか。

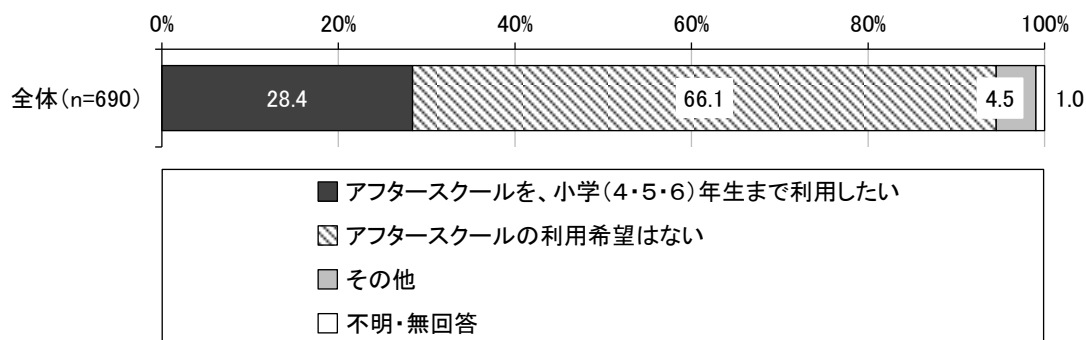
〔小学生…問 9-4〕（単数回答）

今後、アフタースクールを利用したい理由についてみると、「保護者等が現在就労・就学している」が 80.0%と最も高く、次いで「保護者等が、就労予定がある／求職中である」が 12.0%、「保護者等が家族・親族などを介護している」が 4.0%となっています。



(9) 宛名のお子さまの小学 4 年生以降（高学年）のアフタースクールの利用について、どのようにお考えですか。〔小学生…問 10〕（単数回答）

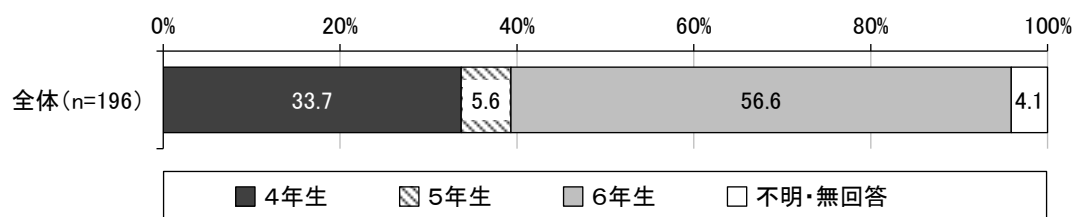
小学 4 年生以降のアフタースクールの利用についてどのように考えているかについてみると、「アフタースクールの利用希望はない」が 66.1%と最も高く、次いで「アフタースクールを、小学（4・5・6）年生まで利用したい」が 28.4%となっています。



(9) で「アフタースクールを、小学（４・５・６）年生まで利用したい」を選択した方のみ

(10) 何年生まで利用したいですか。〔小学生…問 10〕（単数回答）

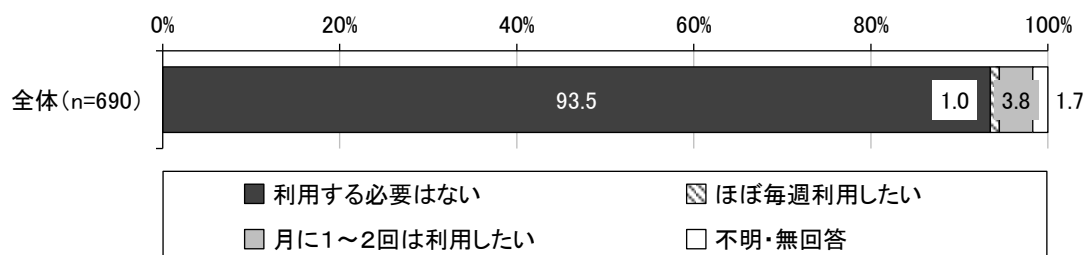
何年生まで利用したいかについてみると、「６年生」が 56.6%と最も高く、次いで「４年生」が 33.7%、「５年生」が 5.6%となっています。



(11) 宛名のお子さまについて、日曜日のアフタースクールの利用希望はありますか。

〔小学生…問 11（１）〕（単数回答）

日曜日の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 93.5%と最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 3.8%、「ほぼ毎週利用したい」が 1.0%となっています。

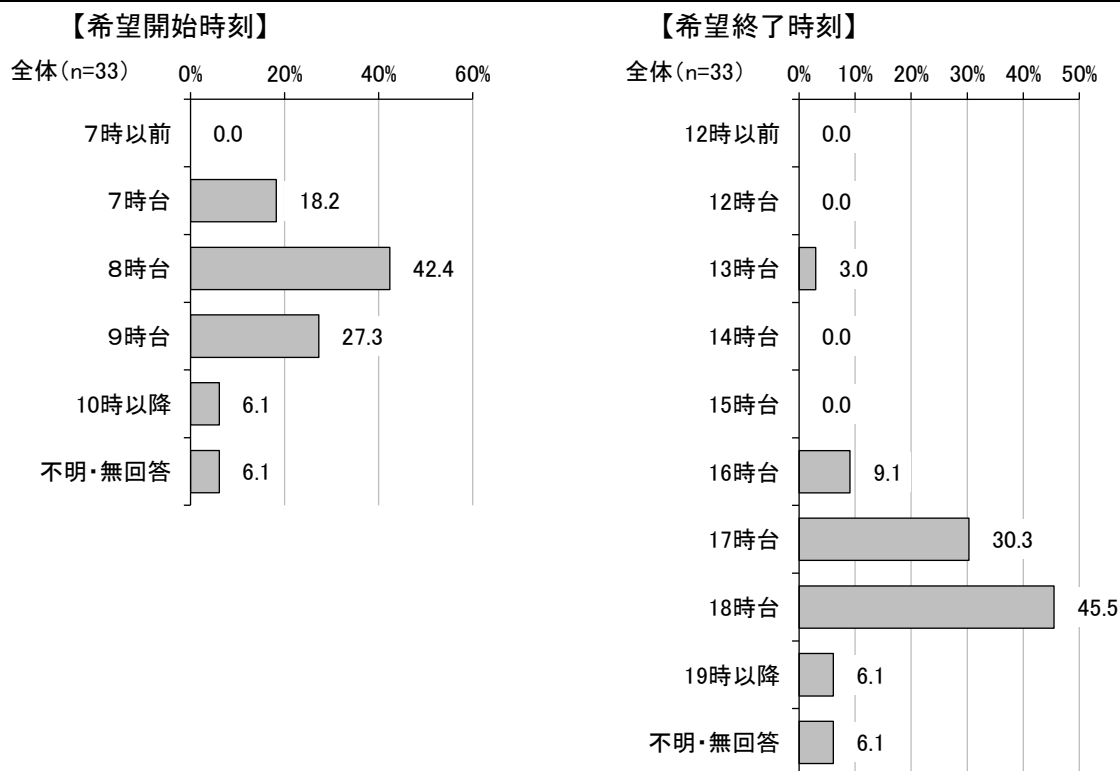


(11) で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選択した方のみ

(12) 日曜日の利用したい時間帯〔小学生…問11（1）〕（数量回答）

希望開始時刻についてみると、「8時台」が42.4%と最も高く、次いで「9時台」が27.3%、「7時台」が18.2%となっています。

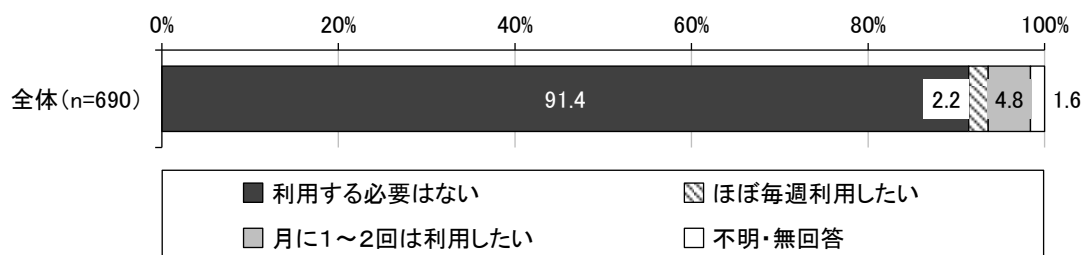
希望終了時刻についてみると、「18時台」が45.5%と最も高く、次いで「17時台」が30.3%、「16時台」が9.1%となっています。



(13) 宛名のお子さまについて、祝日のアフタースクールの利用希望はありますか。

〔小学生…問11（2）〕（単数回答）

祝日の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が91.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が4.8%、「ほぼ毎週利用したい」が2.2%となっています。

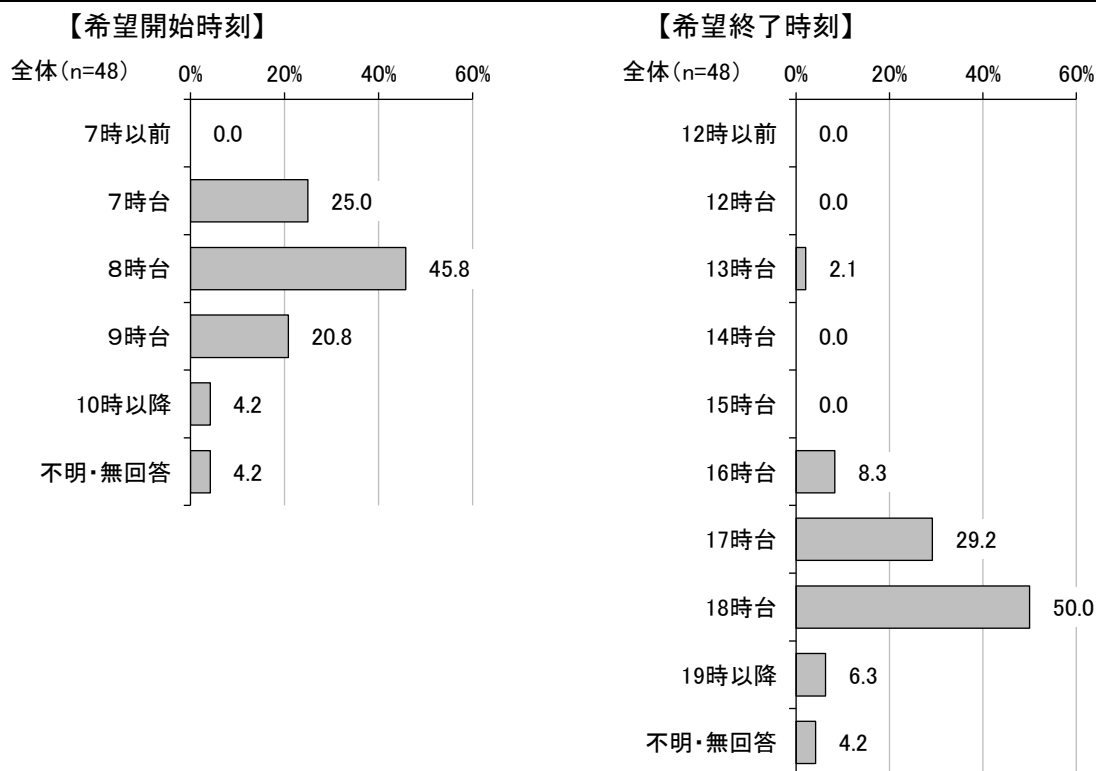


(13) で「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選択した方のみ

(14) 祝日の利用したい時間帯〔小学生…問11(2)〕(数量回答)

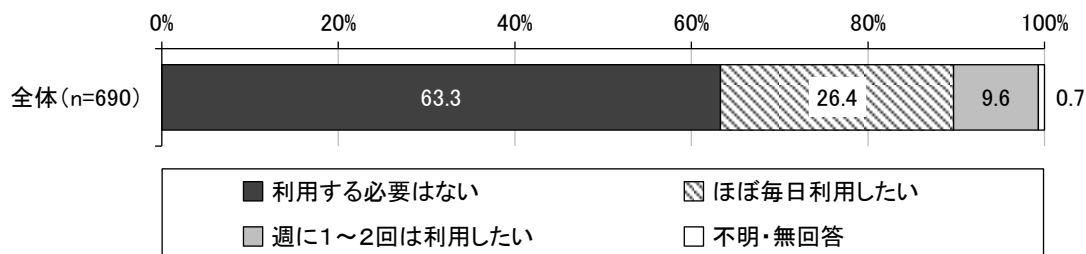
希望開始時刻についてみると、「8時台」が45.8%と最も高く、次いで「7時台」が25.0%、「9時台」が20.8%となっています。

希望終了時刻についてみると、「18時台」が50.0%と最も高く、次いで「17時台」が29.2%、「16時台」が8.3%となっています。



(15) 宛名のお子さまについて、お子さまの長期の休暇期間（夏・冬・春休み）のアフタースクール利用希望はありますか。〔小学生…問12〕(単数回答)

長期の休暇期間の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が63.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日利用したい」が26.4%、「週に1～2回は利用したい」が9.6%となっています。

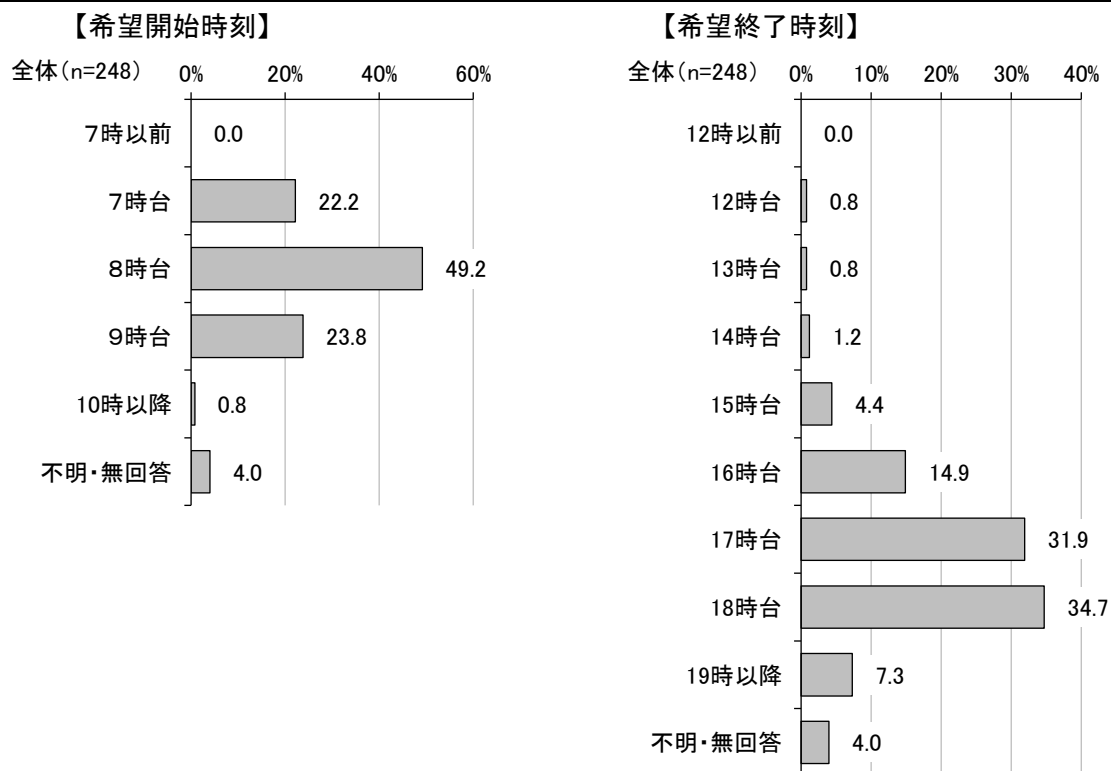


(17) で「ほぼ毎日利用したい」「週に1～2回は利用したい」を選択した方のみ

(16) 長期の休暇期間の利用したい時間帯〔小学生…問12〕（数量回答）

希望開始時刻についてみると、「8時台」が49.2%と最も高く、次いで「9時台」が23.8%、「7時台」が22.2%となっています。

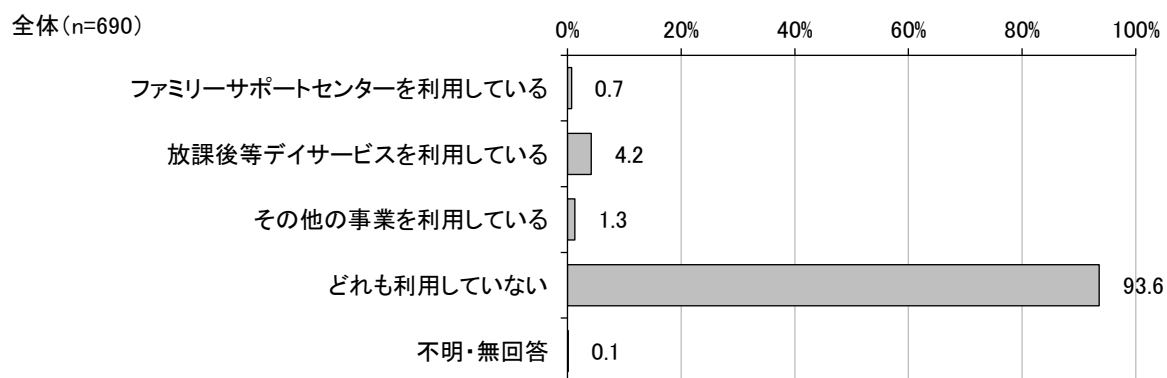
希望終了時刻についてみると、「18時台」が34.7%と最も高く、次いで「17時台」が31.9%、「16時台」が14.9%となっています。



(17) 宛名のお子さまのアフタースクール以外の放課後の過ごし方についてお答えください。

〔小学生…問 13〕（複数選択）

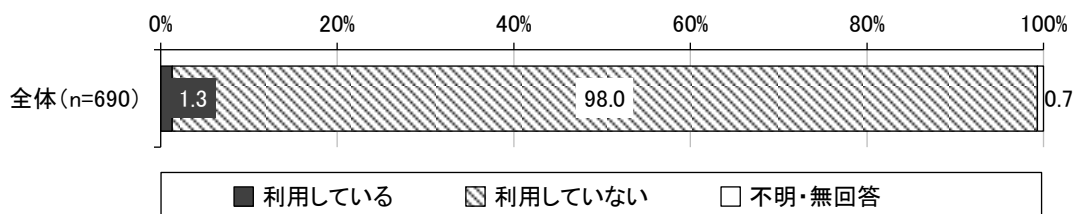
アフタースクール以外の放課後の過ごし方についてみると、「どれも利用していない」が 93.6%と最も高く、次いで「放課後デイサービスを利用している」が 4.2%、「その他の事業を利用している」が 1.3%となっています。



II ファミリーサポートセンターについて（小学生）

（１）ファミリーサポートセンターを利用していますか。〔小学生…問 19〕（単数回答）

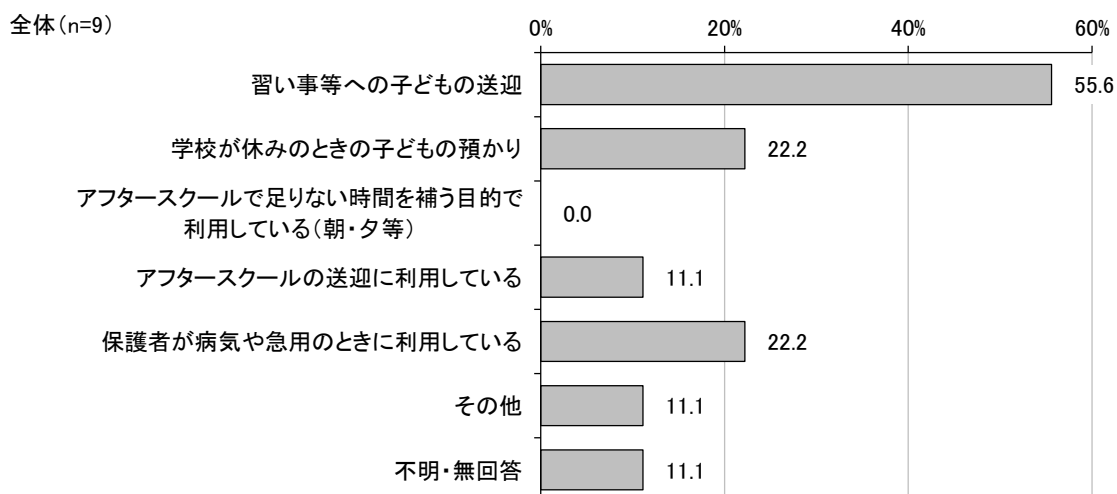
ファミリーサポートセンターを利用しているかについてみると、「利用している」が 1.3%、「利用していない」が 98.0%となっています。



（１）で「利用している」を選択した方のみ

（２）どのような目的で利用していますか。〔小学生…問 19－１〕（複数回答）

利用目的についてみると、「習い事等への子どもの送迎」が 55.6%（５件）、「学校が休みのときの子どもの預かり」「保護者が病気や急用のときに利用している」が 22.2%（２件）となっています。



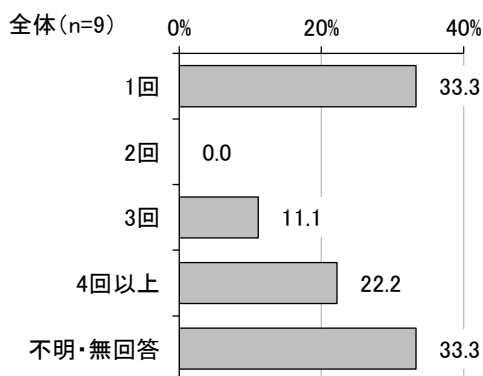
(1) で「利用している」を選択した方のみ

(3) どのくらい利用していますか。〔小学生…問 19－2〕（数量回答）

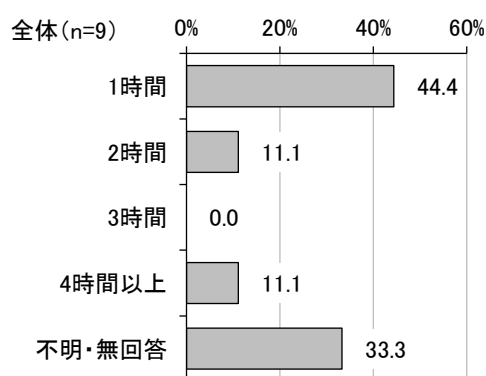
月当たりの利用回数についてみると、「1回」が 33.3%（3 件）と最も高く、「4 回以上」が 22.2%（2 件）、「3 回」が 11.1%（1 件）となっています。

1 回当たりの利用時間についてみると、「1 時間」が 44.4%（4 件）、「2 時間」「4 時間以上」が 11.1%（1 件）となっています。

【月当たりの利用回数】



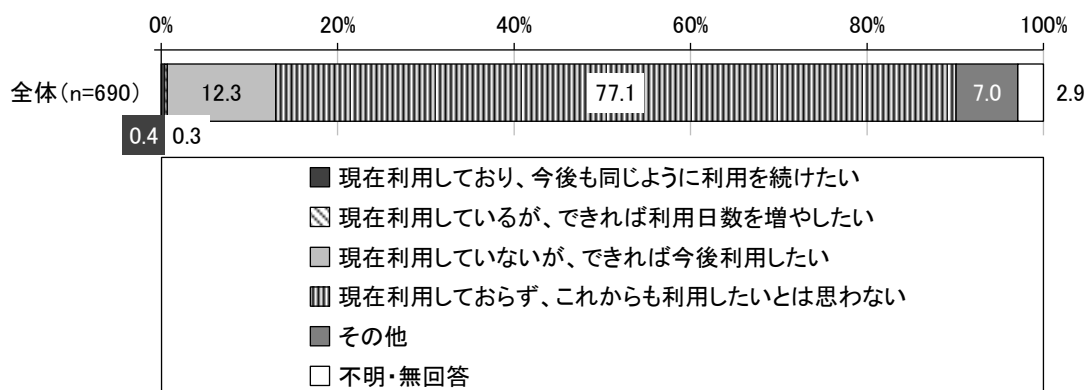
【1 回あたりの利用時間】



(4) ファミリーサポートセンターについて、今後、利用したいと思いますか。

〔小学生…問 20〕（単数回答）

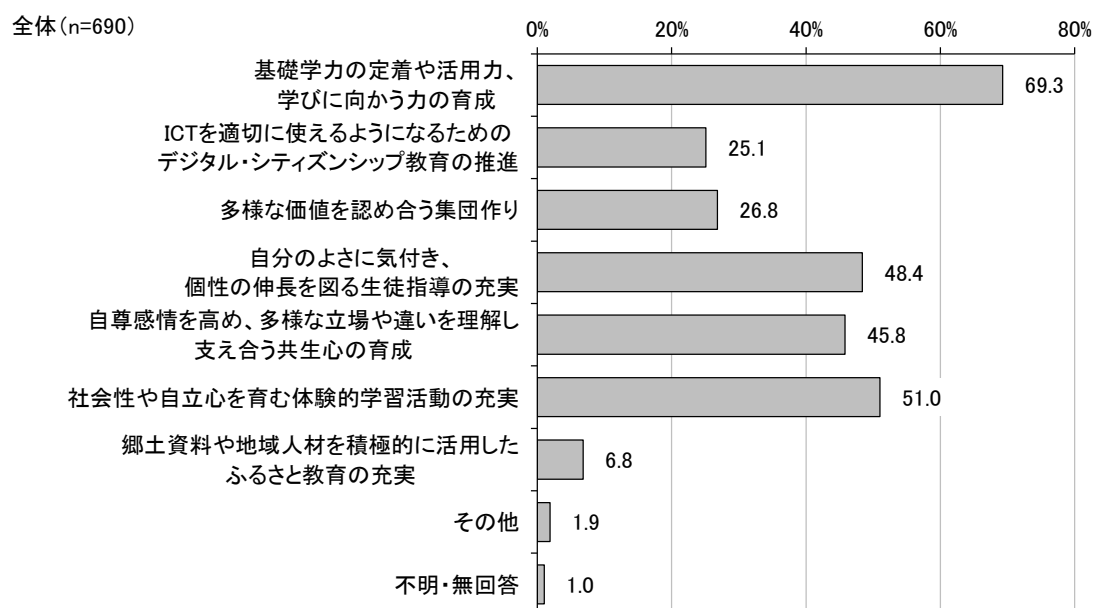
ファミリーサポートセンターを今後利用したいと思うかについてみると、「現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない」が 77.1%と最も高く、次いで「現在利用していないが、できれば今後利用したい」が 12.3%、「現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい」が 0.4%となっています。



12 学校教育について（小学生）

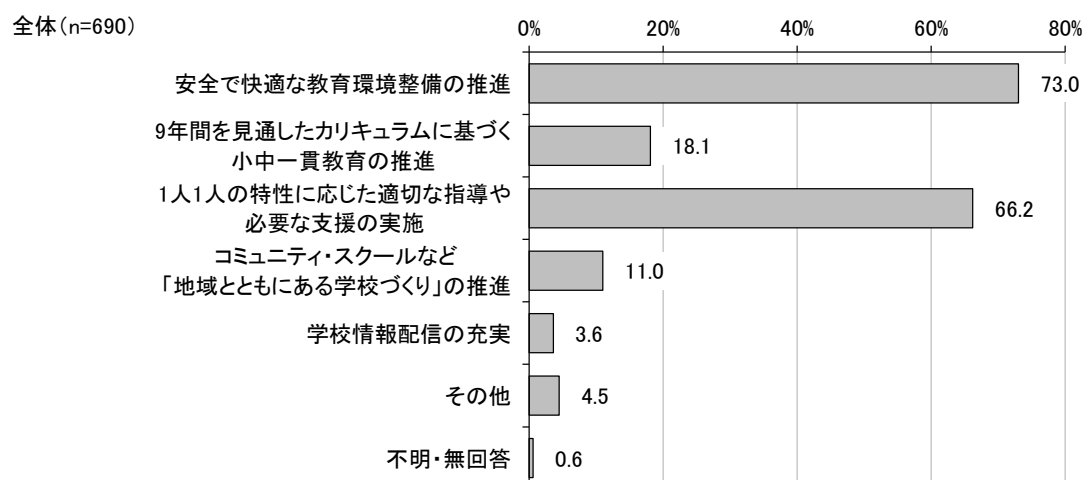
（１）三木市では、自ら考え、他社と対話し協働しながら、自己実現をめざすことができるよう、「主体性・協働性・創造性」の育成をめざして取り組んでいます。そこで、学校教育についておたずねします。教育内容について何を望まれますか。〔小学生…問 21〕（複数回答）

教育内容について何を望むかについてみると、「基礎学力の定着や活用力、学びに向かう力の育成」が 69.3%と最も高く、次いで「社会性や自立心を育む体験的学習活動の充実」が 51.0%、「自分のよさに気づき、個性の伸長を図る生徒指導の充実」が 48.4%となっています。



（２）学校の運営に関して何を望まれますか。〔小学生…問 22〕（複数回答）

学校の運営に関して何を望むかについてみると、「安全で快適な教育環境整備の推進」が 73.0%と最も高く、次いで「1人1人の特性に応じた適切な指導や必要な支援の実施」が 66.2%、「9年間を見通したカリキュラムに基づく小中一貫教育の実施」が 18.1%となっています。



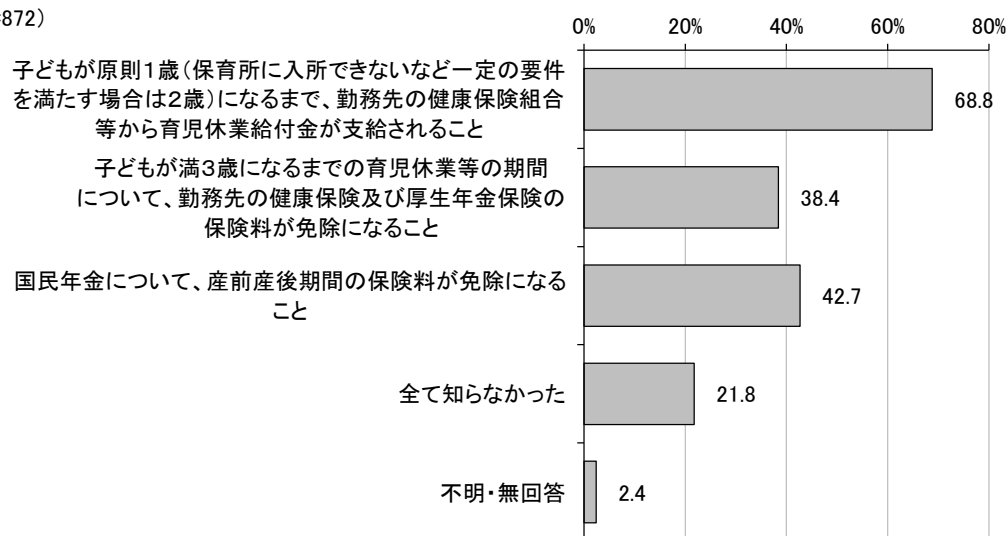
13 仕事と子育ての両立支援制度について（就学前）

（１）育児休業制度について、次のことをご存じでしたか。＊自営業や無職の方もお答えください。

〔就学前…問 22〕（複数回答）

育児休業制度について知っていたことについてみると、「子どもが原則１歳（保育所に入所できないなど一定の要件を満たす場合は２歳）になるまで、勤務先の健康保険組合等から育児休業給付金が支給されること」が 68.8%、「国民年金について、産前産後期間の保険料が免除になること」が 42.7%、「子どもが満３歳になるまでの育児休業等の期間について、勤務先の健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になること」が 38.4%となっています。

全体(n=872)

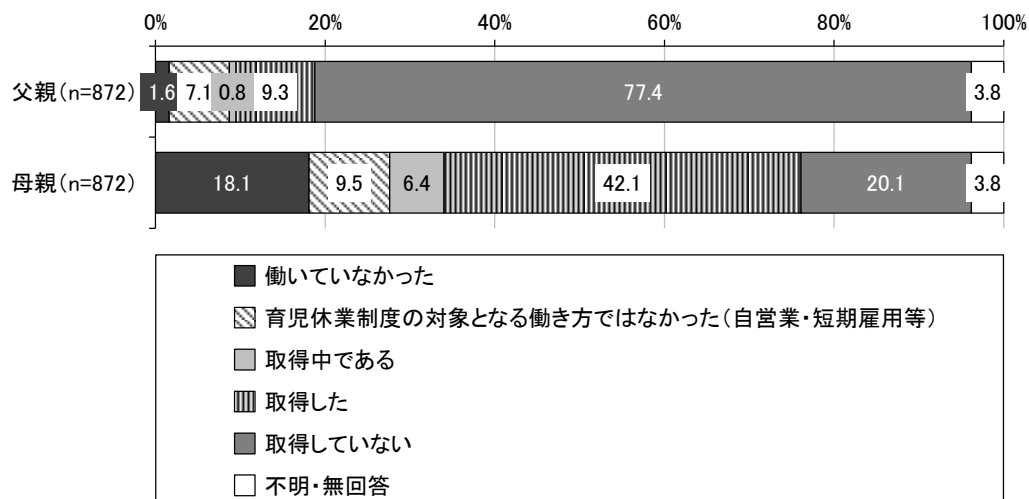


(2) 宛名のお子さまが生まれた時、父母いずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

〔就学前…問 23〕（単数回答）

育児休業を取得したかについてみると、父親では、「取得していない」が 77.4%と最も高く、次いで「取得した」が 9.3%、「育児休業制度の対象となる働き方ではなかった（自営業・短期雇用等）」が 7.1%となっています。

母親では、「取得した」が 42.1%と最も高く、次いで「取得していない」が 20.1%、「妊娠前から働いていなかった」が 18.1%となっています。



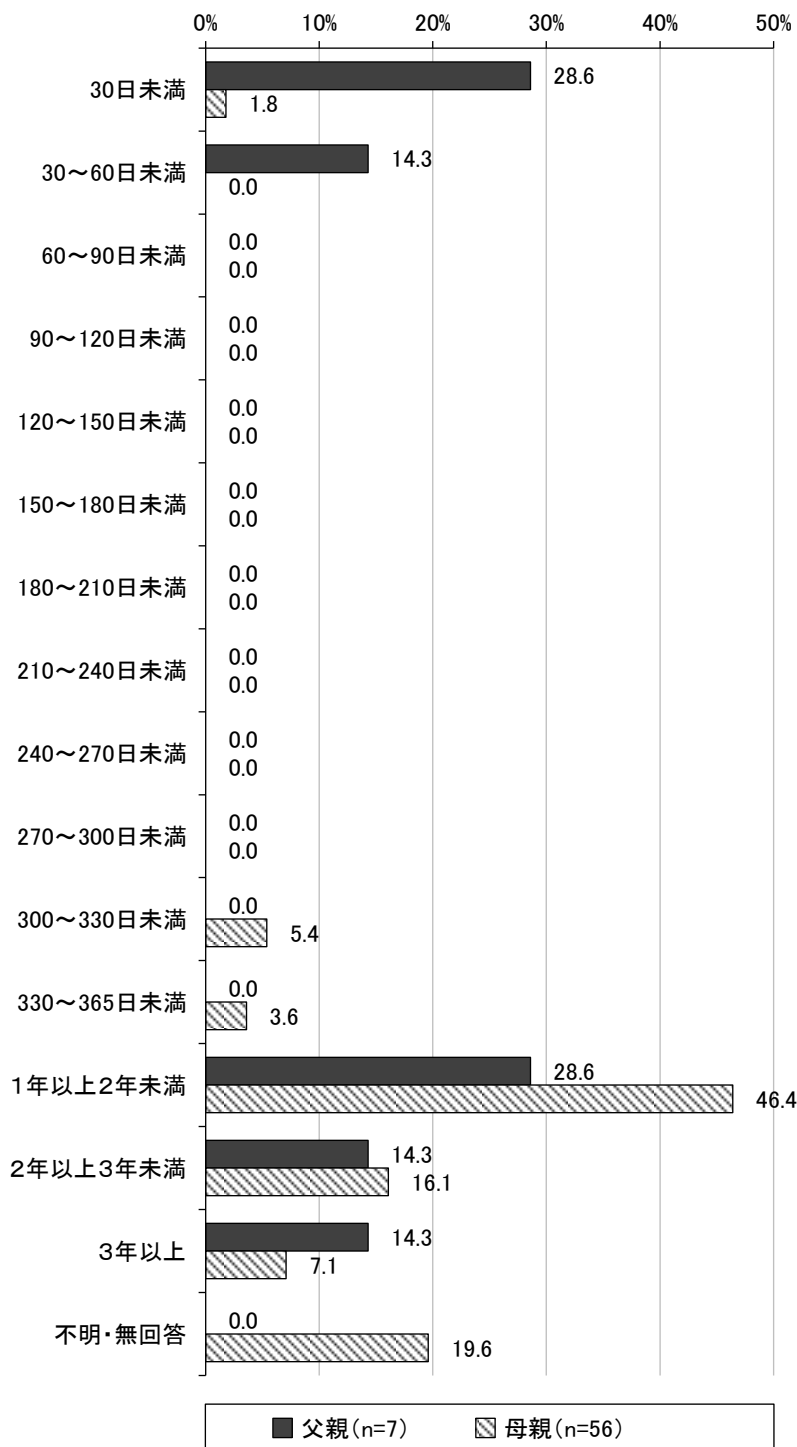
※母親では「妊娠前から働いていなかった」

(2) で「取得中である」を選択した方のみ

(3) 育児休業を取得した期間〔就学前…問 23〕（数量回答）

育児休業を取得している期間についてみると、父親では、「30 日未満」「1 年以上 2 年未満」が 28.6%（2 件）、「30～60 日未満」「2 年以上 3 年未満」「3 年以上」が 14.3%（1 件）となっています。

母親では、「1 年以上 2 年未満」が 46.4%と最も高く、次いで「2 年以上 3 年未満」が 16.1%、「3 年以上」が 7.1%となっています。

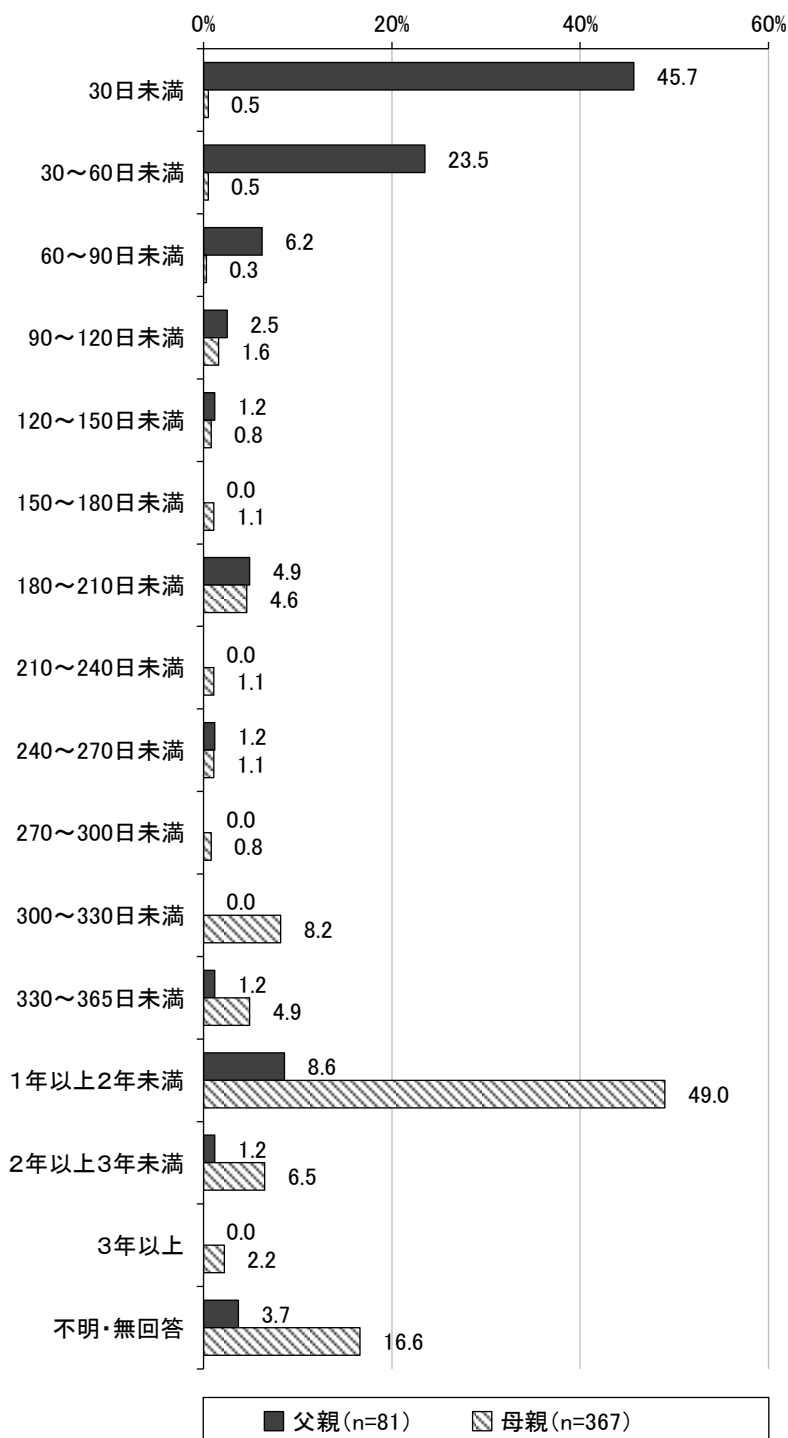


(2)で「取得した」を選択した方のみ

(4) 育児休業を取得した期間〔就学前…問 23〕（数量回答）

育児休業を取得した期間についてみると、父親では、「30 日未満」が 45.7%と最も高く、次いで「30～60 日未満」が 23.5%、「1 年以上 2 年未満」が 8.6%となっています。

母親では、「1 年以上 2 年未満」が 49.0%と最も高く、次いで「300～330 日未満」が 8.2%、「2 年以上 3 年未満」が 6.5%となっています。

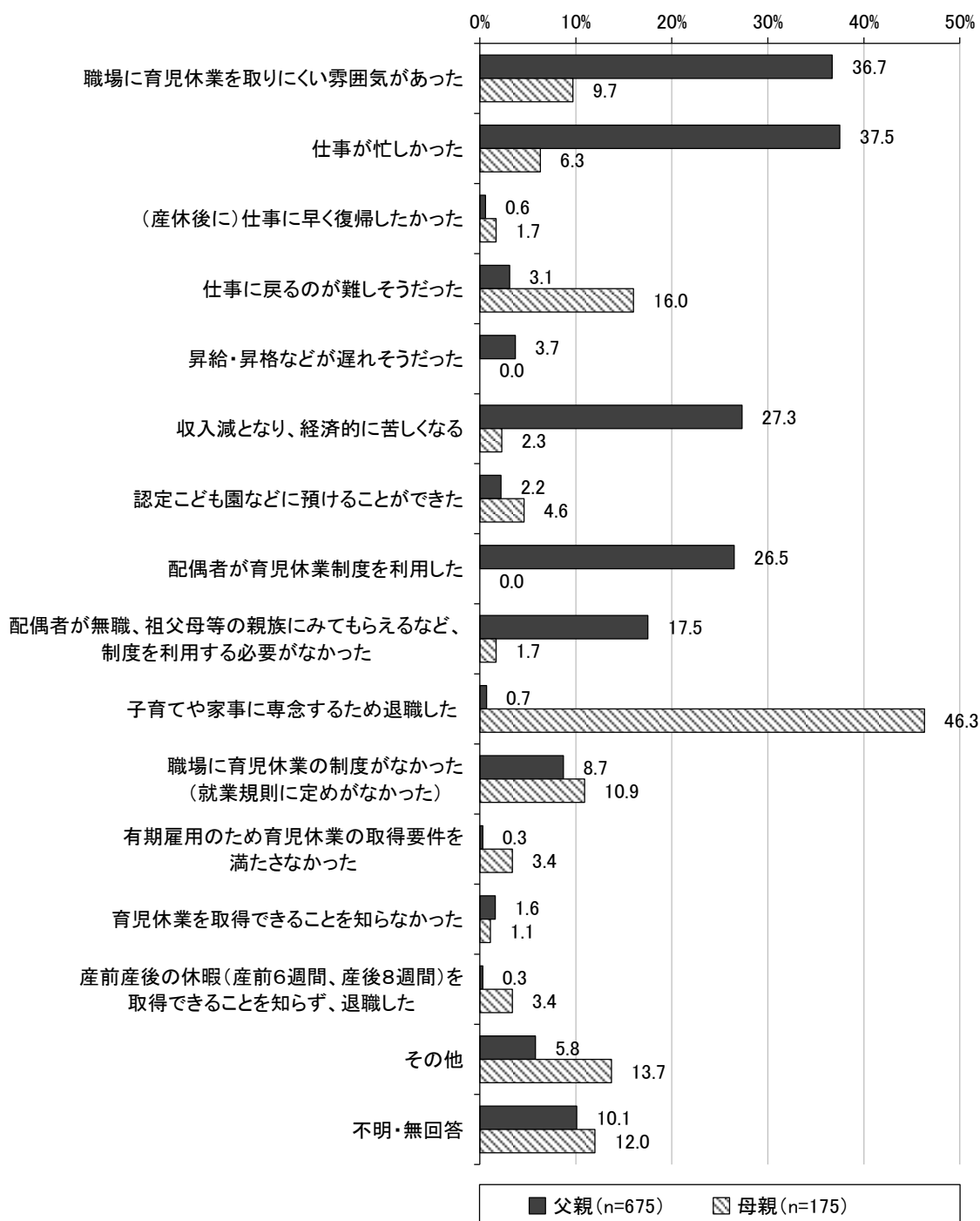


(2)で「取得していない」を選択した方のみ

(5) 育児休業を取得していない理由は何ですか。〔就学前…問 23〕（複数回答）

育児休業を取得していない理由についてみると、父親では、「仕事が忙しかった」が 37.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 36.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 27.3%となっています。

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 46.3%と最も高く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が 16.0%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 10.9%となっています。

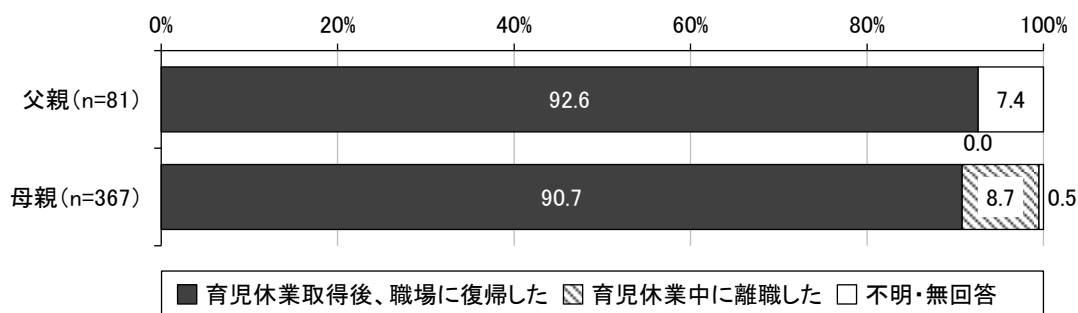


(2)で「取得した」を選択した方のみ

(6) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。〔就学前…問 23-1〕（単数回答）

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が92.6%となっています。

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が90.7%、「育児休業中に離職した」が8.7%となっています。

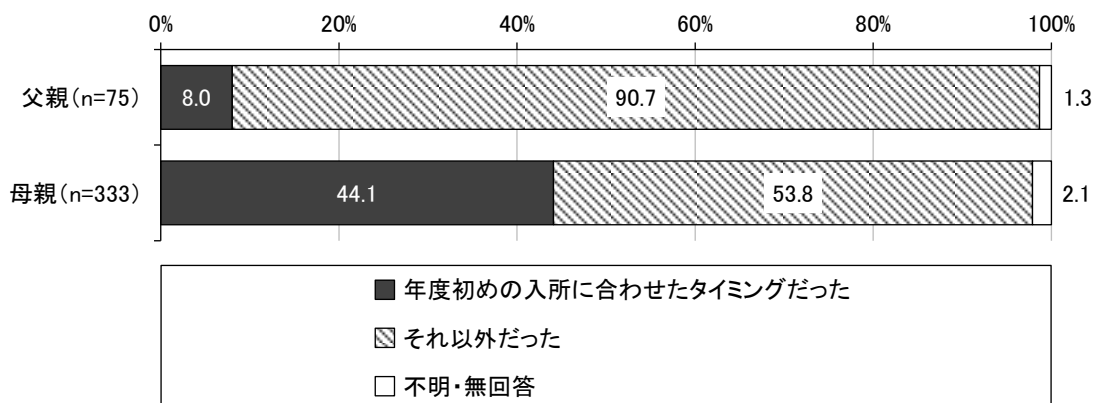


(6)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方のみ

(7) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。〔就学前…問 23-2〕（単数回答）

育児休業から職場に復帰したタイミングについてみると、父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が8.0%、「それ以外だった」が90.7%となっています。

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が44.1%、「それ以外だった」が53.8%となっています。



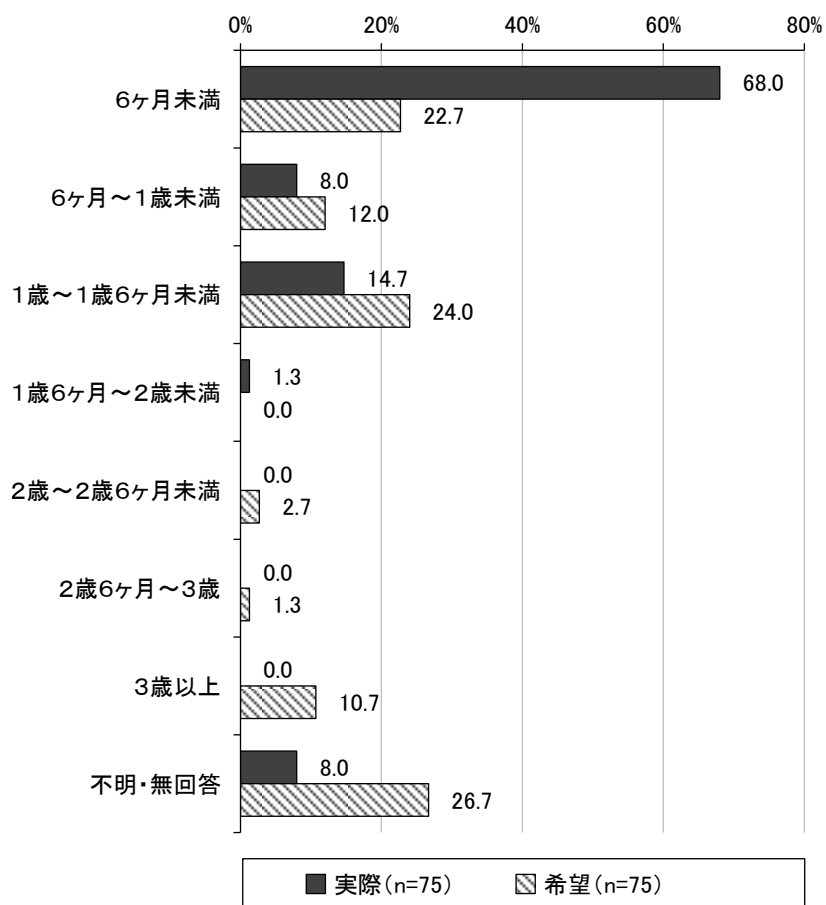
(6)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方のみ

(8) 育児休業からは、「実際」にお子さまが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。またお勤め先に3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

父親〔就学前…問 23-3 (1)〕 (数量回答)

実際の職場復帰の時期についてみると、「6ヶ月未満」が68.0%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」が14.7%、「6ヶ月から1歳未満」が8.0%となっています。

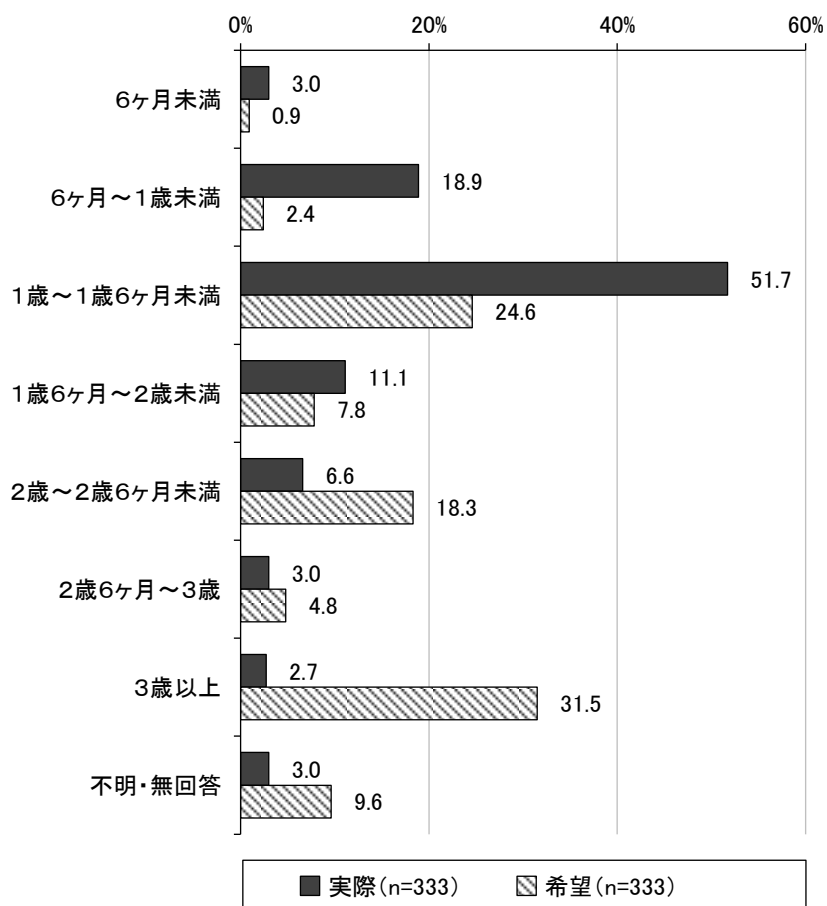
希望の職場復帰の時期についてみると、「1歳～1歳6ヶ月未満」が24.0%と最も高く、次いで「6ヶ月未満」が22.7%、「6ヶ月から1歳未満」が12.0%となっています。



母親〔就学前…問 23-3（2）〕（数量回答）

実際の職場復帰の時期についてみると、「1歳～1歳6ヶ月未満」が51.7%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」が18.9%、「1歳6ヶ月～2歳未満」が11.1%となっています。

希望の職場復帰の時期についてみると、「3歳以上」が31.5%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」が24.6%、「2歳～2歳6ヶ月未満」が18.3%となっています。



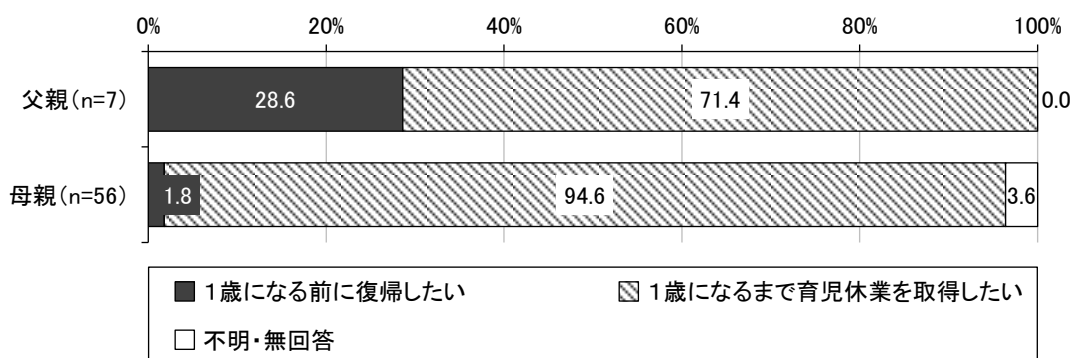
(2)で「取得中である」を選択した方のみ

(9) 宛名のお子さまを必ず預けられる先があった場合、1歳になる前に復帰しますか(しましたか)。それとも、預けられる先があっても、1歳になるまでは育児休業を取得しますか。

〔就学前…問 23-4〕(単数回答)

子どもを必ず預けられる先があった場合、1歳になる前に復帰するかについてみると、父親では、「1歳になる前に復帰したい」が28.6%(2件)、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が71.4%(5件)となっています。

母親では、「1歳になる前に復帰したい」が1.8%、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が94.6%となっています。



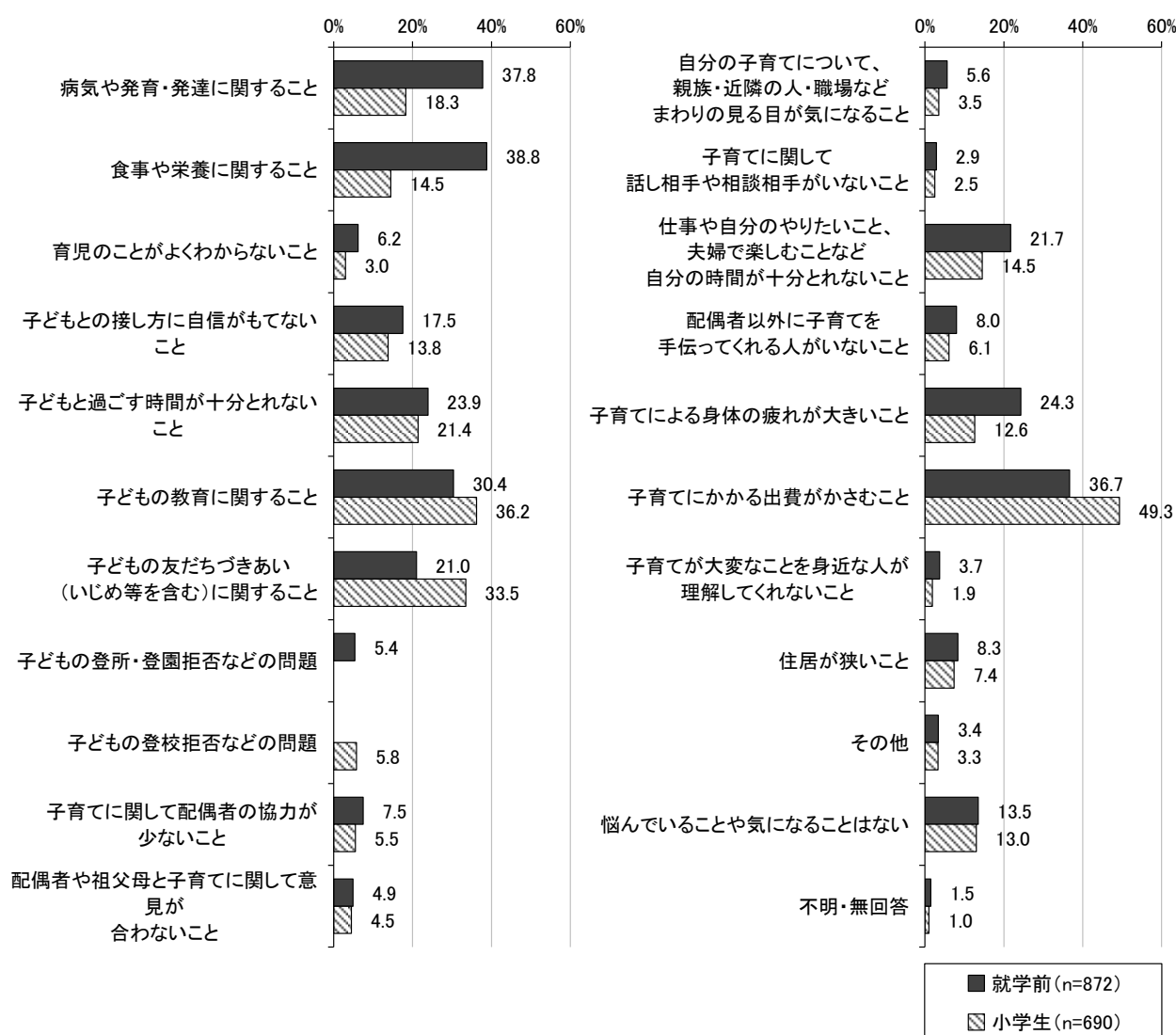
14 子育てについて悩んでいることについて

(1) 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。

〔就学前…問 24・小学生…問 23〕(複数回答)

子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることについてみると、就学前では、「食事や栄養に関すること」が 38.8%と最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が 37.8%、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 36.7%となっています。

小学生では、「子育てにかかる出費がかさむこと」が 49.3%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が 36.2%、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」が 33.5%となっています。



※就学前のみ：「子どもの登所・登園拒否などの問題」

小学生のみ：「子どもの登校拒否などの問題」

(2) 子育てをしていて、お子さまにつらくあたってしまうようなことがありますか。

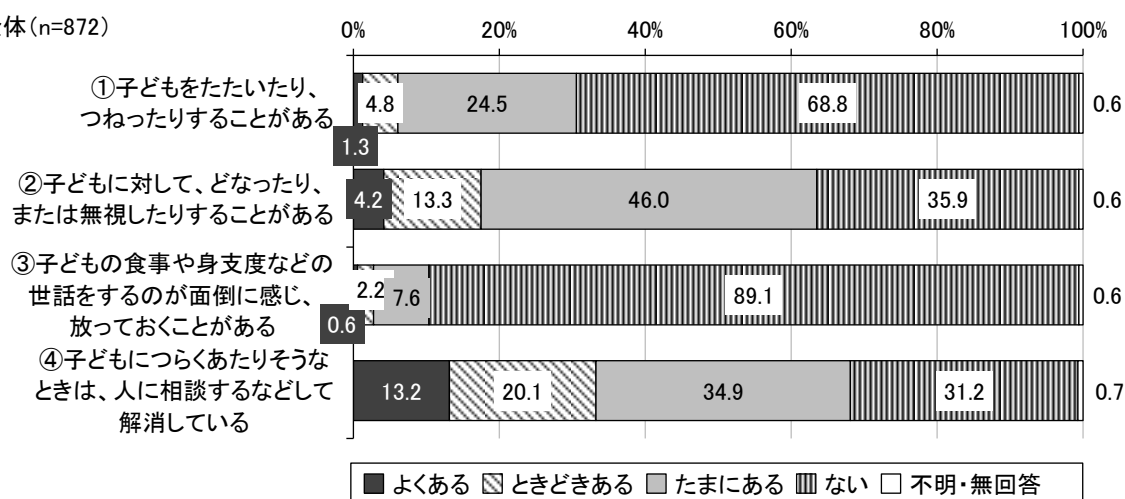
〔就学前…問 25・小学生…問 24〕（単数回答）

子どもにつらくあたってしまうようなことがあるかについてみると、就学前では『ある』（「よくある」＋「ときどきある」＋「たまにある」）が【④子どもにつらくあたりそうなときは、人に相談するなどして解消している】で 68.2%と最も高く、次いで【②子どもに対して、どなったり、または無視したりすることがある】で 63.5%、【①子どもをたたいたり、つねったりすることがある】で 30.6%となっています。

小学生では、『ある』が【②子どもに対して、どなったり、または無視したりすることがある】で 70.7%と最も高く、次いで【④子どもにつらくあたりそうなときは、人に相談するなどして解消している】で 60.7%、【①子どもをたたいたり、つねったりすることがある】で 30.6%となっています。

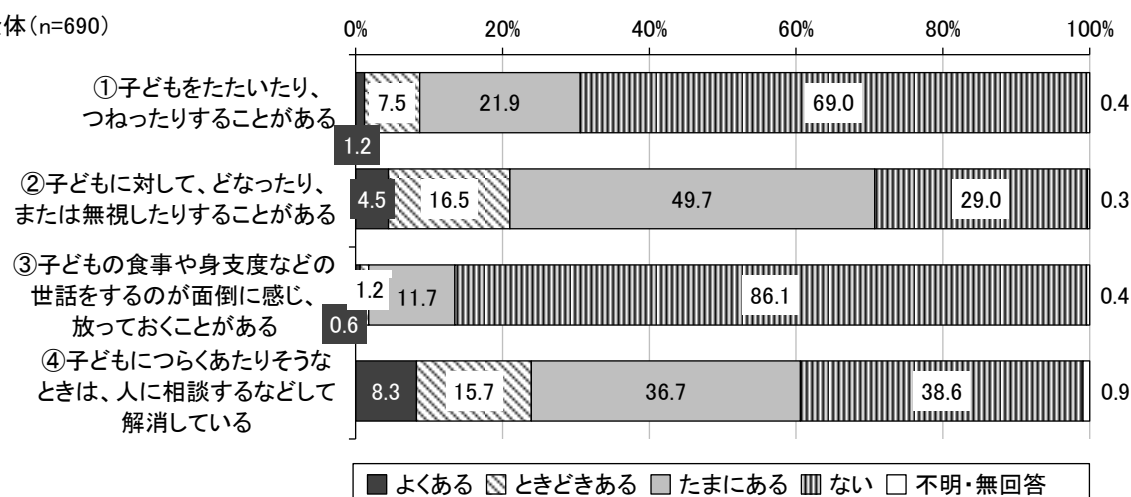
（就学前）

全体（n=872）



（小学生）

全体（n=690）

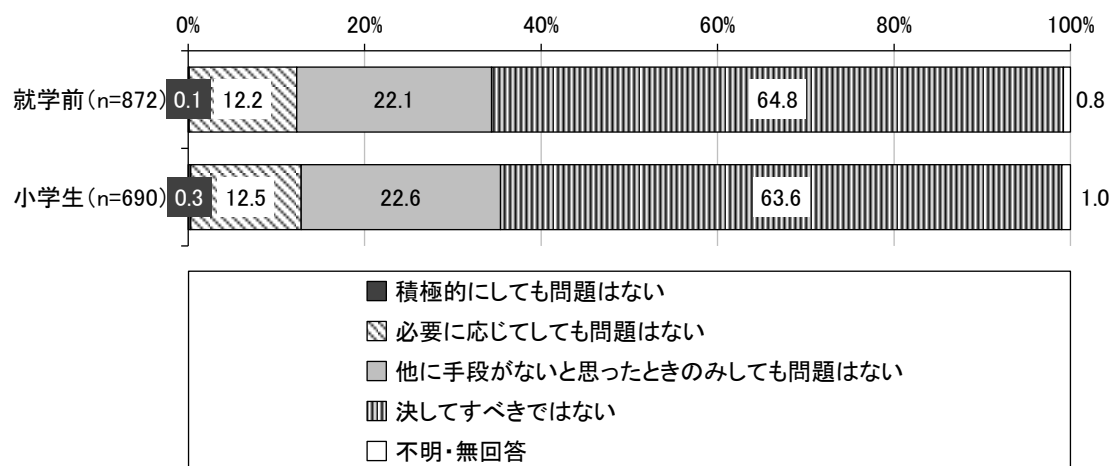


(3)「しつけ」のためであれば、(2)のようなことをしても問題はないと思いますか。

〔就学前…問 26・小学生…問 25〕(単数回答)

「しつけ」のためであれば、(2)のようなことをしても問題はないと思うかについてみると、就学前では、「決してすべきではない」が 64.8%と最も高く、次いで「他に手段がないと思ったときのみしても問題はない」が 22.1%、「必要に応じてしても問題はない」が 12.2%となっています。

小学生では、「決してすべきではない」が 63.6%と最も高く、次いで「他に手段がないと思ったときのみしても問題はない」が 22.6%、「必要に応じてしても問題はない」が 12.5%となっています。



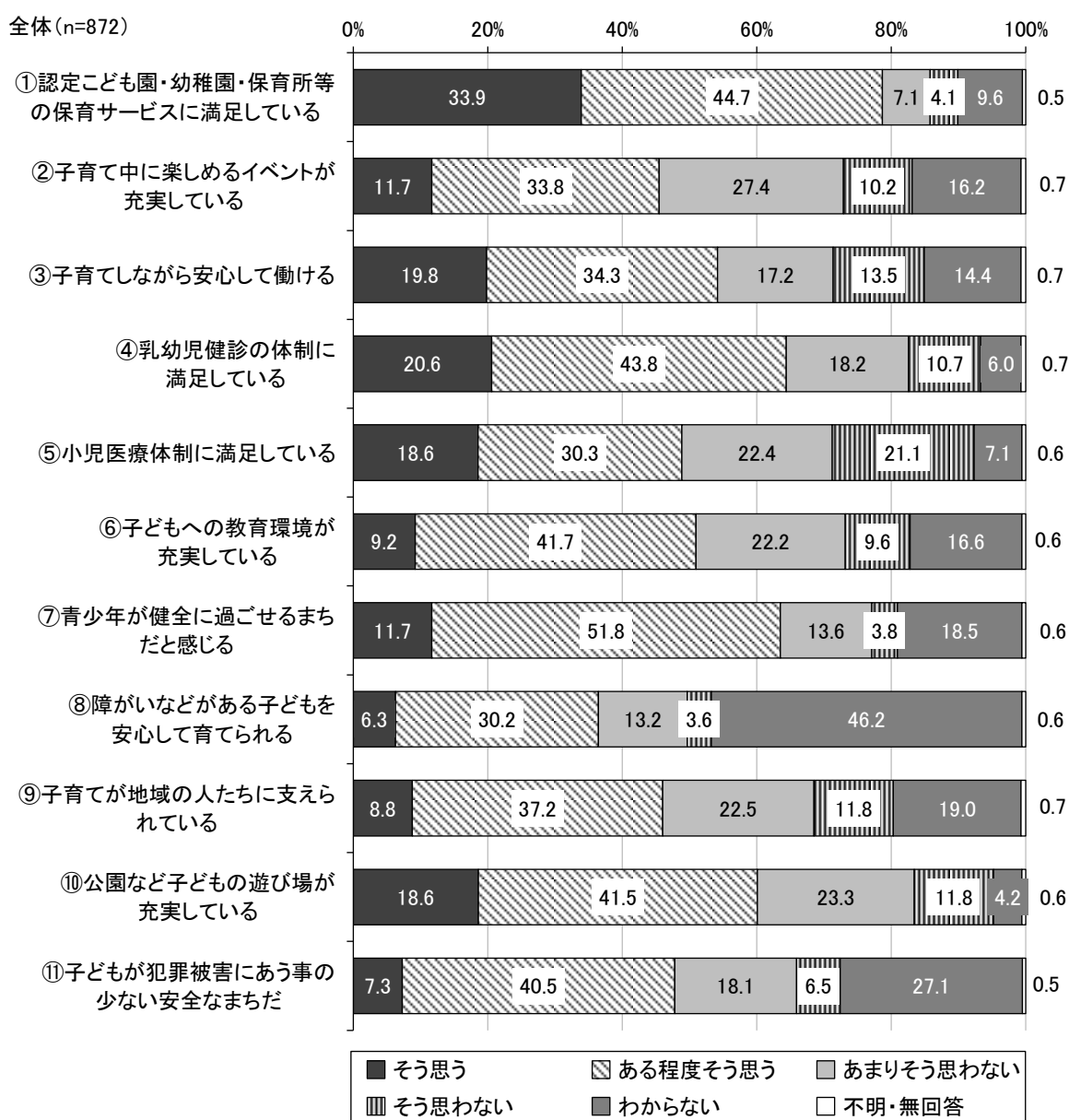
15 三木市の子育て環境全般について

(1) あなたは、三木市の子育て環境等に関する以下の項目を、どのように感じますか。

就学前〔就学前…問 27〕(単数回答)

三木市の子育て環境等をどのように感じるかについてみると、『思う』(「思う」+「ある程度思う」)が【①認定こども園・幼稚園・保育所等の保育サービスに満足している】で78.6%と最も高く、次いで【④乳幼児健診の体制に満足している】で64.4%、【⑦青少年が健全に過ごせるまちだと感じる】が63.5%となっています。

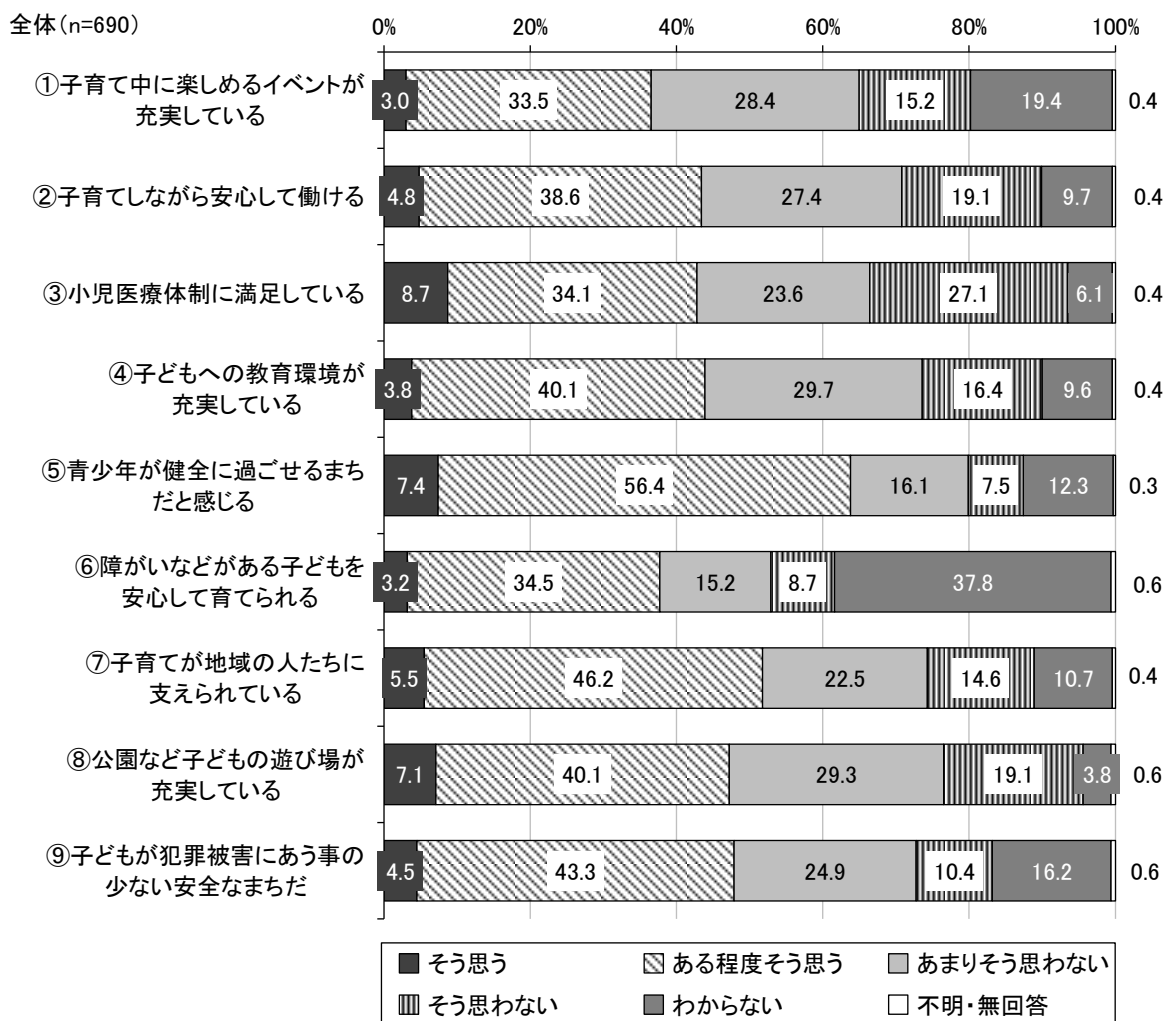
一方、『思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)が【⑤小児医療体制に満足している】で43.5%と最も高く、次いで【②子育て中に楽しめるイベントが充実している】で37.6%、【⑩公園など子どもの遊び場が充実している】が35.1%となっています。



小学生〔小学生…問 26〕（単数回答）

三木市の子育て環境等をどのように感じるかについてみると、『思う』（「思う」＋「ある程度思う」）が【⑤青少年が健全に過ごせるまちだと感じる】で 63.8%と最も高く、次いで【⑦子育てが地域の人たちに支えられている】で 51.7%、【⑨子どもが犯罪被害にあう事の少ない安全なまちだ】で 47.8%となっています。

一方、『思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）が【③小児医療体制に満足している】で 50.7%と最も高く、次いで【⑧公園など子どもの遊び場が充実している】で 48.4%、【②子育てしながら安心して働ける】で 46.5%となっています。

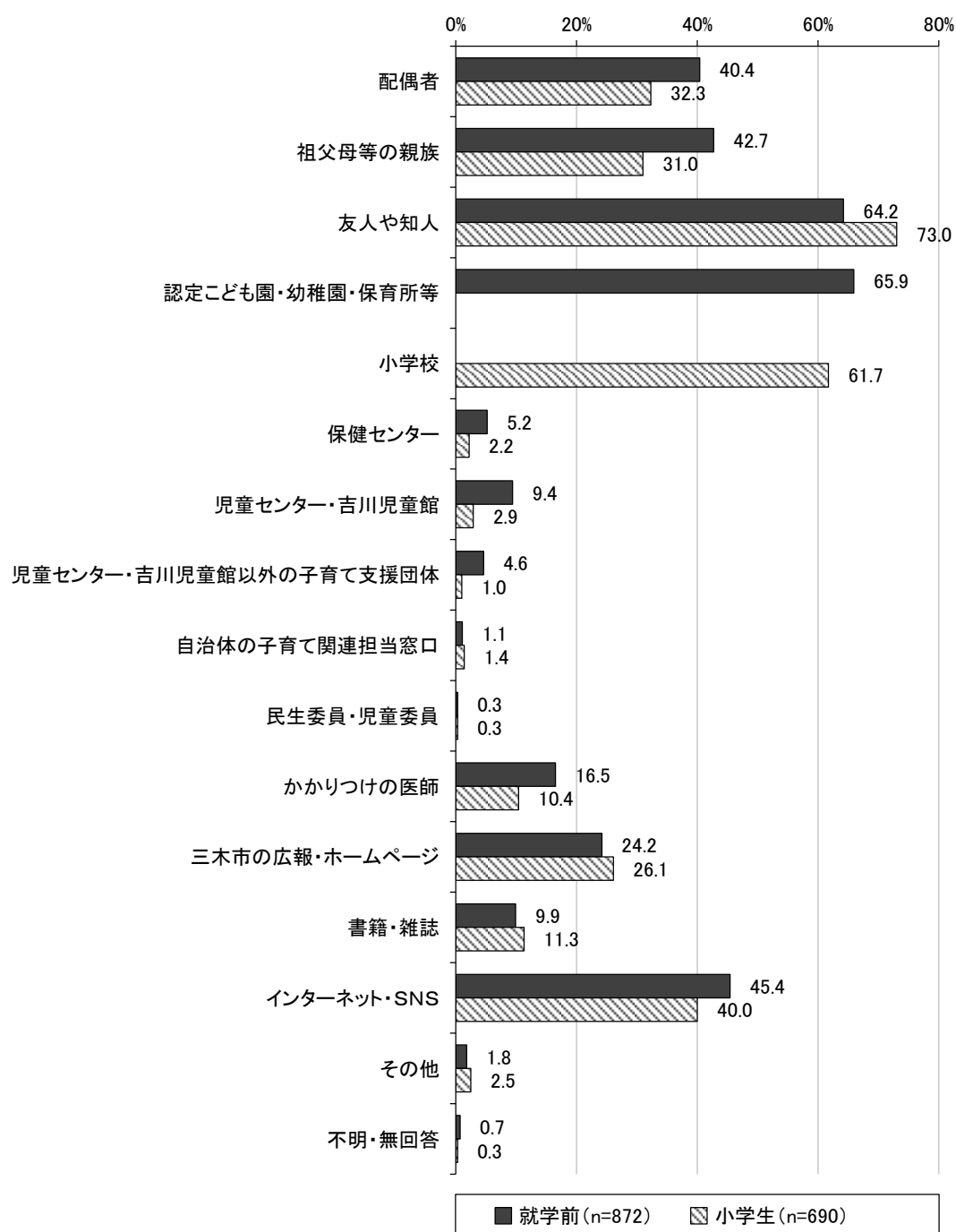


(2) 宛名のお子さまの子育てをする上で、主に誰（どこ）から情報を収集していますか。

〔就学前…問 28・小学生…問 27〕（複数回答）

子育てをする上で、主に誰（どこ）から情報を収集しているかについてみると、就学前では、「認定子ども園・幼稚園・保育所等」が 65.9%と最も高く、次いで「友人や知人」が 64.2%、「インターネット・SNS」が 45.4%となっています。

小学生では、「友人や知人」が 73.0%と最も高く、次いで「小学校」が 61.7%、「インターネット・SNS」が 40.0%となっています。



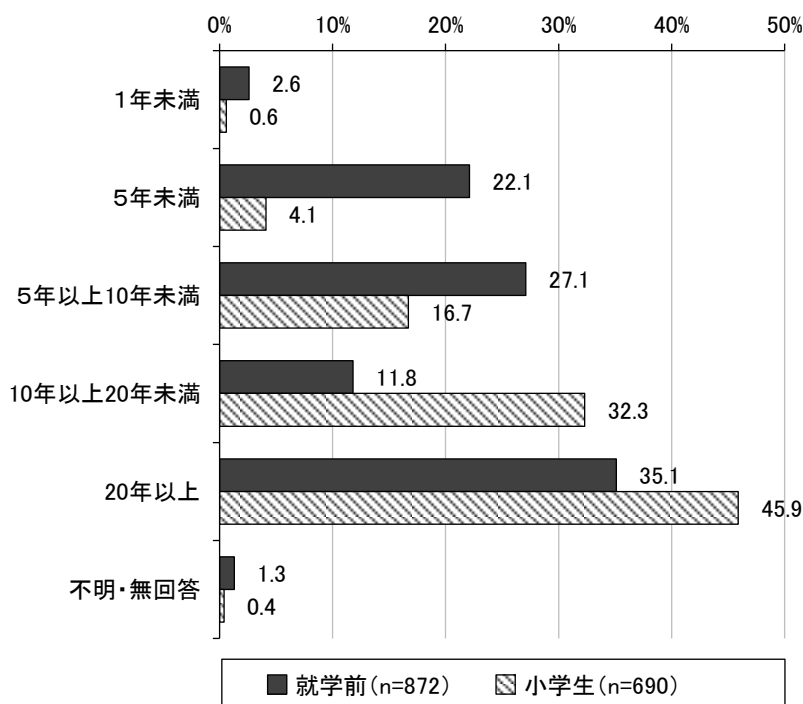
※就学前のみ：「認定子ども園・幼稚園・保育所等」

小学生のみ：「小学校」

(3) 三木市に住んでどのくらいになりますか。〔就学前…問 29・小学生…問 28〕(数量回答)

三木市に住んでどのくらいになるかについてみると、就学前では、「20 年以上」が 35.1%と最も高く、次いで「5 年以上 10 年未満」が 27.1%、「5 年未満」が 22.1%となっています。

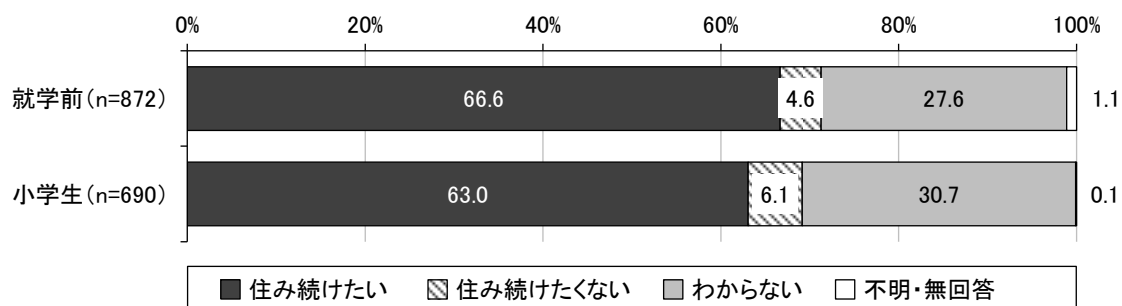
小学生では、「20 年以上」が 45.9%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 32.3%、「5 年以上 10 年未満」が 16.7%となっています。



(4) あなたは、今後も三木市に住み続けて子育てをしたいと思いますか。

〔就学前…問 30・小学生…問 29〕(単数回答)

今後も三木市に住み続けて子育てをしたいと思うかについてみると、就学前では、「住み続けたい」が 66.6%と最も高く、次いで「わからない」が 27.6%、「住み続けたくない」が 4.6%となっています。小学生では、「住み続けたい」が 63.0%と最も高く、次いで「わからない」が 30.7%、「住み続けたくない」が 6.1%となっています。



三木市子ども・子育て支援事業計画
策定のためのアンケート調査
結果報告書

発行：三木市 健康福祉部 子育て支援課
TEL：0794-82-2000
FAX：0794-82-5500

発行年月：令和6年3月

事業名

教育・保育施設の整備
(教育振興部 教育・保育課)

事業費 : 3,927万円

エンゼル認定こども園については、防犯機能強化のため通用口に向けて防犯カメラを設置する。
事業所内保育事業所のポリークイズルームについては、0、1、2歳児の保育室や調理室を改修することで子どもを安全・安心して育てることができるような体制を整備します。

民間認定こども園整備助成金
39,270万円

主な整備内容

○エンゼル認定こども園(補助割合 国:1/2 市:1/4 園:1/4)

・防犯カメラの設置 工事費: 1,760千円

○ポリークイズルーム(補助割合 国:1/2 市:1/4 園:1/4)

・0、1、2歳児保育室改修
・調理室改修 工事費: 50,600千円



事業名

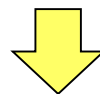
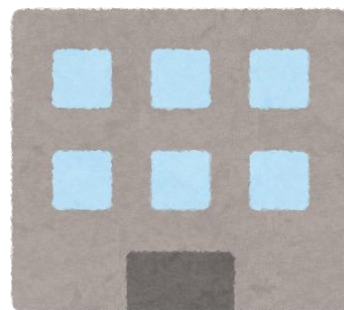
保育教諭をめざす学生等を対象とした就職説明会の開催補助
(教育振興部 教育・保育課)

事業費 : 40万円

保育教諭をめざす大学・短期大学の学生等を対象とした就職説明会を合同で行う認定こども園等に対し、必要な経費の補助を行うことで、教育・保育人材の確保を図り、子どもを安心して育てることができる体制を整備します。



補助内容：合同説明会の開催費用
対象経費：施設借上料、物品使用料 等
補助額：上限40万円



保育人材の安定的な確保



項 目	③「こどもサポートセンター」を設置 (健康福祉部 子育て支援課、健康増進課)	事業費：370万円
-----	---	-----------

児童福祉法の改正にともない、子育て世代包括支援センター(健康増進課)と子ども家庭総合支援拠点(子育て支援課)の機能を維持した上で統合し、妊産婦や子ども、子育て世帯へ一体的に相談支援を行う「こどもサポートセンター」(児童福祉法での名称「こども家庭センター」)を設置し、さらなる支援の充実・強化を図ります。

